

新上五島町  
学校施設等長寿命化計画

令和2年7月

新上五島町教育委員会 学校教育課



# 目 次

<b>第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等</b> .....	1
①背景 .....	1
②目的 .....	1
③計画期間 .....	2
④対象施設 .....	2
<b>第2章 学校施設の目指すべき姿</b> .....	7
<b>第3章 学校施設の実態</b> .....	9
①学校施設の運営状況・活用状況等の実態.....	9
1) 対象施設一覧 .....	9
2) 児童生徒数及び学級数の変化.....	10
3) 学校施設の配置状況 .....	21
4) 施設関連経費の推移 .....	28
5) 学校施設の保有量 .....	29
6) 長寿命化計画の対象施設 .....	30
7) 長寿命化計画対象施設の築年別整備状況.....	30
8) 今後の維持・更新コスト（従来型） .....	31
9) 学校施設の活用状況 .....	32
②学校施設の老朽化状況の実態 .....	33
1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価 .....	33
2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型） .....	59
<b>第4章 学校施設整備の基本的な方針等</b> .....	60
①学校施設の規模・配置計画等の方針 .....	60
1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針.....	60
2) 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	64
②改修等の基本的な方針 .....	65
1) 長寿命化の方針.....	65
2) 予防保全型による維持管理 .....	66
3) 施設関連経費の平準化.....	66
4) 目標使用年数、改修周期の設定 .....	67
<b>第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等</b> .....	70
①改修等の整備水準 .....	70
②維持管理の項目・手法等 .....	73
1) 情報の整理と更新 .....	73
2) 維持管理の項目・手法.....	79

<b>第6章 長寿命化の実施計画</b> .....	81
①改修等の優先順位付けと実施計画 .....	81
1) 今後 10 年間の整備内容 .....	85
2) 今後 10 年間の予算配分 .....	86
②長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果 ～維持・更新の課題と今後の方針～ .....	89
1) 長寿命化の効果 .....	89
2) 長寿命化計画によるコストの見通し .....	89
3) 維持・更新の課題と今後の方針 .....	89
<b>第7章 長寿命化計画の継続的運用方針</b> .....	90
①情報基盤の整備と活用 .....	90
②推進体制等の整備 .....	90
③フォローアップ .....	91

## 第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

### ①背景

我が国の公立学校施設は、第2次ベビーブーム世代の増加に伴い、昭和40年代後半から50年代にかけて多く建築されましたが、それらの施設が今、一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せています。

学校施設は、未来を担う子供たちが集い、生き生きと学び、生活をする場として学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう、機能的な施設環境を整えるとともに、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心なものである必要があります。

また、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、非常災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設です。

新上五島町（以下、「本町」と言います。）は、令和元年7月現在、学校教育系施設として74棟総延床面積64,122.49㎡（幼稚園・スクールバス車庫を除く。）を有しており、延床面積で見ると、全ての町保有建物系施設の約24.4%を占めています。

昭和40年代から50年代に建築された施設も多数あり、築30年を経過した施設が約半数あることから、今後、約20年の間に多くの学校施設建物で耐用年数が到来することが見込まれます。

また、本町においても人口の減少が予測されており、少子高齢化の進展による人口構造の変化により、本町の財政面でも厳しい状況となることが予想されます。

### ②目的

現在、本町では、公共施設やインフラ全体における整備の基本的な方針として、平成29年3月に「新上五島町公共施設等総合管理計画（公共施設等マネジメント基本方針）」（以下、「総合管理計画」と言います。）を、令和元年7月に「個別計画」を策定し、限られた財源の中で施設を安全・安心に利用できるよう、また、適正な規模や配置等により、町民サービスの維持・向上が図れるよう取り組みを進めているところです。

本計画は、この総合管理計画に基づき、学校施設に関する「個別施設計画」として、学校施設を対象に現地調査等を踏まえて現状の評価を行い、ライフサイクルコスト、保全優先度等を勘案しつつ、今後の維持保全の方向性を検討し、部位別や学校別の優先順位を考え、整備内容、時期、費用等の具体的な計画（以下「長寿命化計画」と言います。）を策定することを目的とします。

本計画に基づき、学校施設の長寿命化を図ることにより、トータルコストの縮減と平準化を図り、厳しい財政状況においても計画的に保全を実施することで、長く安心安全な学校施設を維持するとともに、多様化する教育環境へ対応していきます。

## ③計画期間

令和 2 (2020) 年 ~ 令和 41 (2059) 年 ( 5 年ごとに見直し)

本計画は、総合管理計画における「個別施設計画」として位置づけられることから、総合管理計画が 40 年間（平成 29 年度～平成 68（2056）年度）の計画であることを鑑み、40 年後の令和 41（2059）年を計画の目標年とし、実施については、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、P D C A サイクルによる実行システムを構築した上で、計画を 5 年ごとに見直すものとします。

なお、児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度の動向により早急な対応が必要な場合は、随時見直すものとします。

## ④対象施設

本計画の対象施設は、学校教育系施設として所有している小中学校、幼稚園及び関連施設として学校給食センター、スクールバス車庫を加えた 25 施設とします。

表 対象施設

学校施設		関連施設
小学校	11 校	学校給食センター 4 施設 スクールバス車庫 2 施設
中学校	5 校	
幼稚園	3 園	
19 施設		6 施設
		25 施設

また、本計画における調査対象施設（建物）は、総合管理計画（個別計画）の学校教育系施設として所有している建物のうち、長寿命化事業によるコスト低減効果の薄い小規模（概ね 200 m<sup>2</sup>以下の建物）、若しくは小規模な木造の建物を除く建物を対象とします。

なお、本計画で使用する棟区分は、建物の一体性や築年の近似性を踏まえつつ、長寿命化計画を検討するうえで一棟として取り扱うことが適切と判断した建物を含む 4 ページ以降の対象建物一覧に示す 64 棟とします。

対象施設（25 施設、64 棟）の延床面積合計は、65,569 m<sup>2</sup>であり、全ての町保有建物系施設の延床面積合計の 24.9%にあたります。

**本計画の調査対象施設（建物）は、小規模（概ね 200 m<sup>2</sup>以下の建物）、若しくは木造の建物を除く 64 棟（延床面積合計：65,569 m<sup>2</sup>）を対象とします。**

表 対象施設一覧

No.	学校調査 番号	施設名	施設所在地	施設数
1	0550	若松中央小学校	間伏郷74番地	小学校 11施設
2	0553	若松東小学校	宿ノ浦郷646-1	
3	0419	浜ノ浦小学校	続浜ノ浦郷168-1	
4	0420	今里小学校	今里郷245-9	
5	0422	青方小学校	青方郷1460-1	
6	0423	上郷小学校	奈摩郷10-1	
7	0424	魚目小学校	榎津郷401	
8	0425	北魚目小学校	小串郷1636	
9	0428	有川小学校	有川郷1719-2	
10	0431	東浦小学校	阿瀬津郷422-1	
11	0567	奈良尾小学校	奈良尾郷955-1	
12	3694	若松中学校	若松郷462-13	中学校 5施設
13	3776	上五島中学校	青方郷538-2	
14	3699	魚目中学校	丸尾郷417	
15	3703	有川中学校	有川郷809	
16	3706	奈良尾中学校	奈良尾郷909-14	
17	6684	青方幼稚園	青方郷1458-2	幼稚園 3施設
18	6689	魚目幼稚園	榎津郷401	
19	6546	有川幼稚園	有川郷1745-2	
20	K080	新魚目給食センター	小串郷1400-1	学校給食センター 4施設
21	K068	上五島給食センター	青方郷335	
22	K036	有川給食センター	有川郷213-2	
23	K037	奈良尾給食センター	奈良尾郷764	
24	-	郷ノ首スクールバス車庫	荒川郷225-73	スクールバス車庫 2施設
25	-	北魚目地区スクールバス車庫	小串郷1513-3	

表 対象建物一覧(小学校)

施設 No.	施設 名	通し No.	棟番号	建物区分 (学校台帳)	本計画で使 用する 建物名	構 造 区 分	階 数	建築年		築 年 数	延床 面積 (㎡)
								西 暦	和 暦		
1	若松中央小学校	1	020、021	教室棟・管理棟・機械室	校舎1	RC	2	1998	H10	21	2,213
		2	022	屋内運動場	屋内運動場	RC	1	1999	H11	20	894
2	若松東小学校	3	019	教室・管理棟	校舎1	RC	3	1987	S62	32	1,828
		4	020、020-1、020-2	屋内運動場、クラブハウス、渡り廊下	屋内運動場	RC	1	1988	S63	31	937
		5	029	特別教室棟	校舎2	RC	2	1999	H11	20	270
3	浜ノ浦小学校	6	010	管理普通教室棟	校舎1	RC	2	1988	S63	31	1,590
		7	013	屋内運動場	屋内運動場	RC	1	1994	H6	25	800
4	今里小学校	8	013	屋内運動場	屋内運動場	RC	2	1985	S60	34	680
		9	014	管理普通教室棟	校舎1	RC	2	1989	H元	30	1,558
5	青方小学校	10	001-1	普通・特別教室棟	校舎1	RC	3	1969	S44	50	1,428
		11	001-2、010	管理・普通・特別教室棟、給食用リフト	校舎2	RC	3	1970	S45	49	1,469
		12	011、014-1、014-2	屋内運動場、渡り廊下	屋内運動場	RC	1	2003	H15	16	1,094
		13	016	コンピュータ室	校舎3	RC	1	2004	H16	15	164
6	上郷小学校	14	012	普通・特別教室棟	校舎1	RC	4	1980	S55	39	1,383
		15	013	普通・特別教室棟	校舎2	RC	4	1980	S55	39	1,675
		16	014	屋内運動場	屋内運動場	S	1	1982	S57	37	680
7	魚目小学校	17	015	屋内運動場	屋内運動場	RC	1	1980	S55	39	623
		18	021	教室棟	校舎1	RC	3	2004	H16	15	3,462
8	北魚目小学校	19	020-1、021	普通教室棟、便所	校舎1	RC	3	1974	S49	45	1,564
		20	020-2、020-3、023	普通教室棟、便所	校舎2	RC	3	1976	S51	43	924
		21	025	屋内運動場	屋内運動場	RC	1	1982	S57	37	630
9	有川小学校	22	001	管理特別教室棟	校舎1	RC	2	1970	S45	49	714
		23	002、003、008	教室棟、渡り廊下、倉庫	校舎2	RC	3	1970	S45	49	1,991
		24	010	屋内運動場	屋内運動場1	S	1	1971	S46	48	677
		25	018	屋内練習場	屋内運動場2	W	1	1999	H11	20	70
10	東浦小学校	26	004-1、022	管理教室棟、玄関	校舎1	RC	2	1960	S35	59	602
		27	004-2、023	教室棟、配膳室	校舎2	RC	3	1965	S40	54	522
		28	013	教室棟	校舎3	RC	3	1973	S48	46	865
		29	016、024	屋内運動場、便所	屋内運動場	RC	1	1976	S51	43	580
11	奈良尾小学校	30	022、023	校舎棟、渡り廊下	校舎1	RC	3	2014	H26	5	2,630

表 対象建物一覧（中学校）

施設 No.	施設 名	通し No.	棟番号	建物区分 (学校台帳)	本計画で使 用する 建物名	構 造 区 分	階 数	建築年		築 年 数	延床 面積 (㎡)
								西 暦	和 暦		
12	若松中学校	31	003	管理棟	校舎1	RC	2	1966	S41	53	455
		32	003-1	特別教室棟	校舎2	RC	2	1981	S56	38	426
		33	006	屋内運動場	屋内運動場1	S	2	1971	S46	48	715
		34	025、025-1、025-2	教室棟、玄関、下足室・渡り廊下	校舎3	RC	3	1988	S63	31	2,098
		35	029、029-1	武道館、ポンプ室	武道場	RC	2	1992	H4	27	883
13	上五島中学校	36	001	管理棟	校舎1	RC	2	1985	S60	34	2,072
		37	002	学級教室棟	校舎2	RC	3	1985	S60	34	2,074
		38	003	特別教室棟	校舎3	RC	2	1985	S60	34	1,493
		39	004	クラブハウス	部室	RC	1	1985	S60	34	195
		40	019	武道館	武道場	RC	2	1986	S61	33	1,269
		41	020	体育館	屋内運動場	RC	2	1986	S61	33	1,144
		42	021	学校用自動車庫	車庫	RC	1	1986	S61	33	278
14	魚目中学校	43	001、002、003、021、021-2	教室棟、宿直棟、配膳室、給食リフト、便所	校舎1	RC	3	1969	S44	50	1,632
		44	004	特別教室棟	校舎2	S	1	1969	S44	50	313
		45	010	屋内運動場	屋内運動場	S	1	1972	S47	47	750
		46	019	特別教室棟	校舎3	W	1	1970	S45	49	160
15	有川中学校	47	018-1	校舎A棟	校舎1	RC	3	2002	H14	17	2,099
		48	018-2	校舎B棟	校舎2	RC	3	2002	H14	17	2,530
		49	021-1、021-2、022、023	体育館、体育倉庫、クラブ室、渡り廊下	屋内運動場	RC	2	2003	H15	16	1,404
16	奈良尾中学校	50	001	管理・普通・特別教室棟	校舎1	RC	3	1979	S54	40	2,910
		51	030-1	第2体育館	屋内運動場2	RC	2	2004	H16	15	447
		52	031	屋内運動場	屋内運動場1	RC	1	2013	H25	6	941
		53	032	渡り廊下	校舎2	RC	1	1980	S55	39	104

表 対象建物一覧（幼稚園）

施設 No.	施設 名	通し No.	棟番号	建物区分 (学校台帳)	本計画で使 用する 建物名	構 造 区 分	階 数	建築年		築 年 数	延床 面積 (㎡)
								西 暦	和 暦		
17	青方幼稚園	54	003	管理教室棟	園舎1	W	1	2002	H14	17	848
		55	004、005	倉庫、便所	園舎2	W	1	2002	H14	17	22
18	魚目幼稚園	56	001	管理教室棟	園舎1	RC	1	1975	S50	44	400
19	有川幼稚園	57	003、004	管理教室棟	園舎1	RC	2	1974	S49	45	739

表 対象建物一覧（学校給食センター）

施設 No.	施設 名	通 し No.	棟 番 号	建物区分 (学校台帳)	本計画で使 用する 建物名	構 造 区 分	階 数	建築年		築 年 数	延床 面積 (㎡)
								西 暦	和 暦		
20	新魚目給食センター	58	001	給食センター	給食センター	RC	2	2003	H15	16	512
21	上五島給食センター	59	001	給食センター	給食センター	RC	2	1991	H3	28	761
22	有川給食センター	60	003	給食センター	給食センター	S	2	2001	H13	18	555
23	奈良尾給食センター	61	004	給食センター	給食センター	RC	2	2005	H17	14	621
		62	005	車庫	車庫	S	1	2005	H17	14	49

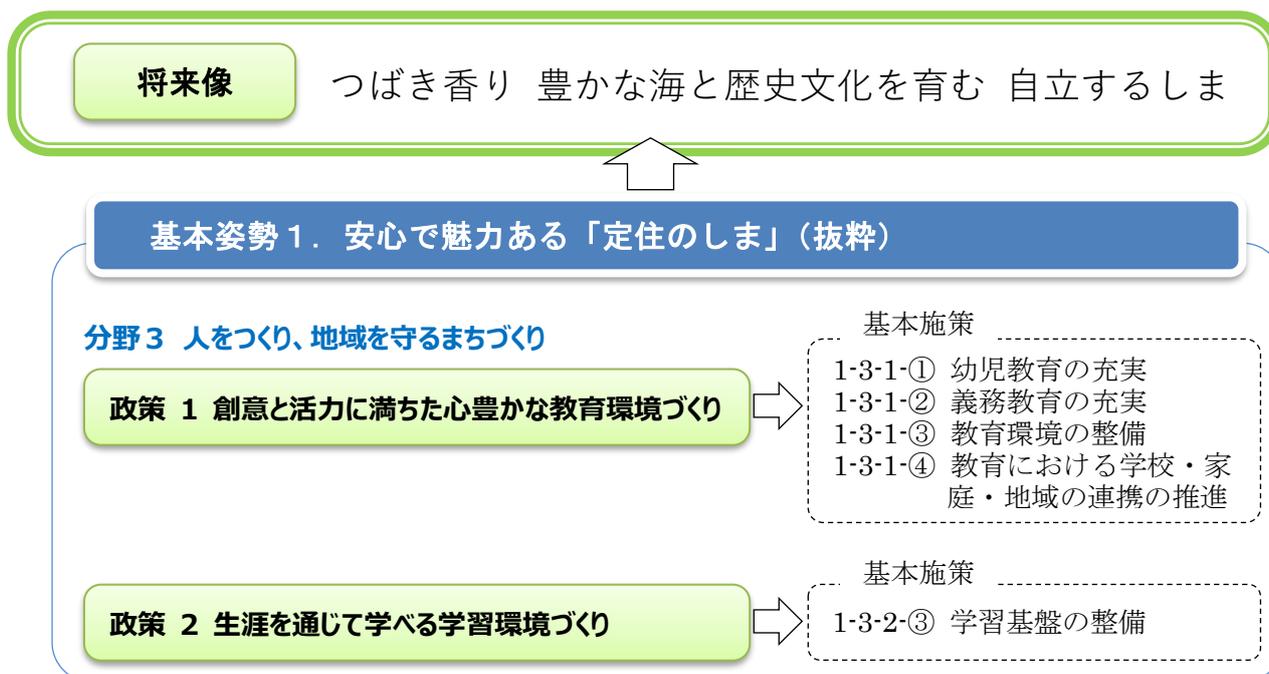
表 対象建物一覧（スクールバス車庫）

施設 No.	施設 名	通 し No.	棟 番 号	建物区分 (学校台帳)	本計画で使 用する 建物名	構 造 区 分	階 数	建築年		築 年 数	延床 面積 (㎡)
								西 暦	和 暦		
24	郷ノ首スクールバス車庫	63		スクールバス車庫	車庫	S	1	1992	H4	27	108
25	北魚目地区スクールバス車庫	64		スクールバス車庫	車庫	RC	1	2018	H30	1	45

## 第2章 学校施設の目指すべき姿

平成 27 年 3 月に策定された『新上五島町第 2 次総合計画』では、本町の将来像を『つばき香り豊かな海と歴史文化を育む 自立するしま』と定め、『安心で魅力ある「定住のしま」』、『地域資源を活かした「産業のしま」』、『にぎわいを創る「交流のしま」』をまちづくりの基本姿勢としています。

この『安心で魅力ある「定住のしま」』を実現する施策の中で、「創意と活力に満ちた心豊かな教育環境づくり」「生涯を通じて学べる学習環境づくり」に取り組むこととしています。



本町の教育行政は、この『新上五島町第 2 次総合計画』を踏まえ、教育委員会においてこれに基づく「第 2 次教育振興基本計画」を平成 28 年 3 月に策定しました。

この「第 2 次教育振興基本計画」の中で、新上五島町教育方針を以下のように掲げています。

### 新上五島町教育方針

新上五島町教育委員会は、広く町民の理解と協力のもとに、交流と融和を図り、社会の変化を的確にとらえ、『ゆめを持ち、心豊かに、たくましく生き抜く力を育成する教育』をめざして、新上五島町の地域に根ざした独自の教育の創造に期する。

このため、人間尊重の精神を基調として、生涯を通じて学び合う地域活動を推進し、郷土の自然や文化に誇りを持ち、郷土を愛する心を育てるとともに、国際社会に貢献できる、知恵とたくましさをそなえた新上五島町民の育成を図る。

特に、その教育に携わるものは、その使命感に徹し、自らの見識を高めるとともに、深い教育愛と豊かな人間性を基盤とする実践的指導力を身につけ、相和して、本町教育の充実発展に努める。

本計画は、『新上五島町第 2 次総合計画』及び総合管理計画に基づき、本町の教育が目指す目標『ゆめを持ち、心豊かに、たくましく生き抜く力を育成する教育』を実践するフィールドとしての学校施設のあり方を検討します。

前述の『ゆめを持ち、心豊かに、たくましく生き抜く力を育成する教育』のための施設であることを前提とし、総合管理計画における、本町の公共施設のあり方についての内容を踏まえつつ、「学校施設整備基本構想の在り方について」(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 平成 25 年 3 月)を参考として、本町における学校施設の目指すべき姿を以下のように設定します。

### ① 学習活動への適応性を確保する教育環境の整備（学習空間の充実）

- ・学校施設は、基礎的・基本的な学力の定着を図る子供たちの学習及び生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう、機能的な施設環境を整えます。
- ・地球温暖化等の環境問題に対応するため、環境を考慮した学校施設であるエコスクール化を推進することや、教育内容及び方法等の変化、教育の情報化、バリアフリー化等の様々な社会的要請に適切に対応するため、教育環境の質的向上を図ります。

### ② 安全性・快適性を備えた施設環境の実現（生活空間の充実）

- ・学校は、児童及び生徒にとって「学びの場」であるとともに1日の約3分の1を過ごす「生活の場」であることから、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心な施設環境を整えます。
- ・学習能率の向上に資する快適な学習環境を備えるとともに、児童・生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校施設を目指します。
- ・子どもたちや保護者、地域住民等が訪れやすい空間として、また、教職員など使用する全員に配慮した空間・環境を整えます。

### ③ 地域活動の拠点施設としての施設整備（地域との連携の充実）

- ・学校施設は、地域住民にとって最も身近な施設であり、生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場として、また、地震等の非常災害時には避難所としても重要な役割を担っているため、必要に応じ他の文教施設や高齢者福祉施設との連携の推進や防災機能の強化を図ります。
- ・学校が社会全体で子供たちの学びを支援する場となり、地域の振興・再生にも貢献するコミュニティの拠点としての役割を果たすよう、地域の実情に応じ、学校施設と他の公共施設等の複合化を進めていきます。

## 第3章 学校施設の実態

## ①学校施設の運営状況・活用状況等の実態

## 1) 対象施設一覧

各学校施設の保有教室の種類・用途は、以下のとおりです。

なお、児童生徒数の増減により学級数の変動が生じ空き教室がありますが、少人数指導や個別相談を行う多目的教室として活用しており、現時点で余裕教室はありません。

表 対象施設の学級数・設置年度

令和2年5月1日現在

No.	学校名	学校調査番号	児童生徒数 園児数		学級数		児童生徒数（通常学級内訳）						設置年度	
			通常学級	特別支援学級	通常学級	特別支援学級	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	元号	年
1	若松中央小学校	0550	39	/	4	/	4	6	7	6	5	11	H	09
2	若松東小学校	0553	40	1	4	1	3	5	6	6	6	14	H	10
3	浜ノ浦小学校	0419	11	/	3	/	1	2	1	1	/	6	M	07
4	今里小学校	0420	14	/	3	/	/	2	3	2	5	2	M	07
5	青方小学校	0422	124	2	6	2	20	25	26	13	23	17	M	07
6	上郷小学校	0423	79	3	6	2	9	8	21	12	16	13	M	07
7	魚目小学校	0424	101	1	6	1	19	12	21	16	16	17	M	42
8	北魚目小学校	0425	14	1	3	1	2	2	1	4	3	2	M	42
9	有川小学校	0428	137	4	6	2	25	20	22	19	28	23	M	06
10	東浦小学校	0431	55	4	5	2	5	11	12	5	9	13	M	19
11	奈良尾小学校	0567	33	3	4	2	4	6	7	10	2	4	H	26
	小学校計		647	19	50	13	92	99	127	94	113	122		
12	若松中学校	3694	48	/	3	/	9	16	23	/	/	/	S	22
13	上五島中学校	3776	100	3	3	2	35	34	31	/	/	/	S	60
14	魚目中学校	3699	79	3	3	2	24	28	27	/	/	/	S	22
15	有川中学校	3703	137	2	5	2	53	36	48	/	/	/	S	22
16	奈良尾中学校	3706	22	3	3	2	10	7	5	/	/	/	S	54
	中学校計		386	11	17	8	131	121	134	/	/	/		
17	青方幼稚園	6684	34	/	3	/	/	/	/	/	/	/	S	49
18	魚目幼稚園	6689	7	/	2	/	/	/	/	/	/	/	S	50
19	有川幼稚園	6546	37	/	3	/	/	/	/	/	/	/	S	30
	幼稚園計		78	/	8	/	/	/	/	/	/	/		

※文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に示された様式を参考に作表。

## 2) 児童生徒数及び学級数の変化

### (1) 本町の人口の見通し

本町の総人口は、高度経済成長期の後半に大きく減少し、その後、バブル経済期においても減少が続き、平成 27 (2015) 年の国勢調査では 19,718 人で、60 年前 (1955 年) の 57,610 人からすると 37,892 人減少しています。

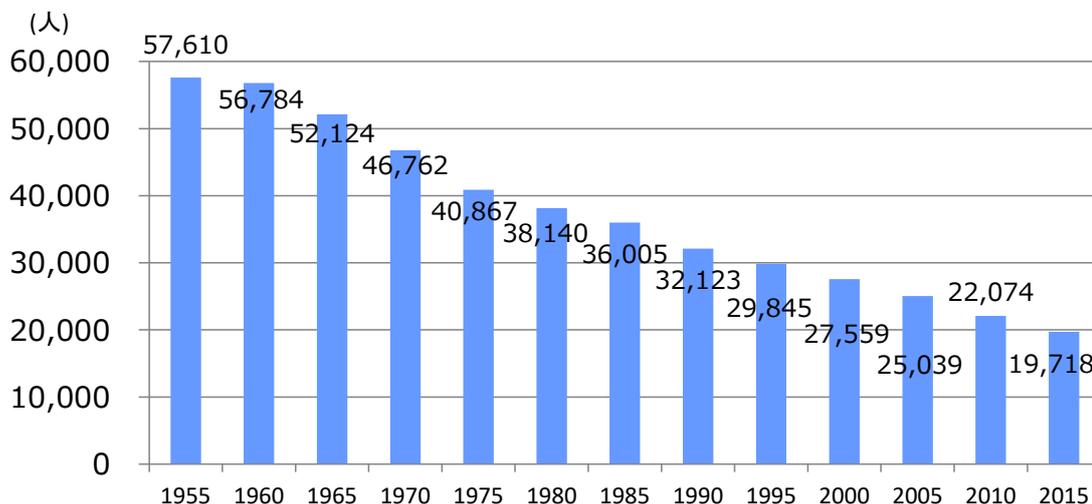
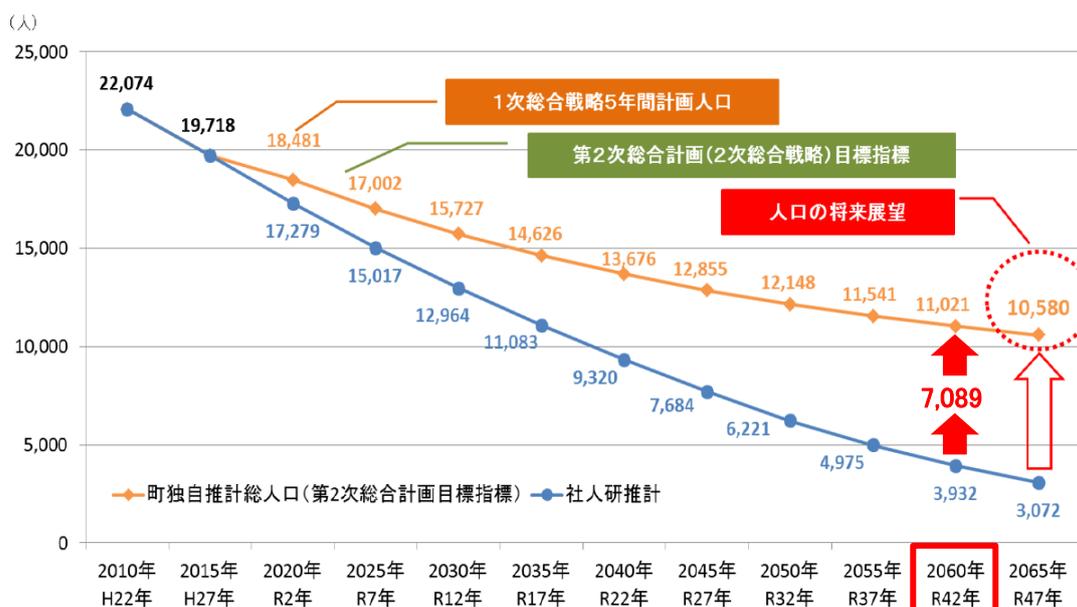


図 本町の人口推移

資料：国勢調査

国立社会保障・人口問題研究所 (社人研) の推計 (平成 30 年推計) によると、本計画の目標年に近い令和 42 (2060) 年の本町の人口は 3,932 人にまで減少すると推計されています。

令和 2 年 3 月に改訂した本町の人口ビジョンでは、人口減少対策の効果が着実に反映され、自然増減や社会増減の値が改善されれば、令和 42 (2060) 年の本町の人口は、11,021 人となり、社人研推計と比較し、7,089 人の施策効果を目指すこととしています。



※2015 年までは国勢調査、2020 年以降は社人研及び町推計値により作成 **※本計画の目標年 2059 年 R41 年**

図 本町の人口の長期的な見通し

資料：新上五島町人口ビジョン (令和 2 年 3 月改訂) 掲載図に加筆

## (2) 児童生徒数・学級数の推移

本町の児童生徒数の推移を学校別に整理します。

本町の小学校児童数は、多くの小学校でおおむね平成26・27年ごろまで減少傾向にありましたが、近年は横ばいとなっています。

ただし、若松東小学校、魚目小学校、有川小学校、東浦小学校などのように減少傾向が続いている小学校もみられます。

中学校生徒数は、多くの中学校でおおむね減少傾向が続いています。

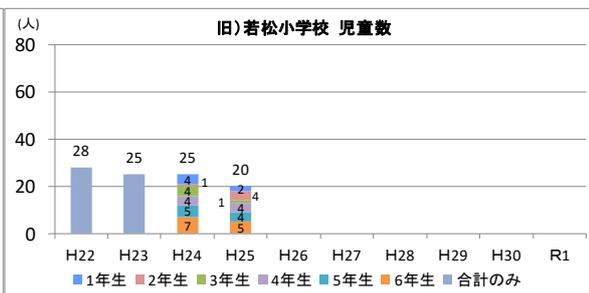
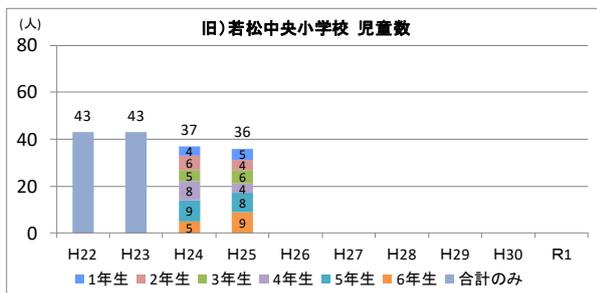
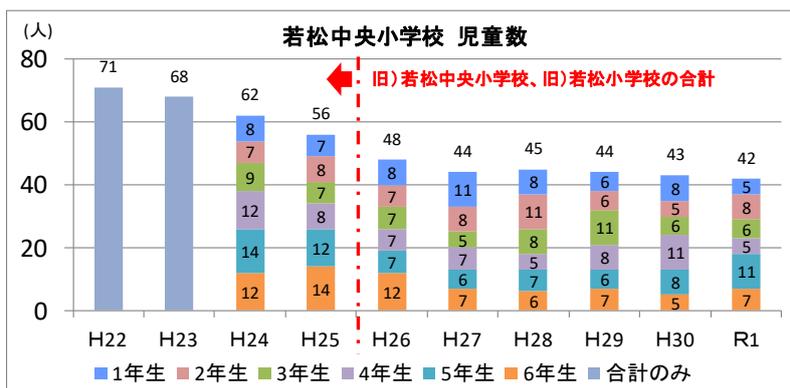


図 本町の小学校児童数の推移(1)

資料：庁内資料

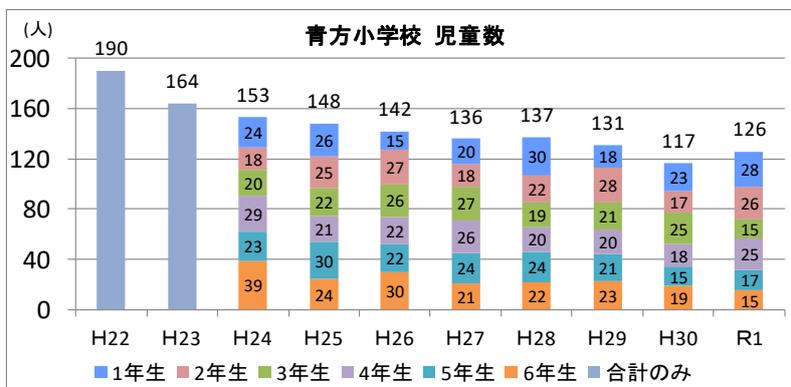
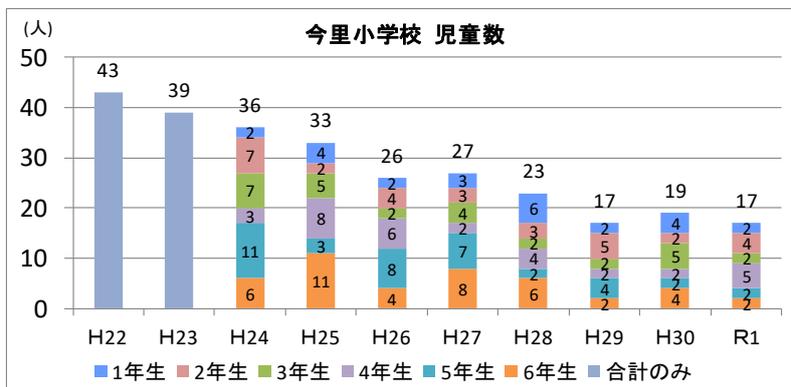
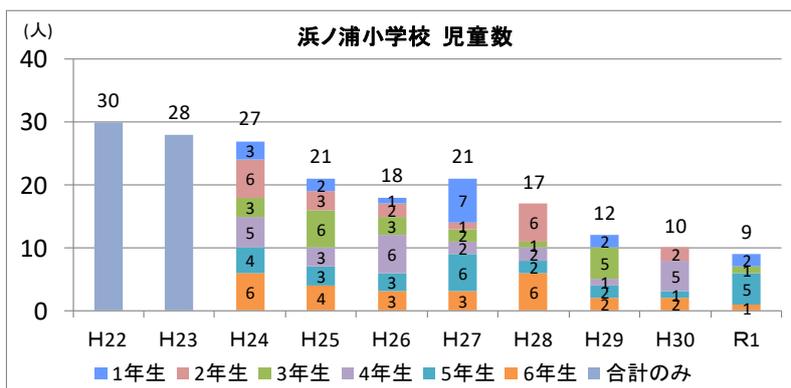
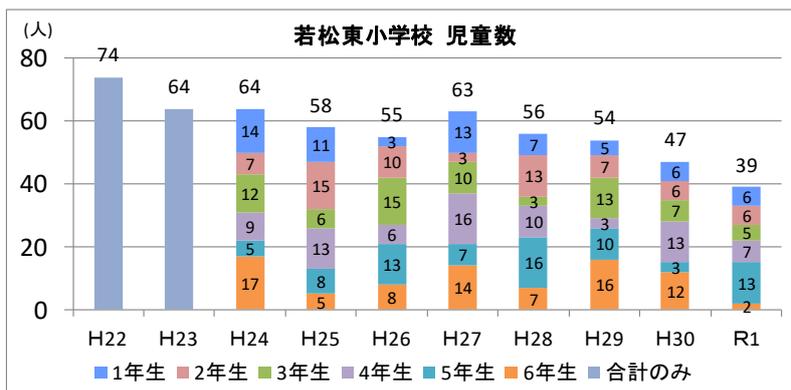


図 本町の小学校児童数の推移（2）

資料：庁内資料

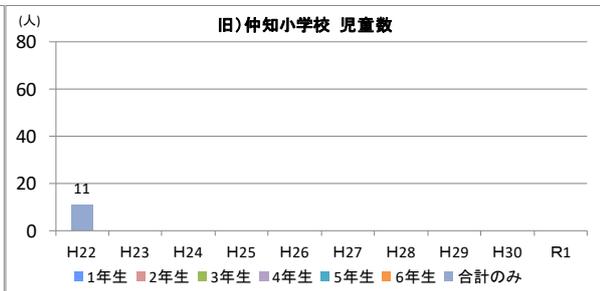
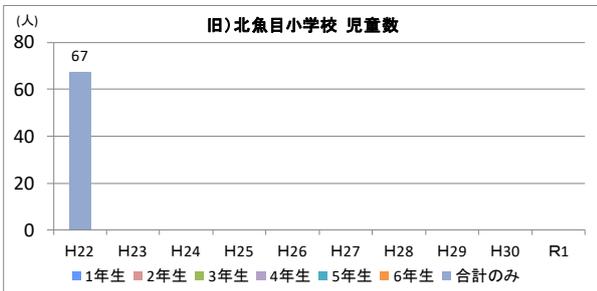
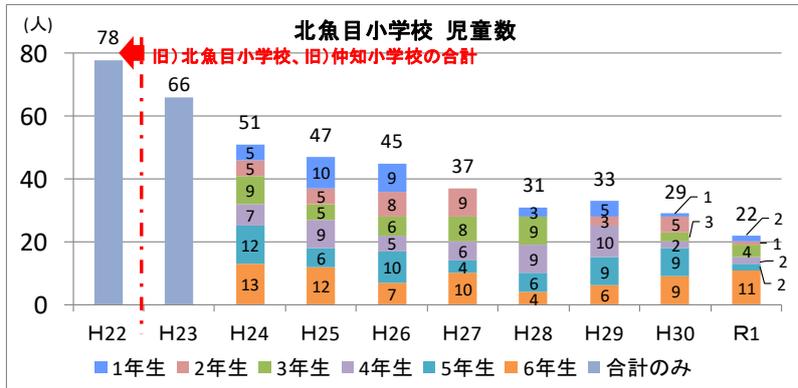
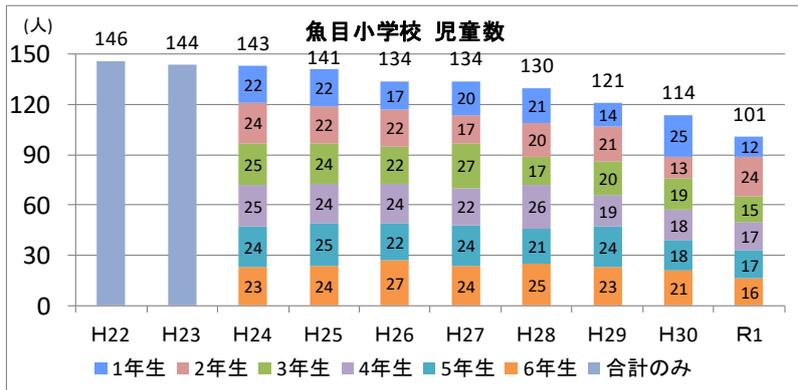
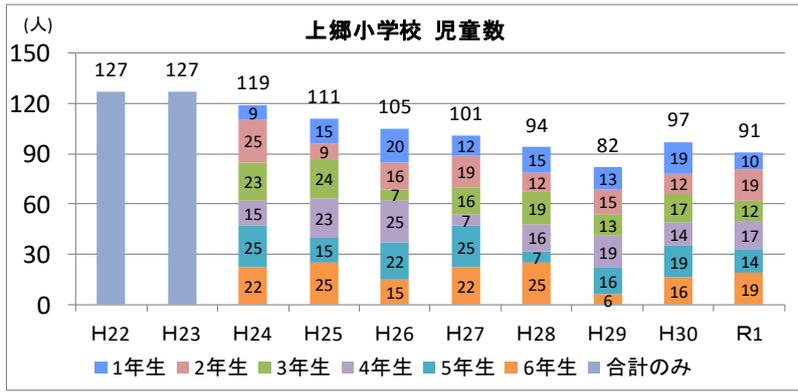


図 本町の小学校児童数の推移 (3)

資料：庁内資料

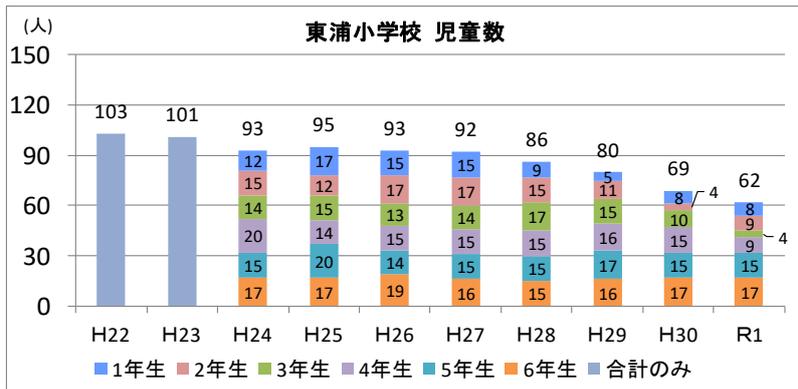
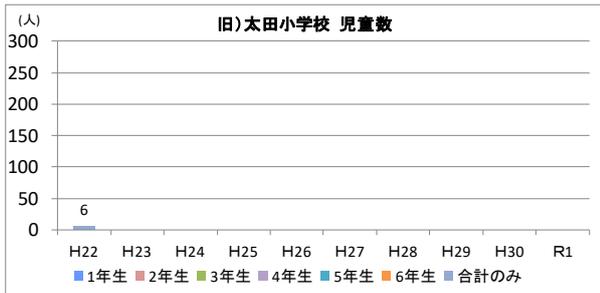
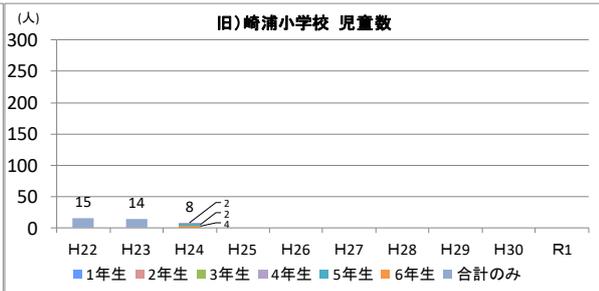
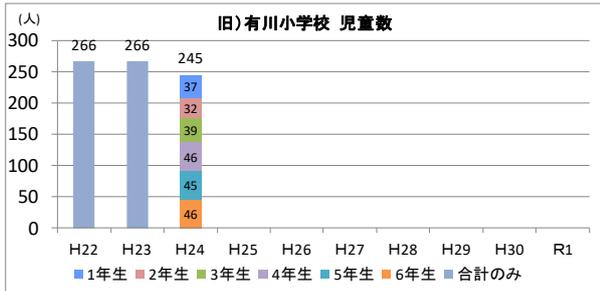
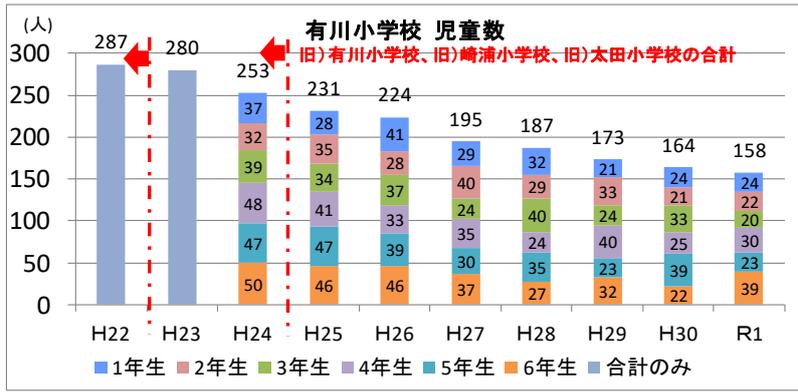


図 本町の小学校児童数の推移(4)

資料：庁内資料

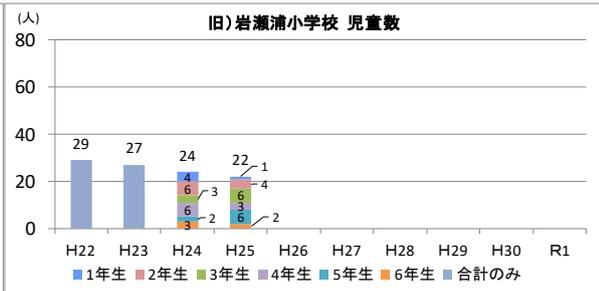
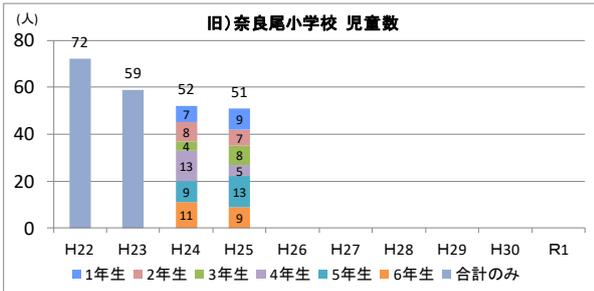
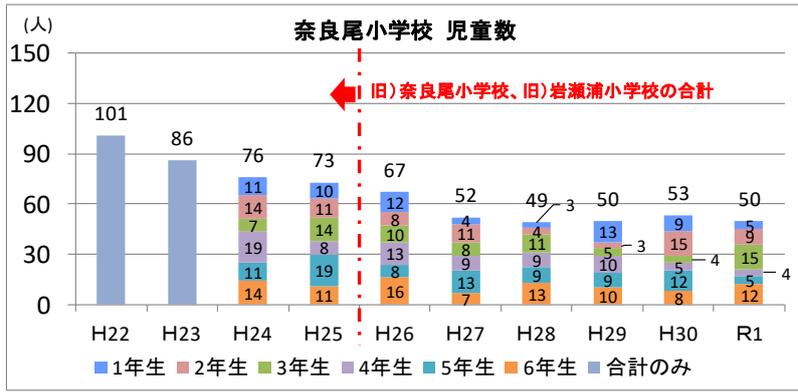


図 本町の小学校児童数の推移（5）

資料：庁内資料

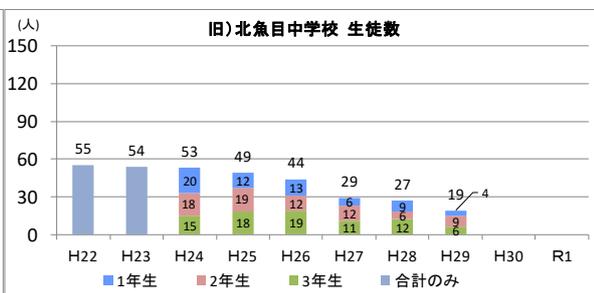
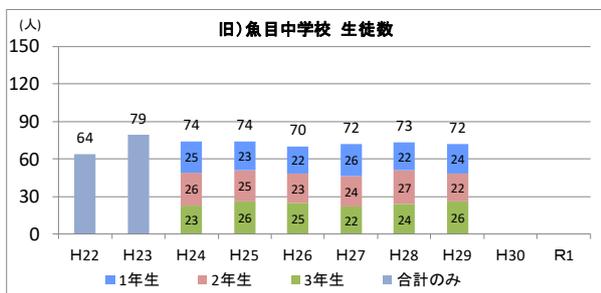
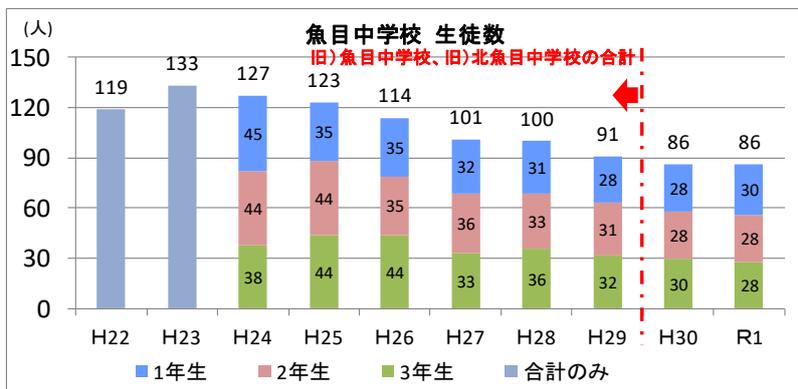
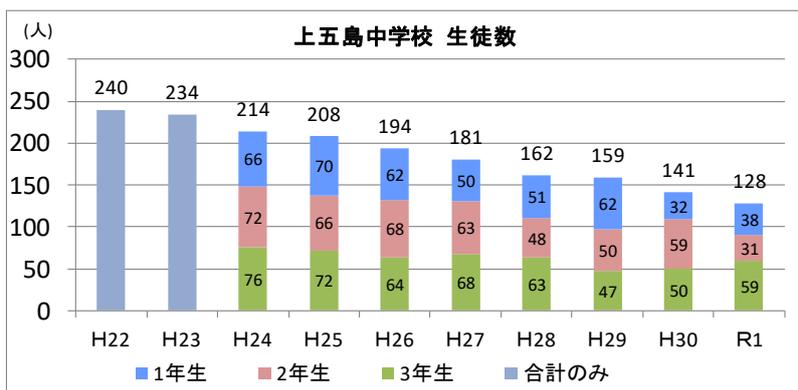
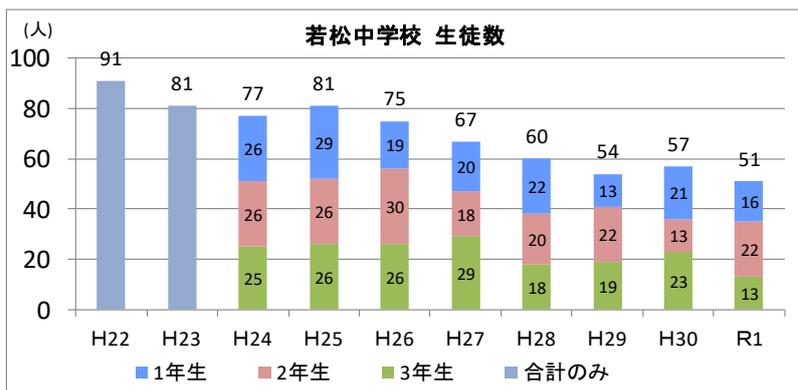


図 本町の中学校生徒数の推移 (1)

資料：庁内資料

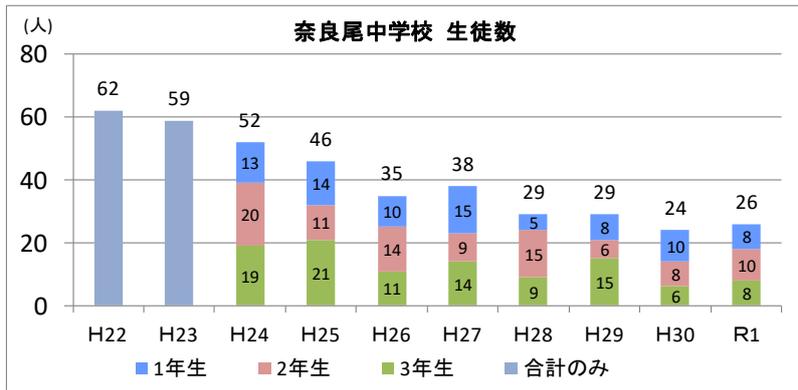
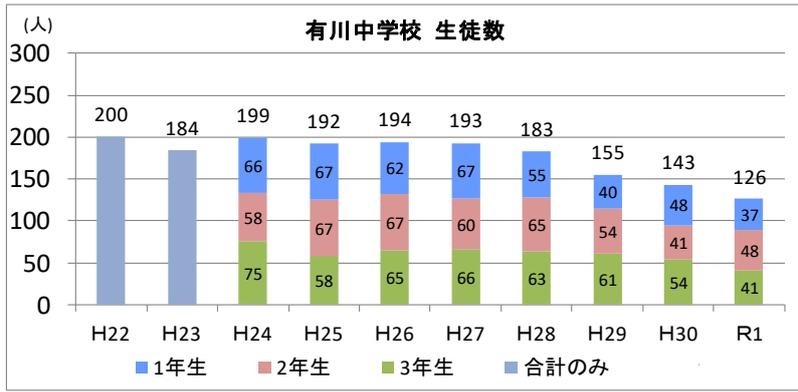


図 本町の中学校生徒数の推移（2）

資料：庁内資料

### (3) 児童生徒数の見通し

近年（過去10年間）の児童生徒数の推移から、本計画の目標年次である令和41（2059）年の児童生徒数の将来推計を行います。

本計画の計画期間における本町の児童生徒数を推計すると、目標年次の令和41（2059）年は、小学校児童数が591人、中学校生徒数が328人と推計され、児童生徒数は徐々に減少することが予想されます。

なお、この見通しは、今後の町の雇用・定住・子育て支援施策などにより変動する場合があります。

表 児童生徒数の推移と将来推計

	これまでの推移										将来推計	
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	2039	2059
児童数	1,250	1,167	1,077	1,014	957	902	855	797	762	717	628	591
生徒数	712	691	669	650	612	580	534	488	451	417	385	328
合計	1,962	1,858	1,746	1,664	1,569	1,482	1,389	1,285	1,213	1,134	1,013	919

表 学級数の推移と将来推計

	これまでの推移										将来推計	
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	2039	2059
小学校	90	83	79	74	69	66	55	69	68	67	48	45
中学校	31	28	29	30	30	30	24	30	28	27	19	16
合計	121	111	108	104	99	96	79	99	96	94	67	61

※文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に示された様式にて作表。

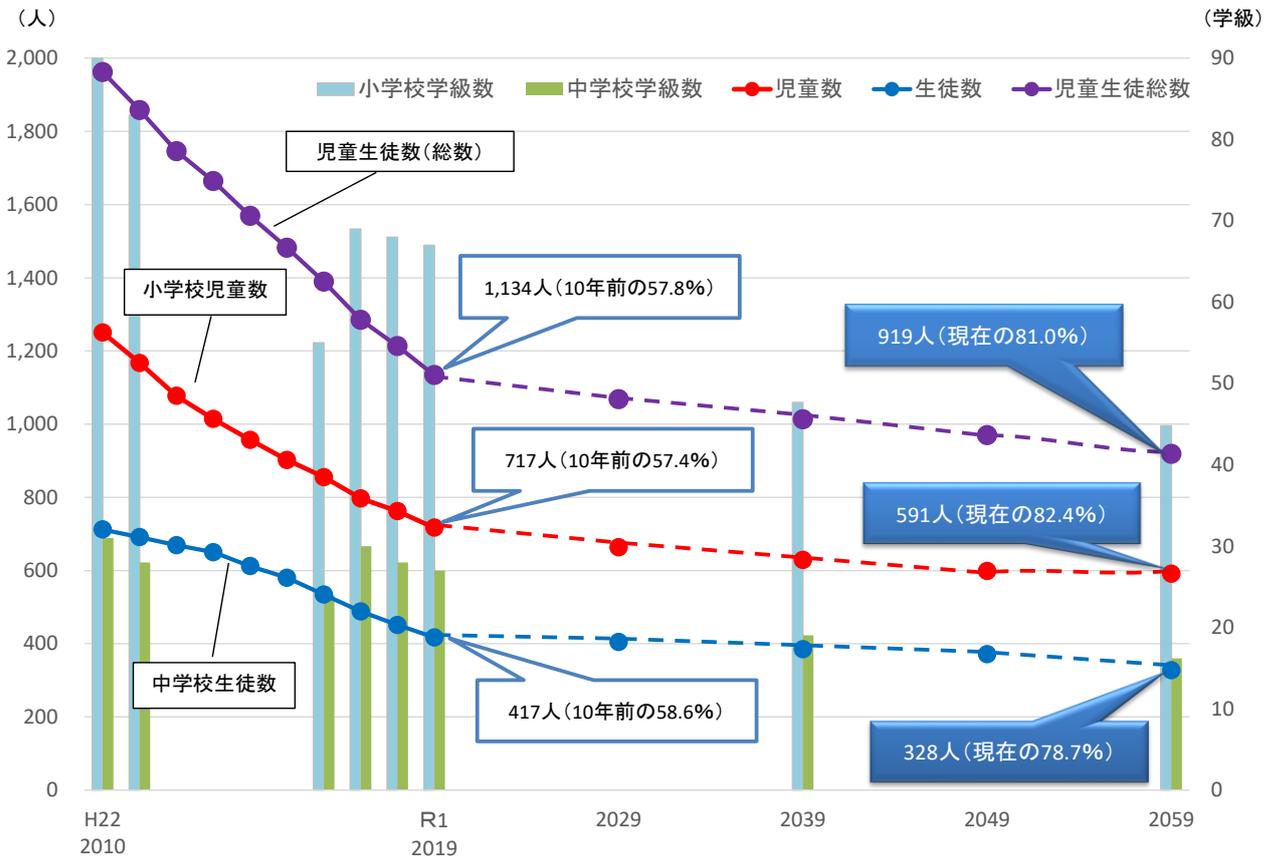


表 児童数・生徒数の変化率

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019									
		H22	H23	H22⇒ H23	H24	H23⇒ H24	H25	H24⇒ H25	H26	H25⇒ H26	H27	H26⇒ H27	H28	H27⇒ H28	H29	H28⇒ H29	H30	H29⇒ H30	R1	H30⇒ R1
	5歳 ※住基5歳人口	169	150		149		155		126		144		107		132		95			94
小学校	小1 5歳→小1	168	160	0.947	147	0.980	152	1.020	143	0.923	134	1.063	134	0.931	104	0.972	127	0.962	104	1.095
	小2 小1→小2	192	168	1.000	160	1.000	147	1.000	149	0.980	146	1.021	135	1.007	132	0.985	102	0.981	128	1.008
	小3 小2→小3	191	192	1.000	168	1.000	162	1.013	148	1.007	145	0.973	146	1.000	129	0.956	129	0.977	99	0.971
	小4 小3→小4	219	191	1.000	192	1.000	172	1.024	162	1.000	147	0.993	140	0.966	148	1.014	128	0.992	121	0.938
	小5 小4→小5	216	219	1.000	191	1.000	188	0.979	168	0.977	161	0.994	144	0.980	141	1.007	141	0.953	124	0.969
	小6 小5→小6	220	216	1.000	219	1.000	193	1.010	187	0.995	169	1.006	156	0.969	143	0.993	135	0.957	141	1.000
中学校	中1 小6→中1	233	220	1.000	216	1.000	215	0.982	188	0.974	184	0.984	164	0.970	151	0.968	139	0.972	129	0.956
	中2 中1→中2	238	233	1.000	220	1.000	214	0.991	214	0.995	186	0.989	181	0.984	163	0.994	149	0.987	139	1.000
	中3 中2→中3	241	238	1.000	233	1.000	221	1.005	210	0.981	210	0.981	189	1.016	174	0.961	163	1.000	149	1.000

表 園児数・児童数・生徒数の変化率による推計

過去の変化率平均 からみた年間変化率		2029 推計	2039 推計	2049 推計	2059 推計
	5歳	94	94	94	94
5歳→小1	0.98804	小1 93	93	93	93
小1→小2	0.99805	小2 104	93	93	93
小2→小3	0.98843	小3 127	103	92	92
小3→小4	0.99183	小4 98	125	102	91
小4→小5	0.98421	小5 119	97	124	100
小5→小6	0.99228	小6 123	118	96	123
	小学校	684	628	598	591
小6→中1	0.97841	中1 138	120	116	94
中1→中2	0.99331	中2 128	137	120	115
中2→中3	0.99385	中3 138	127	136	119
	中学校	404	385	371	328
	小中学校計	1,068	1,013	970	919

※5歳児の推計において出生率の伸び率を考慮。

表 学級数の推計

過去10年間の平均学級あたり 児童数・生徒数	
小学校	13.2
中学校	20.2

学級数の推計		
	2039 推計	2059 推計
小学校	48	45
中学校	19	16
合計	67	61

表 将来合計特殊出生率の設定

実績(H25)	2.27	伸び率
目標(H31)	2.27	1.00

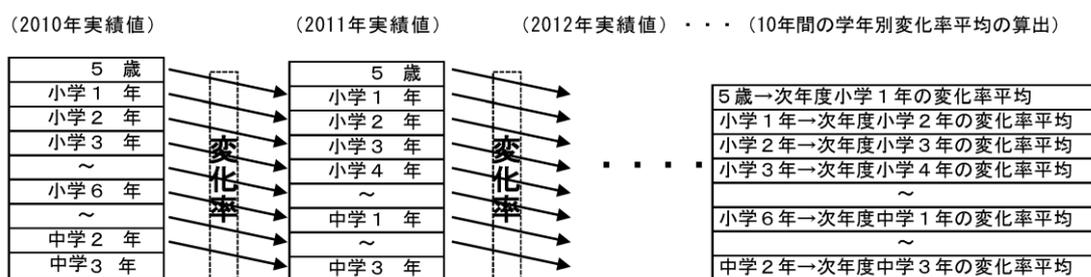
資料：新上五島町まち・ひと・しごと創出総合戦略

(参考) コーホート変化率法について

「コーホート変化率法」は、ある年の人口を基準として、コーホート（同期間に出生した集団）ごとに、人口動態（出生・死亡及び人口移動）に仮定を置いて将来の人口を試算する方法である。

本試算においては、2010年から2019年の学年別児童生徒数を基準として、以降10年ごとに人口を試算する。

なお、試算に必要な仮定値（変化率）については、2010年から2019年の学年別変化率の平均を設定する。



例えば、2029年人口は、以下のように試算する。

- 2029年の小学1年生数＝  
2019年の5歳児数×（過去10年間の5歳児⇒次年の小1児童数変化率平均）
- 2029年の小学2年生数＝  
2019年の小学1年生数×（過去10年間の小1⇒次年の小2児童数変化率平均）
- .
- .
- .
- 2029年の中学3年生数＝  
2019年の中学2年生数×（過去10年間の中2⇒次年の中3生徒数変化率平均）
- 2029年の5歳児数＝2019年の5歳児数×合計特殊出生率の伸び  
※合計特殊出生率は、新上五島町まち・ひと・しごと創出総合戦略において目標年（平成31年）において実績（平成25年）の値を維持することを目標としていることを踏まえ、伸び率を1.00とする。

### 3) 学校施設の配置状況

本計画における調査対象施設の配置は、以下のとおりです。

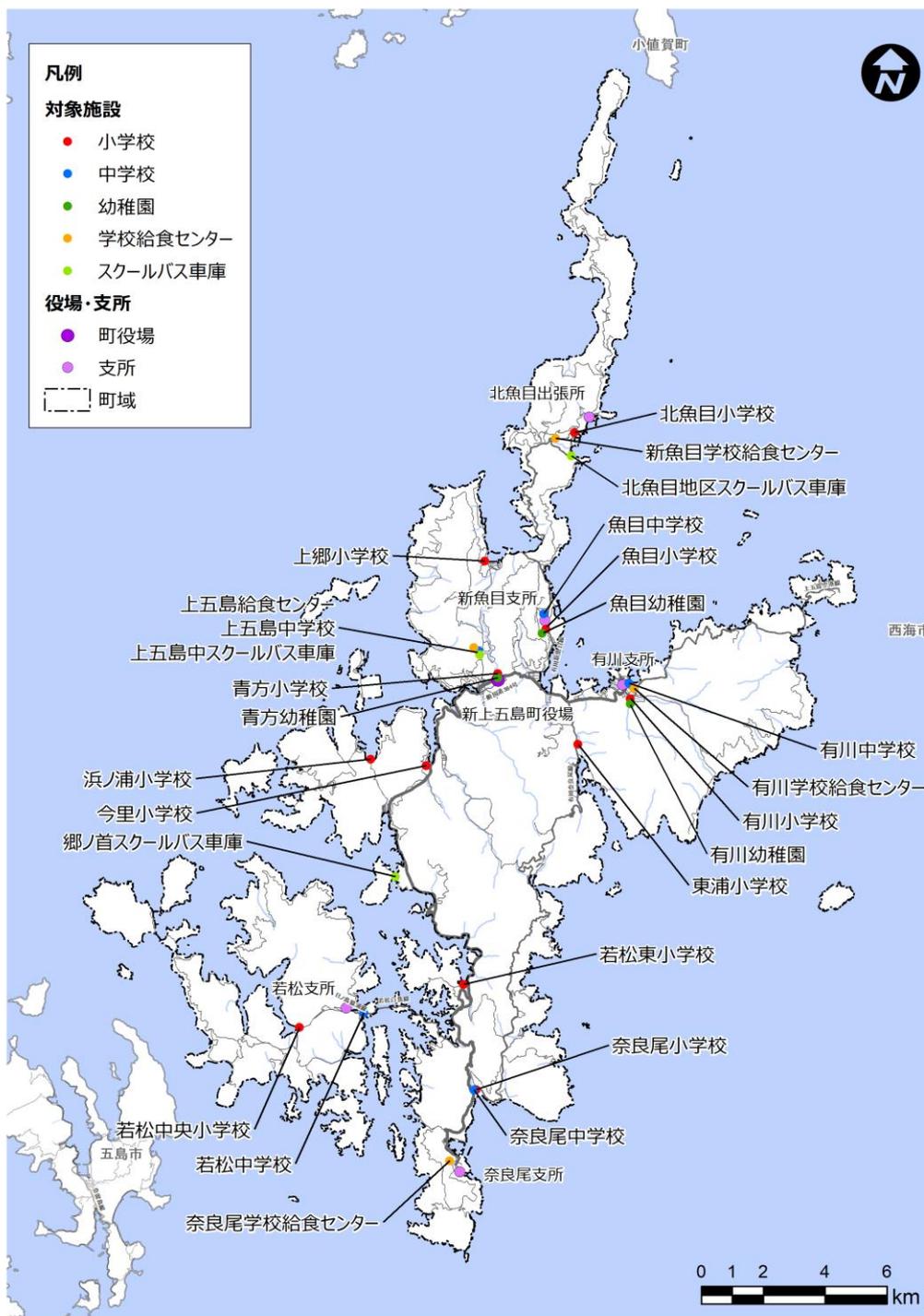


図 対象施設位置図

資料：国土交通省国土政策局  
 国土数値情報ダウンロードサービス  
 (学校ほか)

## (1) 対象施設の配置と人口分布及び見通し

平成 27 (2015) 年の総人口分布と対象施設の配置の関係をみると、有川支所周辺及び町役場付近の国道 384 号沿道の人口分布が最も多く、上郷小学校付近や奈良尾支所周辺の人口分布も相対的に人口が多くなっています。

社人研が平成 27 (2015) 年の国勢調査を基本に推計した人口に基づき配分した将来：令和 32 (2050) 年推計人口の分布をみると、全体的に人口が減少しています。

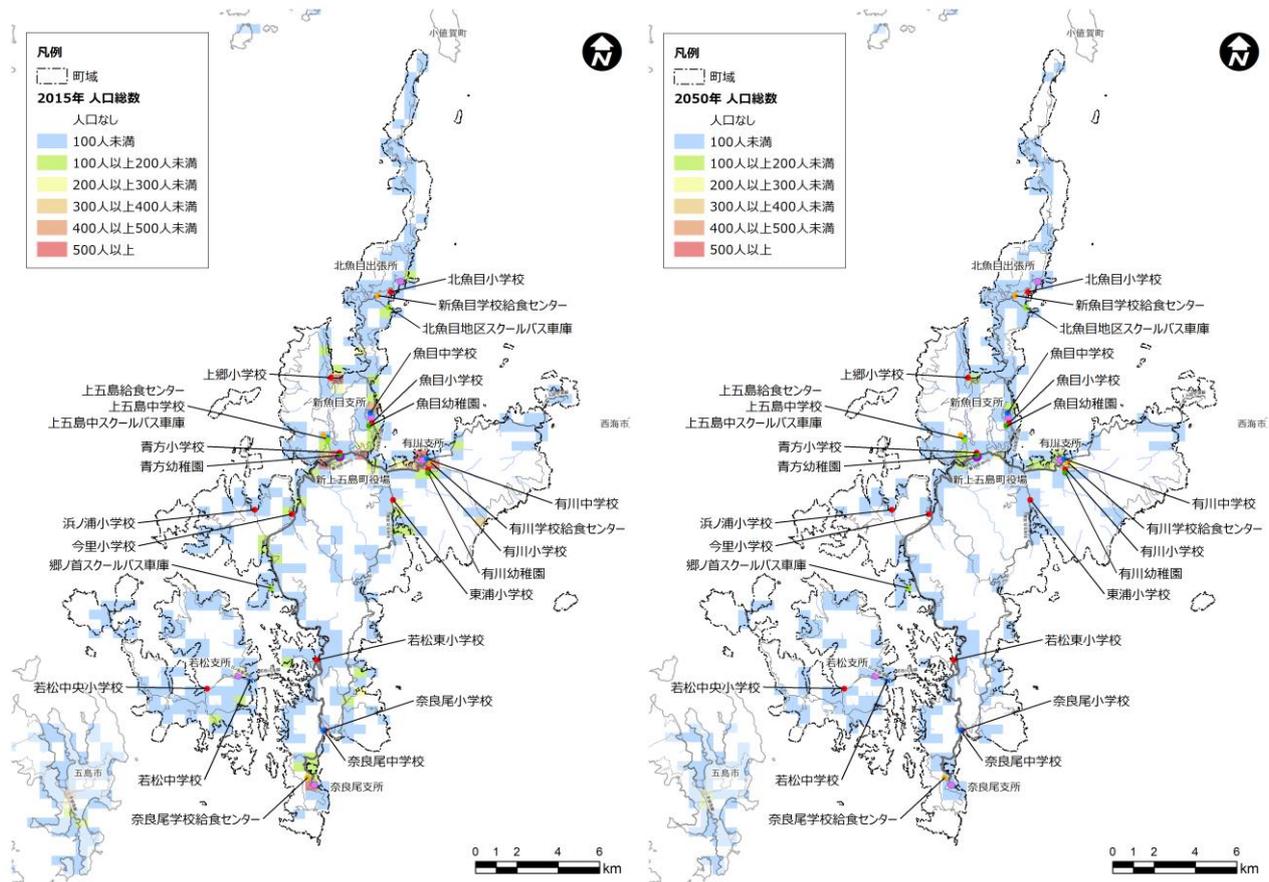


図 人口総数の分布 (2015 年：H27)

図 推計人口総数の分布 (2050 年)

資料：総務省統計局 政府統計の総合窓口 (e-Stat)

平成 27 年国勢調査 (統計 GIS)

国土交通省国土政策局 国土数値情報ダウンロードサービス

(500m メッシュ別将来推計人口：H30 国政局推計)

社人研の令和 2 (2020) 年推計人口と令和 32 (2050) 年推計人口の人口分布から、人口増減数と対象施設の配置の関係をみると、町役場付近の国道 384 号沿道、有川支所周辺の人口が大きく減少することが予想されています。

また、魚目小学校、上郷小学校、奈良尾支所周辺にも大きく人口が減少するエリアがみられます。

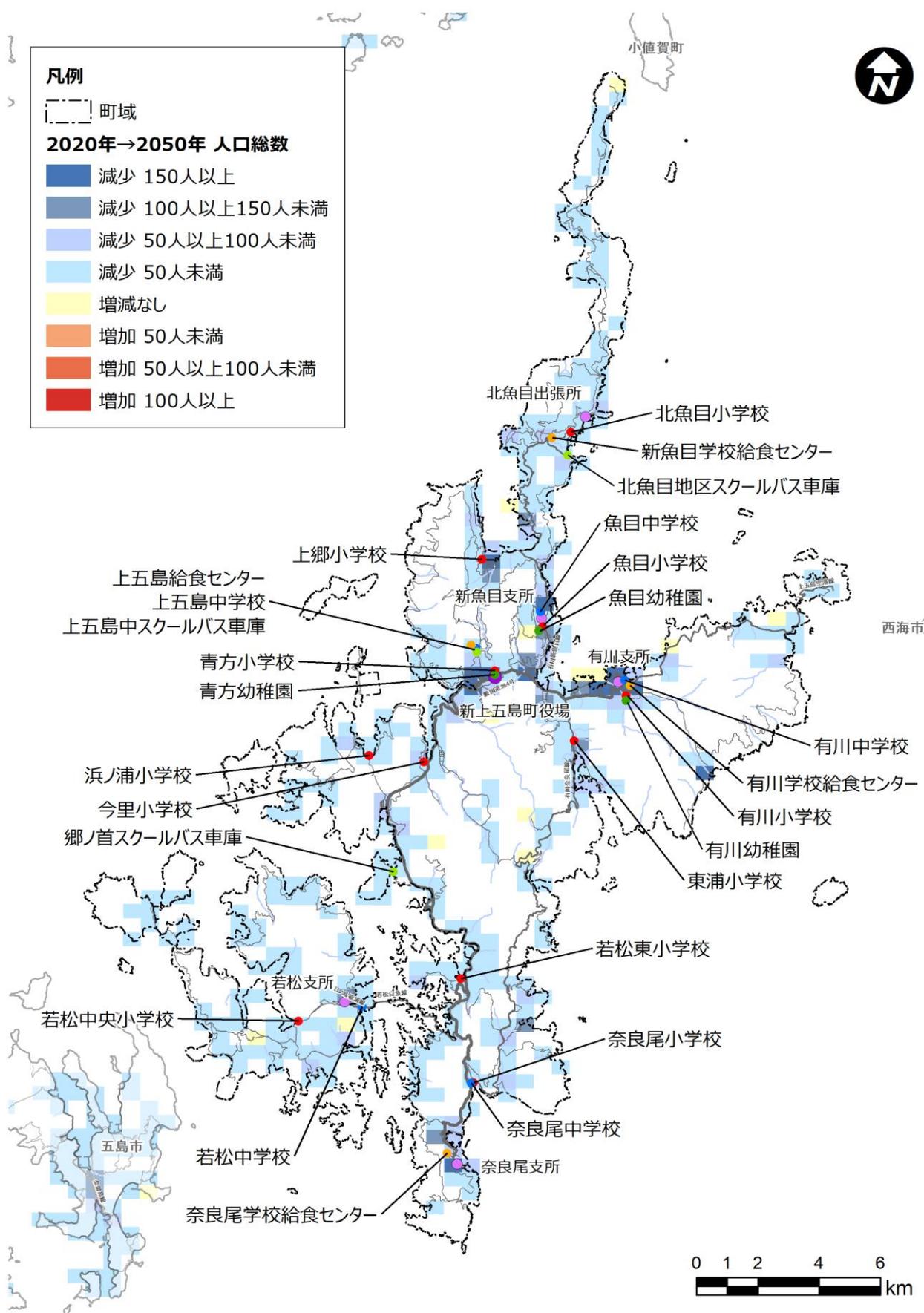


図 推計人口総数の増減（2020年⇒2050年）  
 資料：国土交通省国土政策局 国土数値情報ダウンロードサービス  
 （500mメッシュ別将来推計人口：H30 国政推計）

平成 27 (2015) 年の年少 (0~14 歳) 人口分布と対象施設の配置の関係をみると、総人口分布と同様に有川支所周辺及び町役場付近の国道 384 号沿道の年少人口分布が最も多く、上郷小学校、魚目小学校、東浦小学校周辺の年少人口分布も相対的に多くなっています。

浜ノ浦小学校や若松中央小学校、奈良尾小学校など、人口分布の薄いエリアに立地する学校もみられます。

社人研の将来：令和 32 (2050) 年推計人口における年少人口の分布をみると、全体的に年少人口が減少しています。

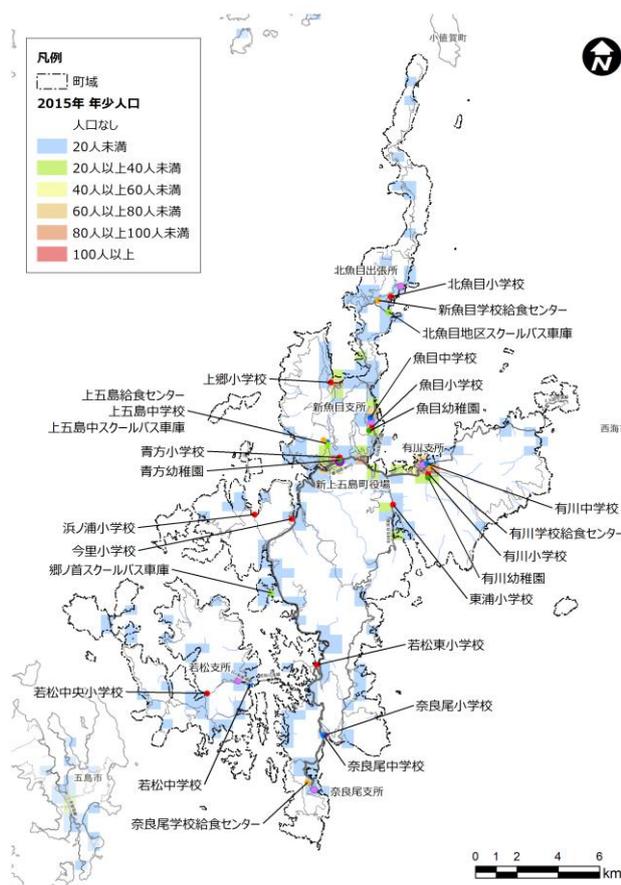


図 年少人口の分布 (2015 年：H27)

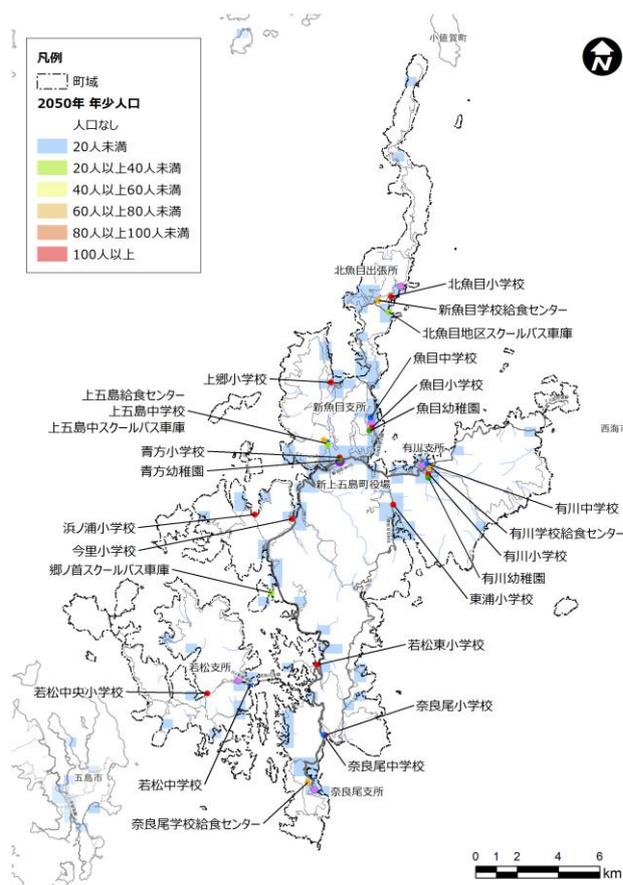


図 推計年少人口の分布 (2050 年)

資料：総務省統計局 政府統計の総合窓口 (e-Stat)

平成 27 年国勢調査 (統計 GIS)

国土交通省国土政策局 国土数値情報ダウンロードサービス  
(500m メッシュ別将来推計人口：H30 国政局推計)

社人研の令和 2 (2020) 年推計年少人口と令和 32 (2050) 年推計年少人口の分布から、年少人口増減数と対象施設の配置の関係をみると、有川小学校周辺、青方小学校周辺の年少人口が大きく減少することが予想されています。

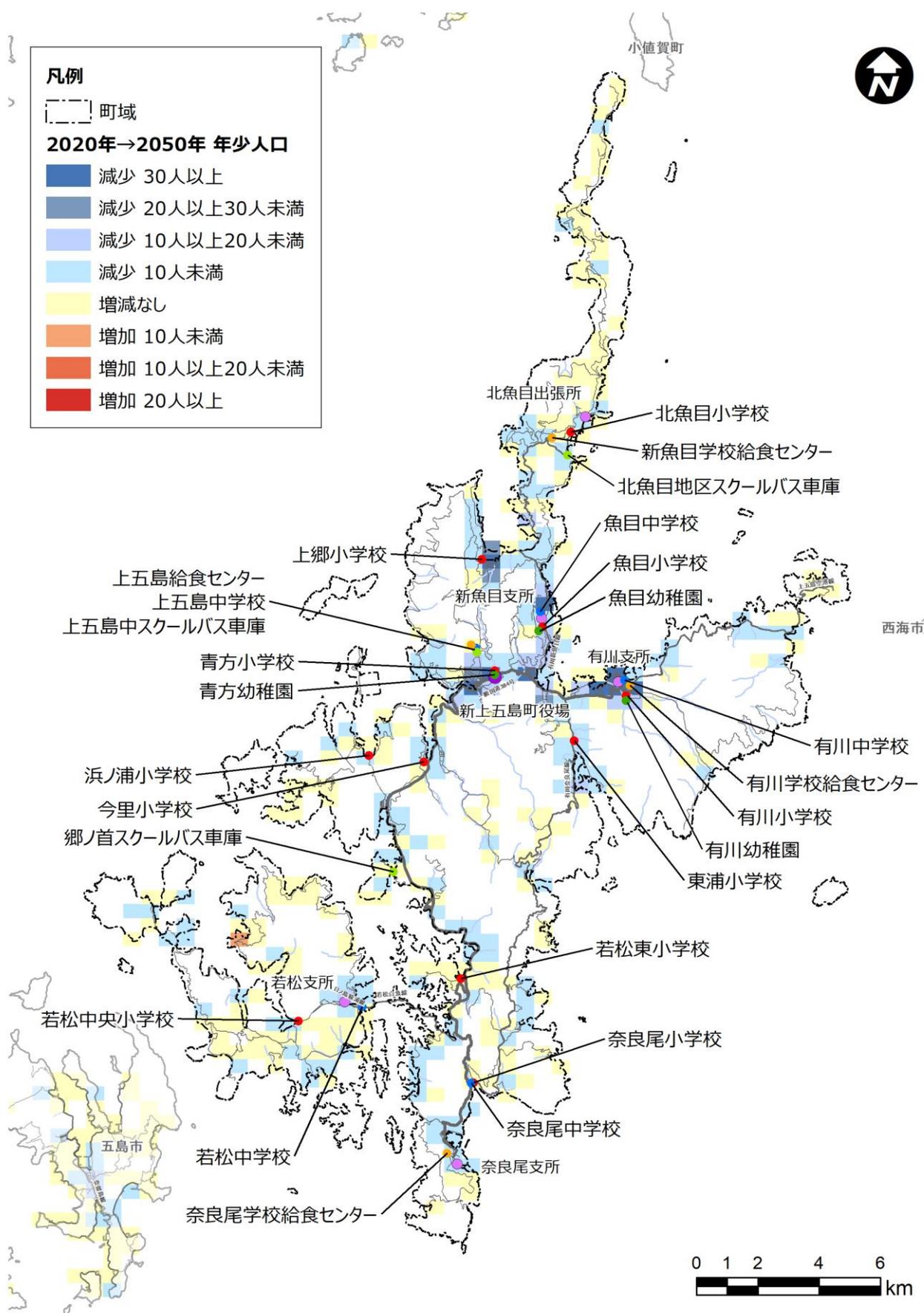


図 推計年少人口の増減（2020年⇒2050年）  
 資料：国土交通省国土政策局 国土数値情報ダウンロードサービス  
 （500mメッシュ別将来推計人口：H30国政局推計）

## (2) 対象施設の配置と都市計画

都市計画法による指定区域と対象施設の配置の関係をみると、青方小学校、上郷小学校、東浦小学校、有川小学校、上五島中学校、有川中学校が都市計画区域内に立地しており、一定の利便性が確保され、居住環境が整備された区域に配置されているものと想定されます。

なお、本町に用途地域の指定はありません。

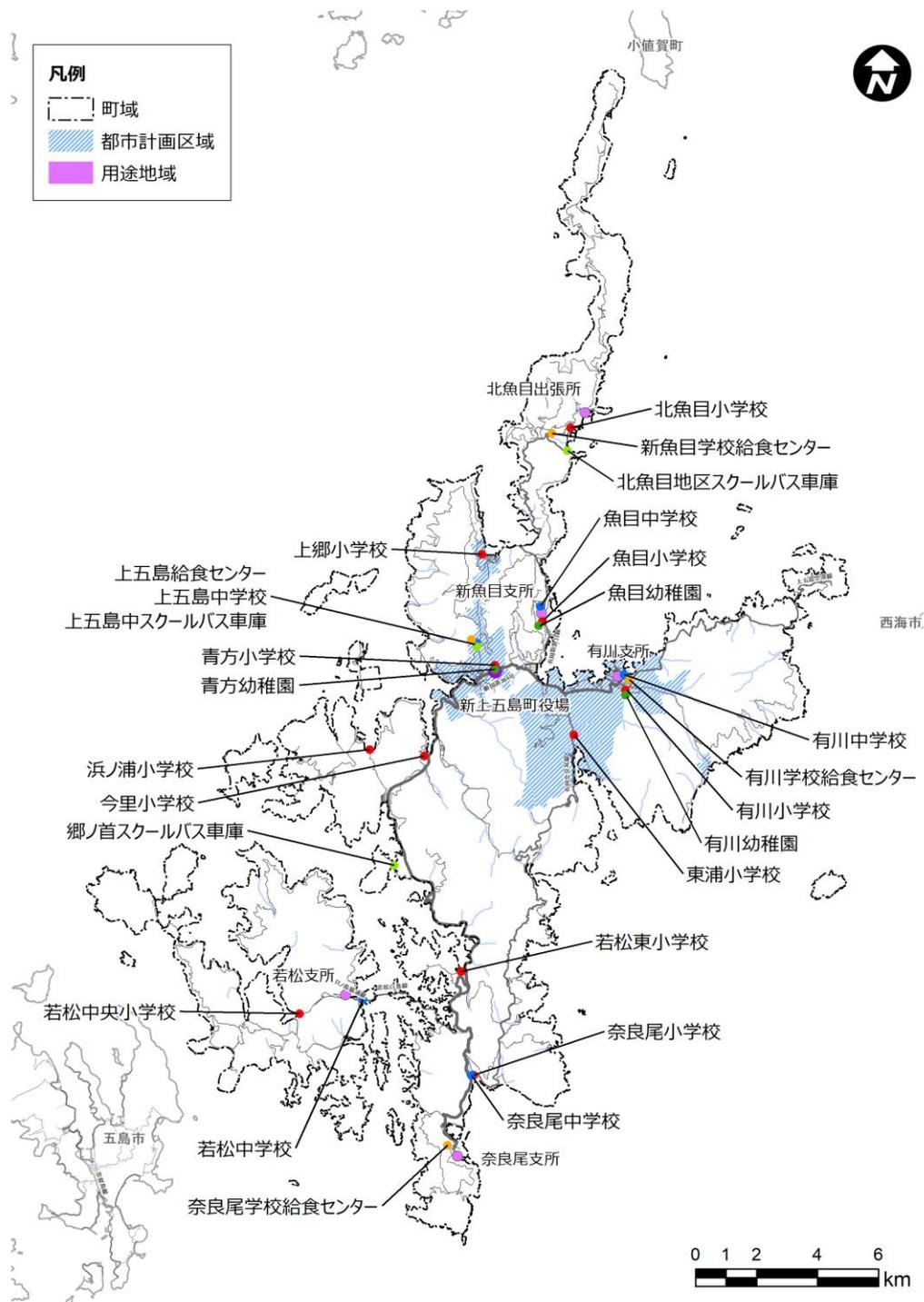


図 対象施設と都市計画指定関係図

資料：国土交通省国土政策局 国土数値情報ダウンロードサービス  
(都市地域・用途地域)

### (3) 対象施設の配置と災害リスク

現在指定されている土砂災害警戒区域と対象施設の配置の関係をみると、土砂災害特別警戒区域内に立地する対象施設はありませんが、上郷小学校、魚目小学校、東浦小学校、魚目中学校、魚目幼稚園は土砂災害警戒区域内に立地しています。

対象施設で津波浸水想定区域内に位置する施設はありませんが、本町の沿岸部の大半が津波の危険があるため、特に浜ノ浦小学校や若松中学校など沿岸に立地する施設は注意が必要です。

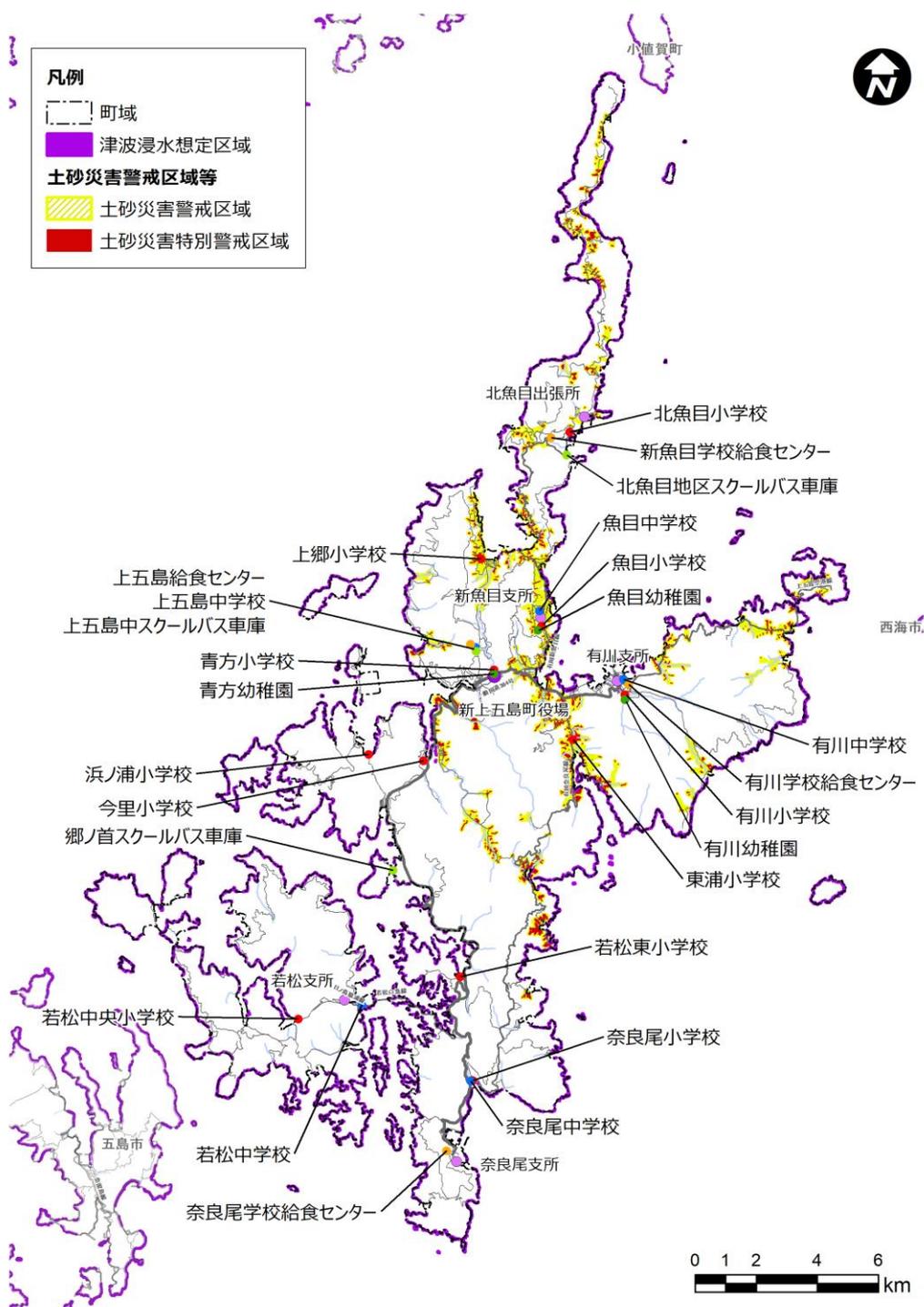


図 対象施設と災害リスク関係図

資料：国土交通省国土政策局 国土数値情報ダウンロードサービス  
(土砂災害警戒区域・浸水想定区域・津波浸水想定)

#### 4) 施設関連経費の推移

本町の対象施設に係るコスト状況について、過去5年間の施設整備費、運営費等（維持管理費、光熱水費等）を整理します。

全体で見ると、過去5年間のうち、平成26（2014）年度が最も多く、約5億円となっています。

これは、北魚目小学校、上郷小学校、魚目中学校の校舎耐震補強工事や奈良尾小学校校舎解体及び跡地整備工事によるものです。

維持修繕費は、増減はありますが、概ね1～2千万円で推移しており、大きな変動はありません。

光熱水費・委託費についても、平成26（2014）年度がほかの年に比べ大きくなっていますが、概ね6～7千万円で推移しており、大きな変動はありません。

過去5年間の平均で見ると、総額で約2億円／年となっており、そのうち施設整備費は、約1.2億円／年となっています。

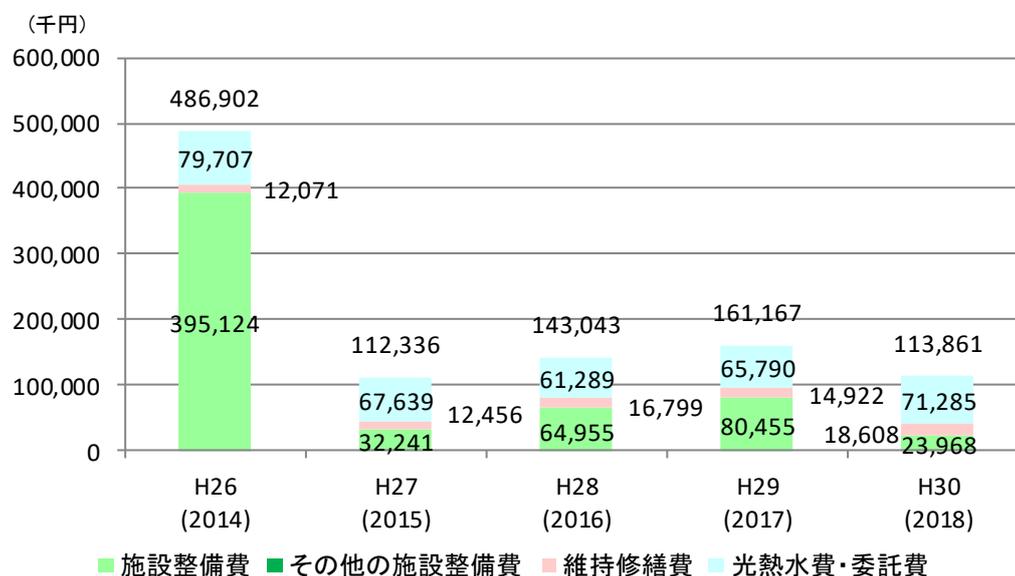


図 施設関連経費の推移（過去5年間）

表 施設関連経費の推移

	(単位:千円)					合計	年平均
	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)		
A 施設整備費	395,124	32,241	64,955	80,455	23,968	596,743	119,349
B その他の施設整備費	0	0	0	0	0	0	0
C 維持修繕費	12,071	12,456	16,799	14,922	18,608	74,856	14,971
D 光熱水費・委託費	79,707	67,639	61,289	65,790	71,285	345,710	69,347
合計	486,902	112,336	143,043	161,167	113,861	1,017,309	203,666

資料：庁内資料

※文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に示された様式にて作表。

### 5) 学校施設の保有量

本町が保有する公共施設（建物）のうち、本計画の対象施設を含む学校教育系施設は、施設数では全体の約 7.6%ですが、延床面積で見ると約 24.4%を占めており、類型別には最も大きくなっています。

特に、学校施設は、施設数では全体の約 7.1%ですが、延床面積で見ると約 23.4%を占めており、中分類の中でも最も大きく占めています。

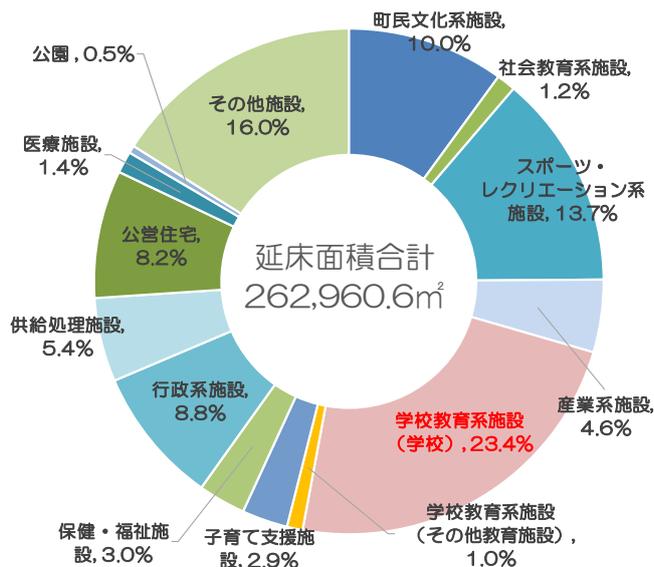


図 本町が保有する公共施設の内訳（延床面積）  
資料：総合管理計画（個別計画）

表 本町が保有する公共施設の延床面積構成

大分類	中分類	施設数	延床面積 (㎡)		構成比			
					施設数	延床面積	施設数	延床面積
町民文化系施設	集会施設、文化施設	56	26,260.9		5.7%	10.0%		
社会教育系施設	図書館、博物館等	8	3,184.4		0.8%	1.2%		
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設、レクリエーション施設・観光施設、保養施設	95	35,990.4		9.7%	13.7%		
産業系施設	産業系施設	36	12,197.0		3.7%	4.6%		
学校教育系施設	学校	70	61,495.0	64,122.5	7.1%	23.4%		24.4%
	その他教育施設	4	2,627.5		0.4%	1.0%		
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園(幼児・児童施設)	21	7,639.9		2.1%	2.9%		
保健・福祉施設	保健施設、高齢福祉施設、その他社会福祉施設	13	7,917.2		1.3%	3.0%		
行政系施設	庁舎等、消防施設、その他行政系施設	118	23,034.3		12.0%	8.8%		
供給処理施設	ごみ・廃棄物処理施設	23	14,105.8		2.3%	5.4%		
公営住宅	公営住宅	60	21,503.1		6.1%	8.2%		
医療施設	医療施設	21	3,634.0		2.1%	1.4%		
公園	公園	59	1,282.2		6.0%	0.5%		
その他施設	その他	396	42,089.0		40.4%	16.0%		
合計		980	262,960.6		100.0%	100.0%		

※上水道施設を除く

資料：総合管理計画（個別計画）

## 6) 長寿命化計画の対象施設

本計画では、調査対象建物（64 棟）のうち、被災状況や直近の閉校予定等を踏まえ、長寿命化計画の対象建物は、以下の4棟を除く60棟を対象とします。

なお、現地における建物の劣化状況調査は、調査対象建物（64 棟）を対象に行い、全体的にみた劣化の進行状況の把握や相対比較につなげます。

表：長寿命化計画から除外する建物

除外する建物	除外理由
浜ノ浦小学校（校舎1）	2020年度末に閉校する予定のため除外
浜ノ浦小学校（屋内運動場）	
魚目中学校（校舎2）	被災により2020年度に解体するため除外
有川給食センター	2020年8月末より休止する予定のため除外

## 7) 長寿命化計画対象施設の築年別整備状況

長寿命化計画対象建物（60 棟）について、築年別整備状況をみると、築30年以上経過している建物は、棟数で約63%、床面積で約65%を占めており、そのうち40年以上経過する建物は、床面積で全体の約30%を占めています。

また、旧耐震基準の建物は、棟数で約40%、床面積で約37%を占めています。

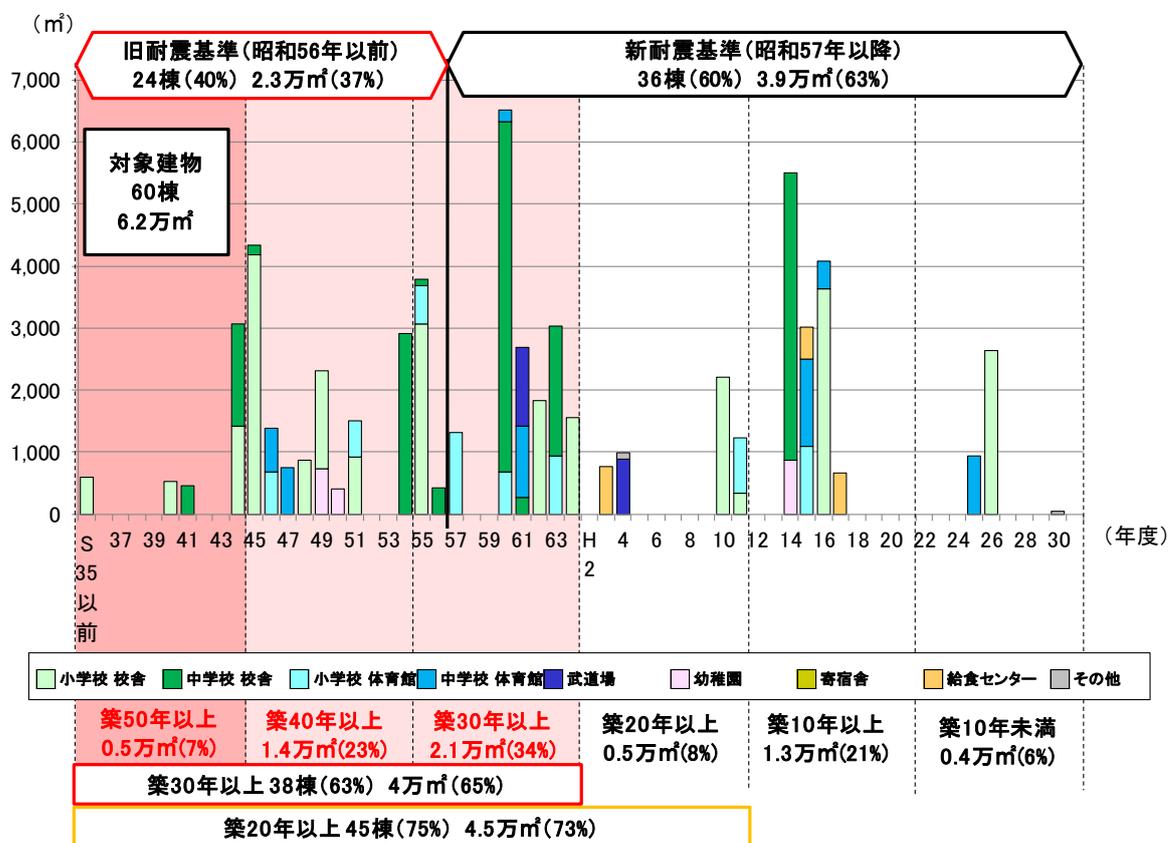


図 対象建物の築年別整備状況

※文部科学省エクセルソフト Ver1.23 により作図

### 8) 今後の維持・更新コスト（従来型）

長寿命化計画対象建物（60 棟）について、すべての建物をそのまま保有し、従来の建替えを前提とした維持・更新を図るとした場合、今後 40 年間の維持・更新コストは、総額で約 269 億円が必要となり、年平均で約 6.7 億円が必要になると試算されます。

これは、過去 5 年間の年平均施設関連経費の約 3.4 倍にあたります。

特に、直近の 20 年間では改築が集中し、年平均の維持・更新コストは年間約 8 億円が必要になると試算され、過去の年平均施設関連経費の 4 倍となります。

また、令和 18 年、令和 35 年など、突出して維持・更新コストが必要になる年もみられます。

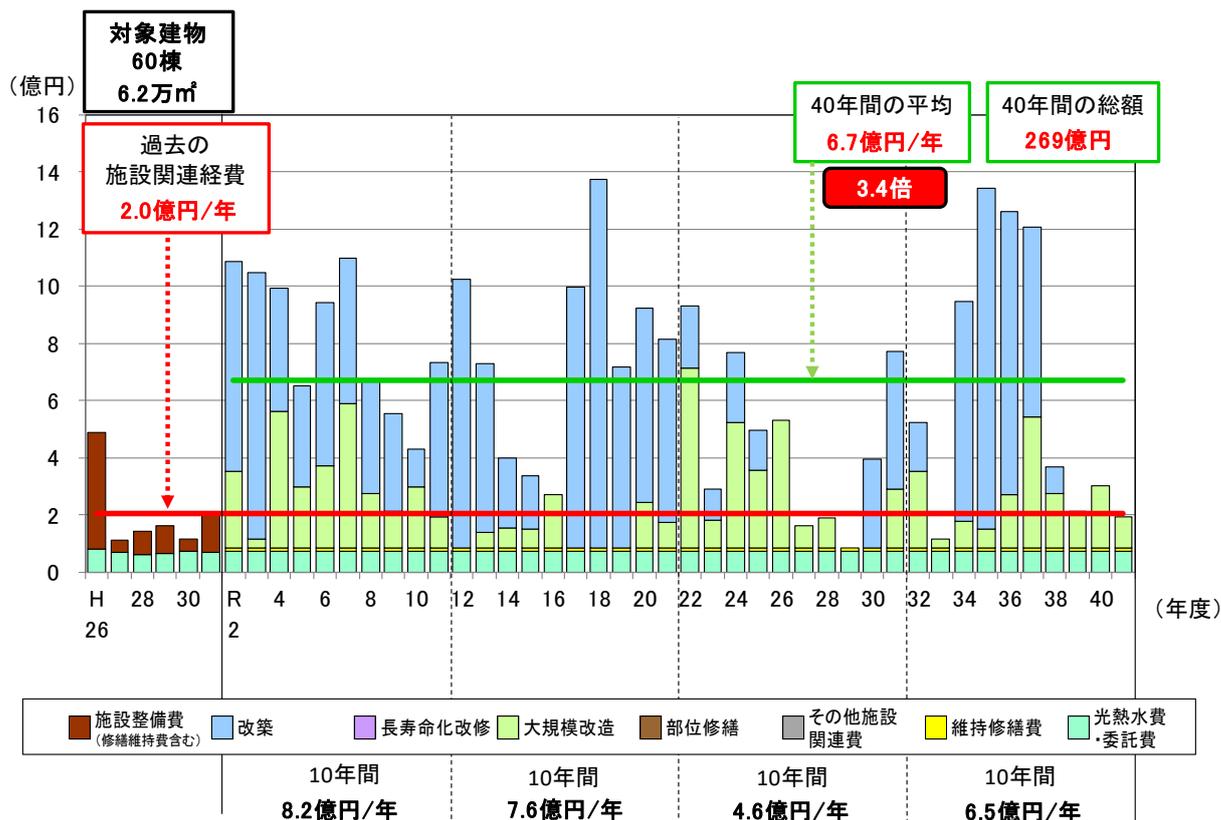


図 対象建物の今後の維持・更新コストの試算（従来型）

※文部科学省エクセルソフト Ver1.23 により作図

#### コスト試算条件（従来型）

<b>基準年度</b>	2019 年	試算期間:	基準年の翌年度から40年間
<b>改築</b>			
更新周期	50 年	工事期間:	2年
改築単価	280,000 円/㎡	実施年数より古い建物の改修を10年以内に実施	
<b>大規模改造</b>	実施年数	20 年	年周期
			工事期間: 1年

## 9) 学校施設の活用状況

本町が保有する学校施設は、教育時間内の授業等のほか、様々な活用が図られています。

### 1. 学校施設の開放

本町が保有する小学校及び中学校の施設（体育館、武道館、テニスコート、教室）は、「新上五島町立学校施設使用条例」及び「新上五島町立学校の施設の開放に関する規則」に基づき、教育委員会の許可を受け、使用料を納めた上で利用できることとなっています。

これに基づき、学校教育に支障のない範囲で、児童、生徒その他一般町民の使用に供しています。

平成30年度の学校体育館の利用者数は、34,140人、使用料収入は約102万円となっています。

### 2. 災害・緊急時の避難場所としての活用

本町の地域防災計画に基づき、奈良尾小学校、奈良尾中学校、若松中学校を除く小学校及び中学校の体育館は、指定避難所に指定されています。

これらの施設は、災害により住居を喪失した住民、現に災害を受け、速やかに避難しなければならない住民、災害によって現に被害を受けるおそれがある住民を収容する施設として利用されます。

### 3. 生涯学習、体育行事での活用

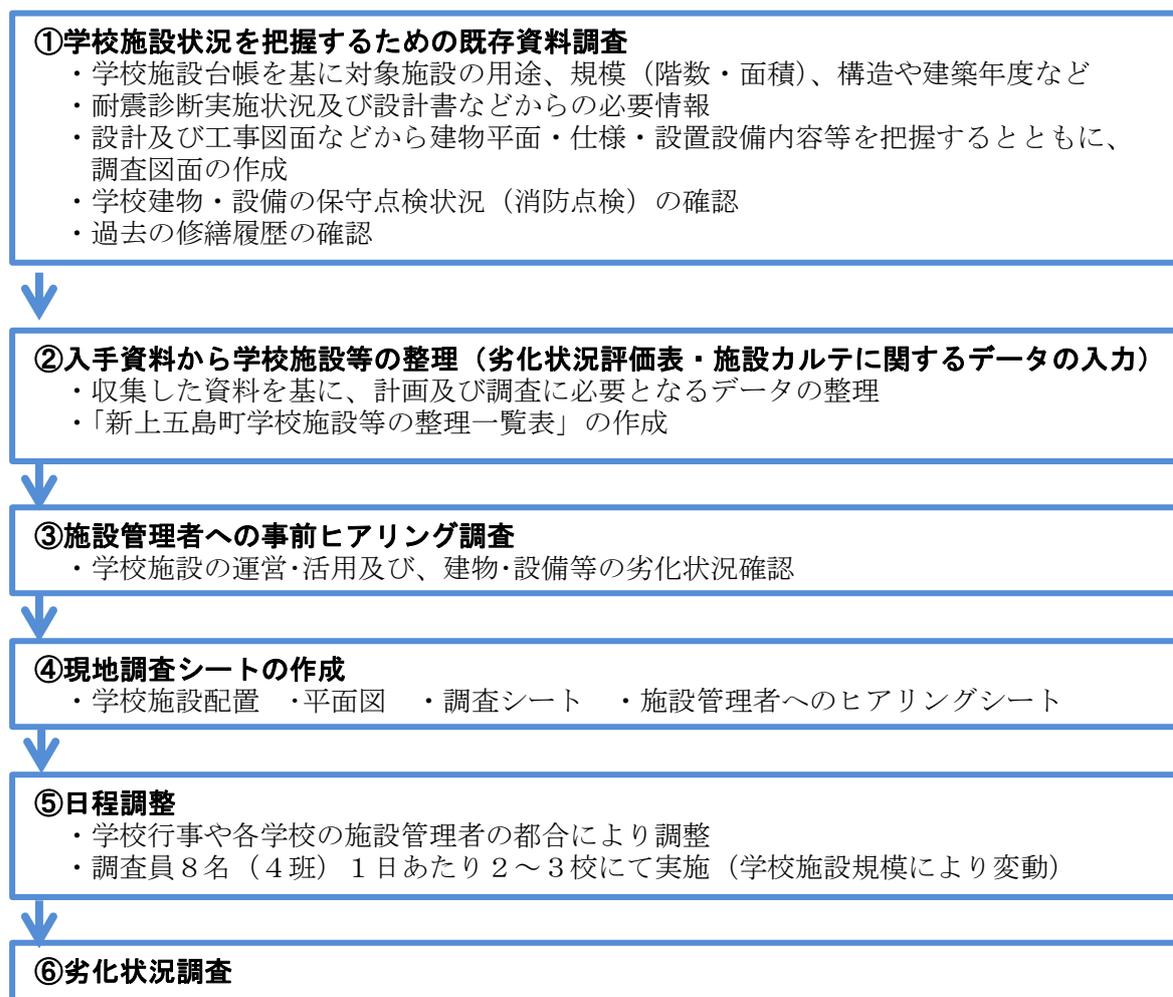
その他、青少年劇場、学校寄席、コンサート、上五島地区対抗野球大会などの生涯学習、体育行事で学校施設を利用しています。

## ②学校施設の老朽化状況の実態

## 1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

## (1) 劣化状況調査に向けた準備

調査対象建物（64 棟）については、施設点検調査に着手する前に各施設の既存資料の収集と各施設管理者へのヒアリング調査を行い、事前に施設内容及び状況を整理・把握したうえで劣化状況調査を実施しました。以下に劣化状況調査に向けた作業フローを示します。



※劣化状況調査に向け作成した「新上五島町学校施設等の整理一覧表」は、報告書資料編に掲載しています。

## (2) 劣化状況調査方法

事前作成資料から施設の劣化が進んでいる部位や問題点、要望等を把握した上で、1級建築士など専門家により現地調査を実施しました。

調査においてはまず、次項に示す施設管理者に対する事前ヒアリング調査（施設の具体的な老朽施設箇所、改善及び要望等）で記入頂いた内容についての確認と具体的な問題箇所や構造躯体以外の劣化箇所、その他設備に関する不良などについて確認を行いました。

それらを踏まえ、屋根・屋上、外壁、内部仕上げは、現地にて目視による確認を行い、電気設備、機械設備は現地での状況確認や消防点検結果資料等を基に内容確認を行った上で、部位の全面的な改修年から経過年数を基本にA～Dの4段階評価を行うこととしました。

## (3) 事前ヒアリング調査

劣化状況調査を実施する前に、効率的な調査の実施及び現地調査では確認できない状況等についての情報を確認するため、事前にヒアリングシートに記入頂き整理することとしました。

各施設の管理担当者に対するヒアリング調査の概要と結果を以下に示します。

### 【調査実施期間】

令和元年7月中旬 ～ 下旬

### 【ヒアリング調査項目】

#### ①施設の具体的な老朽施設箇所

：老朽化への対策、具体的な老朽施設箇所

#### ②改善及び要望等

：教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策、校具などの整備、バリアフリー化、エコスクールなど

：期待される諸室や機能の追加、施設、設備など

：多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習

※管理担当者に対するヒアリング調査の結果については、報告書資料編に掲載しています。

#### (4) 劣化状況調査

各施設の劣化状況調査の概要を以下に示します。

##### 【調査実施期間】

令和元年10月1日(火)～10月4日(金) ※調査時間：9時～12時及び13時～17時

表 劣化状況調査日程

No.	学校名	調査日		建物用途	調査
1	若松中央小学校	2019年10月3日	AM	校舎：1棟・体育館	劣化状況調査
2	若松東小学校	2019年10月3日	AM	校舎：2棟・体育館	〃
3	浜ノ浦小学校	2019年10月4日	AM	校舎：1棟・体育館	〃
4	今里小学校	2019年10月4日	AM	校舎：1棟・体育館	〃
5	青方小学校	2019年10月2日	AM	校舎：3棟・体育館	〃
6	上郷小学校	2019年10月4日	AM	校舎：2棟・体育館	〃
7	魚目小学校	2019年10月2日	AM	校舎：1棟・体育館	〃
8	北魚目小学校	2019年10月4日	AM	校舎：2棟・体育館	〃
9	有川小学校	2019年10月3日	PM	校舎：2棟・体育館：2棟	〃
10	東浦小学校	2019年10月3日	PM	校舎：3棟・体育館	〃
11	奈良尾小学校	2019年10月3日	AM	校舎：1棟	〃
12	若松中学校	2019年10月2日	PM	校舎：3棟・体育館・武道場	〃
13	上五島中学校	2019年10月1日	PM	校舎：4棟・体育館・武道館・部室	〃
14	魚目中学校	2019年10月1日	PM	校舎：3棟・体育館	〃
15	有川中学校	2019年10月2日	AM/PM	校舎：2棟・体育館	〃
16	奈良尾中学校	2019年10月3日	PM	校舎：2棟・体育館：2棟	〃
17	青方幼稚園	2019年10月4日	PM	園舎：2棟	〃
18	魚目幼稚園	2019年10月4日	PM	園舎：1棟	〃
19	有川幼稚園	2019年10月2日	PM	園舎：1棟	〃
20	新魚目給食センター	2019年10月2日	PM	給食センター	〃
21	上五島給食センター	2019年10月1日	PM	給食センター	〃
22	有川給食センター	2019年10月2日	PM	給食センター	〃
23	奈良尾給食センター	2019年10月3日	PM	給食センター	〃
24	郷ノ首スクールバス車庫	2019年10月3日	AM	車庫	〃
25	北魚目地区スクールバス車庫	2019年10月4日	PM	車庫	〃

##### 【調査方法】

- ・ 目視による劣化箇所の確認、写真撮影、平面図への記録
- ・ クラックスケールによるコンクリートクラックの大きさ確認
- ・ 可能な範囲でのテストハンマーによる打診



調査風景

劣化状況調査は、建物の性能や機能などを維持していくうえで確認すべき部位について、次ページに示す点検項目を基に部位の仕様と劣化状況を目視により把握します。

設備（電気・機械）については、目視による確認に加え、既往の設備関連点検結果や改修工事の実施年を基準とした経過年数を把握し、評価します。

表 劣化状況評価対象部位と点検項目

点検周期	点検部位	点検項目		
3年以内 ごと	建築物(敷 地・構造)	敷地及び 地盤	地盤 敷地 塀 擁壁 等	
		建築物の 外部	基礎 土台(木造に限る。) 外壁(躯体等、外装仕上げ材等、窓サッシ等、広告板等)	→ 2 外壁
		屋上及び 屋根	屋上面 屋上周り 屋根 機器及び工作物	→ 1 屋根・屋上
		建築物の 内部	防火区画 壁の室内に面する部分(躯体等、防火区画を構成する壁) 床(躯体等、防火区画を構成する床) 天井 照明器具・懸垂物等 石綿等を添加した建築材料	→ 3 内部仕上げ
		避難施設 等	避難上有効なバルコニー 階段 排煙設備等 非常用の照明装置	
		その他	特殊な構造(膜構造建築物の膜体・取付け部材等、免震構造建 築物の免震層・免震装置) 避雷設備 煙突	
1年以内 ごと	建築設備 (昇降機を 除く)	昇降機	エレベーター エスカレーター 小荷物専用昇降機	→ 4 電気設備
		防火設備	防火戸 防火シャッター等駆動装置との連動	→ 2 外壁 → 3 内部仕上げ
		換気設備	(居室等の)機械換気設備 (調理室等の)自然換気設備及び機械換気設備 (居室等の)防火ダンパー 等	→ 5 機械設備
		排煙設備	排煙機 その他(機械排煙設備の排煙口・排煙風道、防火ダンパー、特殊 な構造の排煙設備の排煙口及び給気口・給気風道・給気送風機) 特殊避難階段の付室及び非常用エレベーターの乗降ロビーに設 ける排煙口及び給気口 可動防煙壁 自家発電装置 エンジン直結の排煙機	
		非常用の 照明装置	電池内蔵形の蓄電池 電源別置形の蓄電池 自家発電装置	→ 4 電気設備
		給水設備 及び排水 設備	飲料用の配管及び排水配管 飲料用の給水タンク及び貯水タンク並びに給水ポンプ 排水槽 給湯設備 排水再利用配管設備 その他(衛生器具、排水管)	→ 5 機械設備

※文部科学省：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書より

表 使用した劣化状況評価調査票

通し番号					
学校名		学校番号		調査日	
建物名				記入者	
棟番号		建築年度	年度(      年度)		
構造種別		延床面積	m <sup>2</sup>	階数	地上    階    地下    階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 (      )			<input type="checkbox"/> 樋やルーフレンを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 (      )			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
0
/ 100点

**【劣化状況調査判定基準】**

現地調査において作成した劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁及び、内部仕上げ（床・内壁・梁）を目視状況により評価します。

内部仕上げ（建具・間仕切等・照明器具・エアコン）、電気設備、機械設備は、事前ヒアリング調査結果、消防点検結果や現地調査時に管理者への聞き取りを行った劣化確認状況を加味したうえで、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階評価を行うものとします。

**■評価基準**

【屋根・屋上、外壁】※目視、打診等による評価

評価	基準
良好	A 概ね良好
	B 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
	C 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化	D 早急に対応する必要がある (安全上、機能上に問題があり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

【内部仕上げ、電気設備、機械設備】※目視（可能な範囲）経過年数による評価

評価	基準
良好	A 20年未満
	B 20～40年
	C 40年以上
劣化	D 経過年数にかかわらず著しい劣化事象がある場合

**■健全度**

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

健全度は数値が低いほど、劣化が進んでいることを示しています。

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60 = \text{健全度}$$

表：部位の評価点

A	B	C	D
100	75	40	10

表：部位のコスト配分

屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	劣化点
5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60.0

※文部科学省エクセルソフト Ver1.23 より

## (5) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価結果

老朽化状況は、長寿命化計画の対象建物に対し、①躯体の健全性調査と②躯体以外の劣化状況調査の2つに分けて把握・評価します。

躯体の健全性は、耐震診断時の既存データから診断を行い、建物ごとの残存耐用年数や耐震診断結果を把握し、具体的な長寿命化計画につなげます。

躯体以外の劣化状況は、現地調査により把握し、劣化度の算定・評価を実施し、劣化優先順位づけや、保全方針、基準の見直し、中長期保全計画につなげます。

表 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価結果一覧

A:概ね良好 C:広範囲に劣化  
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	構造躯体の健全性					劣化状況評価					健全度 (100点 満点)	
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		耐震安全性			長寿命判定		屋根・ 屋上	外壁	内部仕 上	電気設 備	機械設 備		
													基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)							試算上 の区分
1	0550	若松中央小学校	校舎1	020, 021	小学校	校舎	RC	2	2,213	1998	H10	21	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	C	B	57
2	0550	若松中央小学校	屋内運動場	022	小学校	体育館	RC	1	894	1999	H11	20	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	B	B	B	70
3	0553	若松東小学校	校舎1	019	小学校	校舎	RC	3	1,828	1987	S62	32	新	-	-	-	-	長寿命	B	D	B	B	B	56
4	0553	若松東小学校	屋内運動場	020, 020-1, 020-2	小学校	体育館	RC	1	937	1988	S63	31	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
5	0553	若松東小学校	校舎2	029	小学校	校舎	RC	2	270	1999	H11	20	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
6	0419	浜ノ浦小学校	校舎1	010	小学校	校舎	RC	2	1,590	1988	S63	31	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67
7	0419	浜ノ浦小学校	屋内運動場	013	小学校	体育館	RC	1	800	1994	H6	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
8	0420	今里小学校	屋内運動場	013	小学校	体育館	RC	2	680	1985	S60	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
9	0420	今里小学校	校舎1	014	小学校	校舎	RC	2	1,558	1989	H元	30	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
10	0422	青方小学校	校舎1	001-1	小学校	校舎	RC	3	1,428	1969	S44	50	旧	済	済	H24	22.7	長寿命	B	B	C	C	C	53
11	0422	青方小学校	校舎2	001-2, 010	小学校	校舎	RC	3	1,469	1970	S45	49	旧	済	済	H24	22.7	長寿命	B	C	B	C	B	60
12	0422	青方小学校	屋内運動場	011, 014-1, 014-2	小学校	体育館	RC	1	1,094	2003	H15	16	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
13	0422	青方小学校	校舎3	016	小学校	校舎	RC	1	164	2004	H16	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
14	0423	上郷小学校	校舎1	012	小学校	校舎	RC	4	1,383	1980	S55	39	旧	済	済	H26	25.2	長寿命	B	D	C	C	C	34
15	0423	上郷小学校	校舎2	013	小学校	校舎	RC	4	1,675	1980	S55	39	旧	済	済	H26	25.2	長寿命	B	D	C	C	C	34
16	0423	上郷小学校	屋内運動場	014	小学校	体育館	S	1	680	1982	S57	37	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
17	0424	魚目小学校	屋内運動場	015	小学校	体育館	RC	1	623	1980	S55	39	旧	済	済	H23	24.1	長寿命	B	B	B	B	B	75
18	0424	魚目小学校	校舎1	021	小学校	校舎	RC	3	3,462	2004	H16	15	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
19	0425	北魚目小学校	校舎1	020-1, 021	小学校	校舎	RC	3	1,564	1974	S49	45	旧	済	済	H26	26.5	長寿命	D	C	C	C	C	37
20	0425	北魚目小学校	校舎2	020-2, 020-3, 023	小学校	校舎	RC	3	924	1976	S51	43	旧	済	済	H26	28.3	長寿命	D	C	C	C	C	37
21	0425	北魚目小学校	屋内運動場	025	小学校	体育館	RC	1	630	1982	S57	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	C	B	67
22	0428	有川小学校	校舎1	001	小学校	校舎	RC	2	714	1970	S45	49	旧	済	済	H23	25.5	長寿命	B	C	B	B	B	65
23	0428	有川小学校	校舎2	002, 003, 008	小学校	校舎	RC	3	1,991	1970	S45	49	旧	済	済	H23	22.2	長寿命	B	C	B	B	B	65
24	0428	有川小学校	屋内運動場1	010	小学校	体育館	S	1	677	1971	S46	48	旧	済	済	-	-	長寿命	B	C	C	B	C	48
25	0428	有川小学校	校舎3	018	小学校	校舎	W	1	70	1999	H11	20	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	B	B	62
26	0431	東浦小学校	校舎1	004-1, 022	小学校	校舎	RC	2	602	1960	S35	59	旧	-	-	-	12.5	要調査	C	C	C	C	C	40
27	0431	東浦小学校	校舎2	004-2, 023	小学校	校舎	RC	3	522	1965	S40	54	旧	済	済	H21	12.1	要調査	C	C	C	C	C	40
28	0431	東浦小学校	校舎3	013	小学校	校舎	RC	3	865	1973	S48	46	旧	済	済	H21	23.5	長寿命	B	B	C	C	C	53
29	0431	東浦小学校	屋内運動場	016, 024	小学校	体育館	RC	1	580	1976	S51	43	旧	済	済	H20	24	長寿命	B	B	B	C	C	66
30	0567	奈良尾小学校	校舎1	022, 023	小学校	校舎	RC	3	2,630	2014	H26	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84
31	3694	若松中学校	校舎1	003	中学校	校舎	RC	2	455	1966	S41	53	旧	済	済	H21	13.5	要調査	B	A	A	C	C	83
32	3694	若松中学校	校舎2	003-1	中学校	校舎	RC	2	426	1981	S56	38	旧	済	済	H21	28.4	長寿命	A	A	A	B	B	94
33	3694	若松中学校	屋内運動場1	006	中学校	体育館	S	2	715	1971	S46	48	旧	済	済	H25	27.1	長寿命	A	A	B	C	C	55
34	3694	若松中学校	校舎3	025, 025-1, 025-2	中学校	校舎	RC	3	2,098	1988	S63	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
35	3694	若松中学校	武道場	029, 029-1	中学校	武道場	RC	2	883	1992	H4	27	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
36	3776	上五島中学校	校舎1	001	中学校	校舎	RC	2	2,072	1985	S60	34	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
37	3776	上五島中学校	校舎2	002	中学校	校舎	RC	3	2,074	1985	S60	34	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
38	3776	上五島中学校	校舎3	003	中学校	校舎	RC	2	1,493	1985	S60	34	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
39	3776	上五島中学校	部室	004	中学校	その他	RC	1	195	1985	S60	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40
40	3776	上五島中学校	武道場	019	中学校	武道場	RC	2	1,269	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
41	3776	上五島中学校	屋内運動場	020	中学校	体育館	RC	2	1,144	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
42	3776	上五島中学校	車庫	021	中学校	その他	RC	1	278	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
43	3699	魚目中学校	校舎1	001, 002, 003, 021, 021-2	中学校	校舎	RC	3	1,632	1969	S44	50	旧	済	済	H26	16.6	長寿命	B	C	C	C	C	43
44	3699	魚目中学校	校舎2	004	中学校	校舎	S	1	313	1969	S44	50	旧	済	-	H26	-	長寿命	C	D	D	C	C	20
45	3699	魚目中学校	屋内運動場	010	中学校	体育館	S	1	750	1972	S47	47	旧	済	済	H21	17.3	長寿命	B	B	B	C	C	66
46	3699	魚目中学校	校舎3	019	中学校	校舎	W	1	160	1970	S45	49	旧	-	-	-	-	長寿命	A	D	C	C	C	37
47	3703	有川中学校	校舎1	018-1	中学校	校舎	RC	3	2,099	2002	H14	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
48	3703	有川中学校	校舎2	018-2	中学校	校舎	RC	3	2,530	2002	H14	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
49	3703	有川中学校	屋内運動場	021-1, 021-2, 022, 023	中学校	体育館	RC	2	1,404	2003	H15	16	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
50	3706	奈良尾中学校	校舎1	001	中学校	校舎	RC	3	2,910	1979	S54	40	旧	済	済	H25	22.7	長寿命	A	A	C	B	B	71
51	3706	奈良尾中学校	屋内運動場2	030-1	中学校	体育館	RC	2	447	2004	H16	15	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
52	3706	奈良尾中学校	屋内運動場1	031	中学校	体育館	RC	1	941	2013	H25	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
53	3706	奈良尾中学校	校舎2	032	中学校	校舎	RC	1	104	1980	S55	39	旧	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67
54	6684	青方幼稚園	園舎1	003	幼稚園	園舎	W	1	848	2002	H14	17	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
55	6684	青方幼稚園	園舎2	004, 005	幼稚園	園舎	W	1	22	2002	H14	17	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
56	6689	魚目幼稚園	園舎1	001	幼稚園	園舎	RC	1	400	1975	S50	44	旧	済	済	H23	44	長寿命	A	C	C	C	C	45
57	6546	有川幼稚園	園舎1	003, 004	幼稚園	園舎	RC	2	739	1974	S49	45	旧	済	済	H23	28	長寿命	D	B	B	C	C	61
58	K080	新魚目給食センター	給食センター	001	給食センター	給食センター	RC	2	512	2003	H15	16	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
59	K068	上五島給食センター	給食センター	001	給食センター	給食センター	RC	2	761	1991	H3	28	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
60	K036	有川給食センター	給食センター	003	給食センター	給食センター	S	2	555	2001	H13	18	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	C	B	B	38
61	K037	奈良尾給食センター	給食センター	004	給食センター	給食センター	RC	2	621	2005	H17	14	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	A	A	78
62	K037	奈良尾給食センター	車庫	005	給食センター	給食センター	S	1	49	2005	H17	14	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
63		郷ノ首スクールバス車庫	車庫		その他	その他	S	1	108	1992	H4	27	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
64		北魚目地区スクールバス車庫	車庫		その他	その他	RC	1	45	2018	H30	1	新	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100

■:築50年以上 □:築30年以上

※文部科学省エクセルソフト Ver1.23 により作表

## ①構造躯体の健全性の評価

構造躯体の健全性の把握にあたっては、既に行われている建物についての耐震診断報告書を基に長寿命化の判定フローにより検討するものです。

### ■長寿命化の判定フロー

本計画策定段階においては、旧耐震基準の鉄筋コンクリート造の建物については、耐震診断報告書に基づきコンクリート圧縮強度が  $13.5\text{N/mm}^2$  以下の建物及び、鉄骨造、木造等の建物については 40 年以上で腐食や劣化の著しい現調結果となった建物について、『要調査』建物として、試算上は「改築」とします。

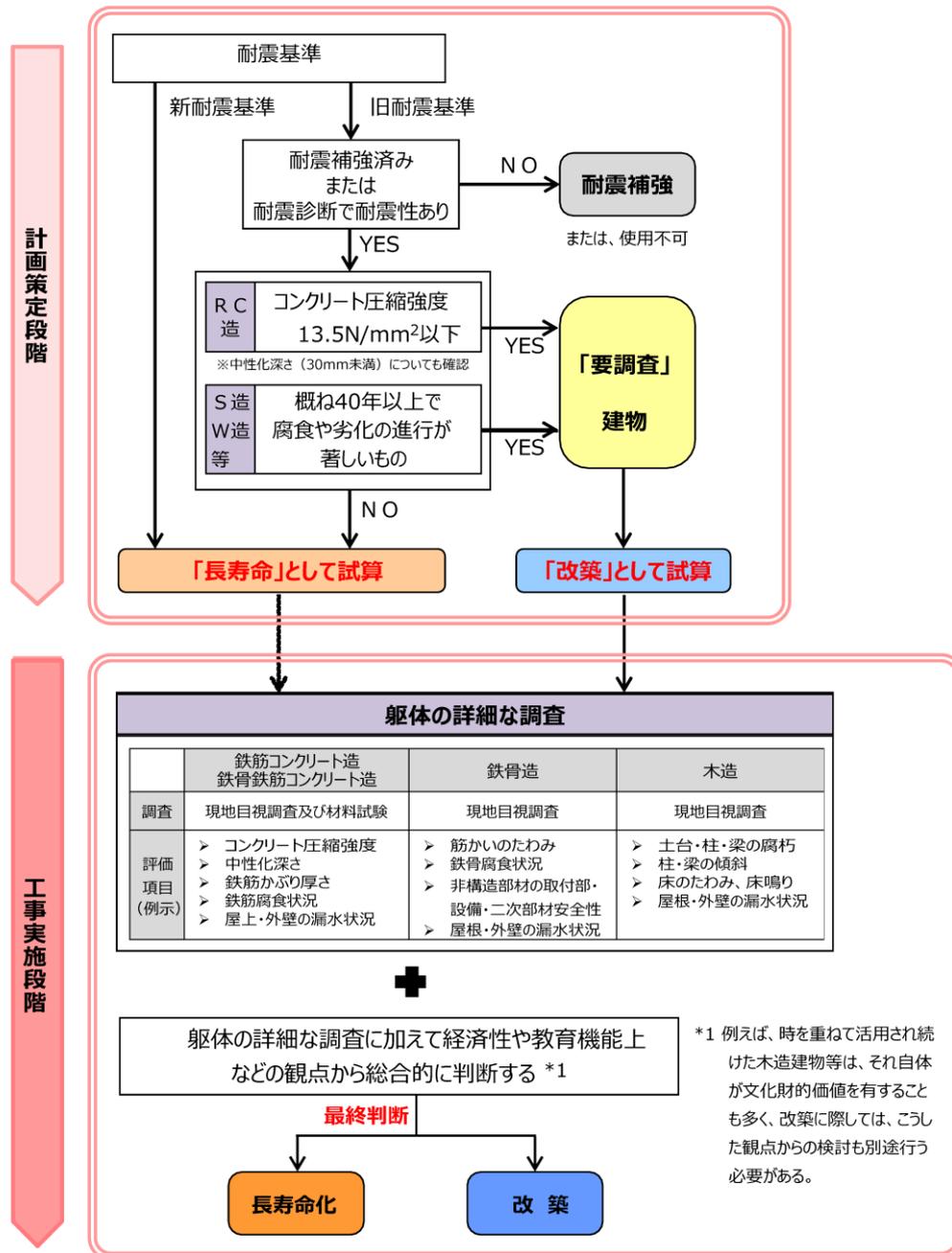


図 長寿命化の判定フロー

※文部科学省マニュアル 2章 P21 より

調査対象建物（64 棟）のうち、旧耐震基準の建物は 25 棟ありますが（長寿命化計画の対象から除外する建物を除く 60 棟においては 24 棟）、東浦小学校（校舎 1）、東浦小学校（校舎 2）、若松中学校（校舎 1）の 3 棟は、コンクリート圧縮強度が 13.5N/mm<sup>2</sup>以下の建物であるため、『要調査建物』として検討を進めます。

コンクリート圧縮強度が不明の建物のうち有川小学校（屋内運動場 1）は、耐震補強がされており、その他のコンクリート圧縮強度が不明の建物においても、劣化状況調査において腐食や劣化の著しい建物がないため、『長寿命化改修対象』として検討を進めます。

表 構造躯体の健全性の評価結果一覧

建物基本情報									構造躯体の健全性					
通し 番号	学校調査 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
									基 準	診 断	補 強	調 査 年 度	圧縮強 度 (N/ mm <sup>2</sup> )	試算上 の 区分
10	0422	青方小学校	校舎1	001-1	RC	3	1,428	50	旧	済	済	H24	22.7	長寿命
11	0422	青方小学校	校舎2	001-2、010	RC	3	1,469	49	旧	済	済	H24	22.7	長寿命
14	0423	上郷小学校	校舎1	012	RC	4	1,383	39	旧	済	済	H26	25.2	長寿命
15	0423	上郷小学校	校舎2	013	RC	4	1,675	39	旧	済	済	H26	25.2	長寿命
17	0424	魚目小学校	屋内運動場	015	RC	1	623	39	旧	済	済	H23	24.1	長寿命
19	0425	北魚目小学校	校舎1	020-1、021	RC	3	1,564	45	旧	済	済	H26	26.5	長寿命
20	0425	北魚目小学校	校舎2	020-2、020-3、023	RC	3	924	43	旧	済	済	H26	28.3	長寿命
22	0428	有川小学校	校舎1	001	RC	2	714	49	旧	済	済	H23	25.5	長寿命
23	0428	有川小学校	校舎2	002、003、008	RC	3	1,991	49	旧	済	済	H23	22.2	長寿命
24	0428	有川小学校	屋内運動場1	010	S	1	677	48	旧	済	済	-	-	長寿命
26	0431	東浦小学校	校舎1	004-1、022	RC	2	602	59	旧	-	-	-	12.5	要調査
27	0431	東浦小学校	校舎2	004-2、023	RC	3	522	54	旧	済	済	H21	12.1	要調査
28	0431	東浦小学校	校舎3	013	RC	3	865	46	旧	済	済	H21	23.5	長寿命
29	0431	東浦小学校	屋内運動場	016、024	RC	1	580	43	旧	済	済	H20	24	長寿命
31	3694	若松中学校	校舎1	003	RC	2	455	53	旧	済	済	H21	13.5	要調査
32	3694	若松中学校	校舎2	003-1	RC	2	426	38	旧	済	済	H21	28.4	長寿命
33	3694	若松中学校	屋内運動場1	006	S	2	715	48	旧	済	済	H25	27.1	長寿命
43	3699	魚目中学校	校舎1	001、002、003、021、021-2	RC	3	1,632	50	旧	済	済	H26	16.6	長寿命
44	3699	魚目中学校	校舎2	004	S	1	313	50	旧	済	-	H26	-	長寿命
45	3699	魚目中学校	屋内運動場	010	S	1	750	47	旧	済	済	H21	17.3	長寿命
46	3699	魚目中学校	校舎3	019	W	1	160	49	旧	-	-	-	-	長寿命
50	3706	奈良尾中学校	校舎1	001	RC	3	2,910	40	旧	済	済	H25	22.7	長寿命
53	3706	奈良尾中学校	校舎2	032	RC	1	104	39	旧	-	-	-	-	長寿命
56	6689	魚目幼稚園	園舎1	001	RC	1	400	44	旧	済	済	H23	44	長寿命
57	6546	有川幼稚園	園舎1	003、004	RC	2	739	45	旧	済	済	H23	28	長寿命

■ : 築50年以上    □ : 築30年以上50年未満

※文部科学省エクセルソフト Ver1.23 により作表

## ②構造躯体以外の劣化状況等の評価（屋上・屋根、外壁別にみた劣化状況）

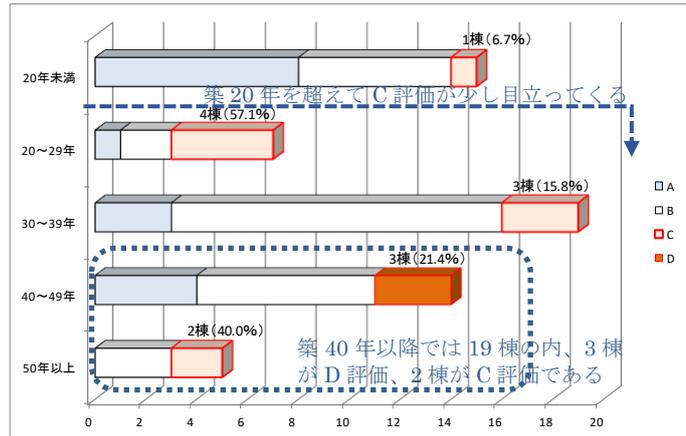
建物情報一覧表の劣化状況評価結果を受けて、建物を長く使用していく上で重要な屋根・屋上と外壁、内部仕上げについて、建築経過年別に評価ごとの棟数・割合を示す棒グラフを以下に示します。

築30年以降の建物において、屋上・屋根のC・D評価建物が8棟（13%）、外壁は19棟（32%）、内部仕上げのC評価建物が15棟（25%）あり、計画的な改修対応が必要となります。

### ○屋上・屋根の劣化状況

屋根・屋上の劣化状況評価は、全建築経過年数においてC・D評価になる建物が確認されており、早急に対応を要するD評価は、築40～49年で3棟、機能低下の兆しが確認されるC評価は10棟あります。

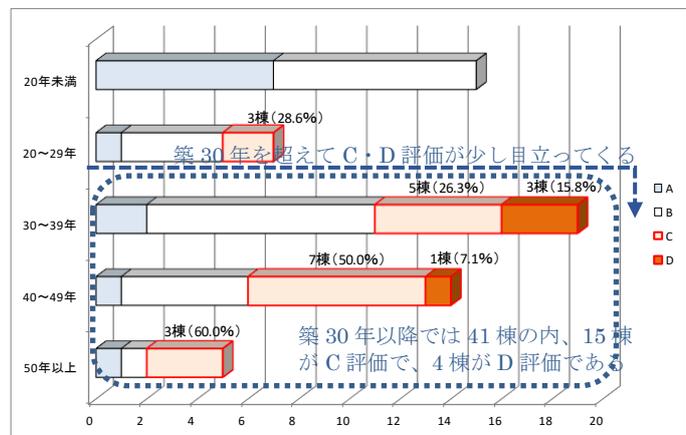
また、機能低下の兆しが確認されるC評価は、築20年頃から少しずつ発生し、築20～29年で4棟ありますが、築30～39年、40年～49年、50年以上ではC又はD評価が2～3棟であり、建物状況によっては屋上・屋根改修が進められていることが伺えます。



### ○外壁の劣化状況

外壁の劣化状況評価は、屋根・屋上と同様、建築経過年数30～39、40～49年で、C・D評価になる建物が多く確認され、機能低下の兆しが確認されるC評価は12棟（36%）、早急に対応を要するD評価は4棟（12%）を占めています。

築50年以上の建物でC評価は、全5棟のうち3棟であることから築30年以降の建物においては外壁改修を進めることが望まれます。



### ○内部仕上げ劣化状況

内部仕上げの劣化状況評価は、建築経過年数30～39年頃から機能の低下が懸念されるC評価建物が多く確認され、40～49年では8棟（57%）、50年以上では4棟（80%）を占めていることから、内部仕上げの改修はあまり進められていないようです。

早急に対応を要するD評価は確認されていませんが、内部仕上げの改修を進めることが望まれます。

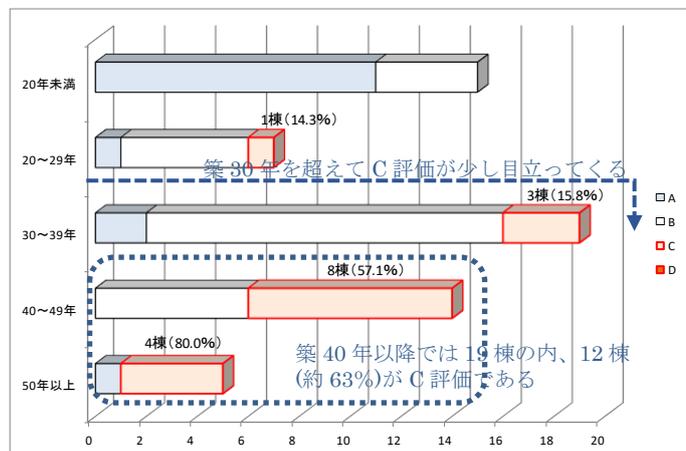


図 建築経過年別の棟数とその割合

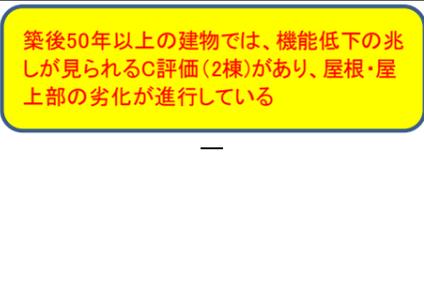
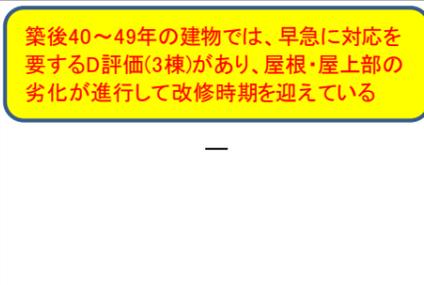
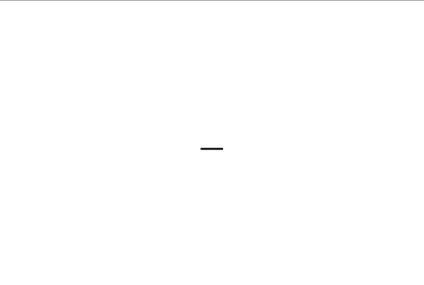
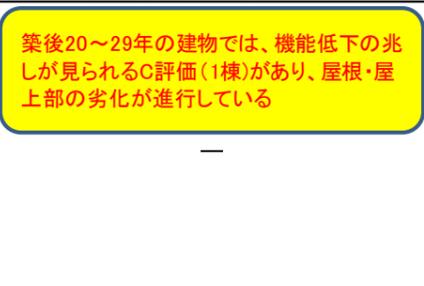


### ③部位別劣化状況

建物の劣化において重要な屋上・屋根及び外壁について、経過年数別の劣化状況を学校の校舎と屋内運動場(柔道場含む)に区分して示します。

表 校舎・園舎の屋根・屋上部の劣化状況

- Ⓐ 概ね良好
- Ⓑ 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- Ⓒ 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
- Ⓓ 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価	B評価	A評価
50年以上 A,0.00% D,0.00% 延床面積割合 C, 24.2% B, 75.8%	B評価の75.8%、B:3棟【青方小学校;1、若松・魚目中学校;1】については問題ないと言える。C評価の24.2%、C:2棟【東浦小学校;1・2】は、シート防水の劣化が広範囲にみられ、ドレインの詰まりによる水たまり、降雨時の雨漏れや雨漏れ跡が確認され劣化が進行していることから、修繕時期を迎えている。	—	 東浦小学校 校舎1(築59年)602㎡	 青方小学校 校舎1(築50年)1,428㎡	—
40年～49年 C,0.00% 延床面積割合 D, 27.5% A, 29.6% B, 42.9%	A・B評価の72.5%、A:3棟【奈良尾中学校;1、魚目中学校;3、魚目幼稚園;園舎1】、B:4棟【青方・有川小学校;2、有川小学校;1、東浦小学校;3】については問題ないと言える。D評価の27.5%、D:3棟【北魚目小学校;1・2、有川幼稚園;園舎1】は、降雨時の雨漏れが3～4カ所確認され、防水層の膨れ・破れ、笠木・立ち上がりなどの損傷などがあり、改修時期を迎えている。	 有川幼稚園 園舎1(築45年)739㎡	 東浦小学校 校舎3(築46年)865㎡	 奈良尾中学校 校舎1(築40年)2,910㎡	—
30年～39年 C,0.00% D,0.00% 延床面積割合 A, 3.6% B, 96.4%	A評価の3.6%、A:2棟【若松・奈良尾中学校;2】、B評価96.4%、B:8棟【若松東・今里・上郷小学校;1、上郷小学校;2、上五島中学校;1・2・3、若松中学校;3、奈良尾中学校;2】については問題ないと言える。	 若松中央小学校 校舎1(築21年)2,213㎡	 若松東小学校 校舎2(築20年)270㎡	 上五島中学校 校舎1(築34年)2,072㎡	 若松中学校 校舎2(築38年)426㎡
20年～29年 A,0.00% D,0.00% 延床面積割合 B, 13.3% C, 86.7%	B評価の13.3%、B:2棟【若松東小学校;2、有川小学校;屋内運動場2】については問題ないと言える。残りのC評価の86.7%、C:1棟【若松中央小学校;1】については、防水層の膨れ・破れが多数あり、防水層の劣化が進行するとともに、ドレインの詰まりによる水たまりなども確認され、劣化の進行が進んでいることから修繕時期を迎えている。	—	 若松中央小学校 校舎1(築21年)2,213㎡	 若松東小学校 校舎2(築20年)270㎡	—
C,0.00% D,0.00% 延床面積割合 A,31.2% B,68.8%	A評価の31.2%、A:4棟【青方小学校;3、奈良尾小学校;1、青方幼稚園;園舎1・2】、B評価の68.8%、B:3棟【魚目小学校;1、有川中学校;1・2】については老朽化は顕在化していない。	—	 有川中学校 校舎2(築17年)2,530㎡	 青方小学校 校舎3(築15年)164㎡	—

※写真は現地調査を実施した学校施設で状況がわかりやすいものを選択



- A 概ね良好
- B 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- C 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
- D 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

表 校舎・園舎の外壁部の劣化状況

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価	B評価	A評価
50年以上 D,0.00% 延床面積割合  5棟	A・B評価の40.6%、A:1棟【若松中学校;1】、B:1棟【青方小学校;1】については問題ないと言える。 C評価の59.4%、C:3棟【東浦小学校;1・2、魚目中学校;1】は、外壁のヘアクラックが多数確認され、塗装の浮き・剥離、アルミサッシ枠の腐食やアルミ水切りシール無しなど窓廻りからの漏水がみられることから、修繕時期を迎えている。	—	 東浦小学校 校舎2(築54年)522㎡	 青方小学校 校舎1(築50年)1,428㎡	 若松中学校 校舎1(築53年)455㎡
40年～49年 延床面積割合  10棟	A・B評価の38.5%、A:1棟【奈良尾中学校;1】、B:2棟【東浦小学校;3、有川幼稚園;園舎1】については問題ないと言える。C評価60.2%、C:6棟【北魚目・有川小学校;1、青方・北魚目・有川小学校;2、魚目幼稚園;園舎1】は、鉄筋の露出、外壁塗装浮きや剥離及びクラック、窓の錆・腐食が多数あり、外壁からの漏水、底防水モルタルの劣化が確認されることから、修繕時期を迎えている。D評価の1.4%、D:1棟【魚目中学校;3】は、外壁塗装剥離が全面にみられ、外部板材の塗装剥離や破損・腐れが多数確認されていることから、改修時期を迎えている。	 魚目中学校 校舎3(築49年)160㎡	 北魚目小学校 校舎1(築45年)1,564㎡	 有川幼稚園 園舎1(築45年)739㎡	 奈良尾中学校 校舎1(築40年)2,910㎡
30年～39年 延床面積割合  10棟	A・B評価の55.5%、A:1棟【若松中学校;2】、B:4棟【若松中学校;3、上五島中学校;1・2・3】については問題ないと言える。C評価、11.3%、C:2棟【今里小学校;1、奈良尾中学校;2】は、鉄筋露出、外壁のクラックや塗装剥落が多く確認され、サッシ周りのコーキング劣化、モルタル土間のヘアクラックがあることから修繕時期を迎えている。D評価の33.2%、D:3棟【上郷・若松東;1、上郷小学校;2】は、外壁面において鉄筋の露出、塗装剥離が多く、バルコニー手摺アンカー部の爆裂、サッシシーリング劣化、窓・ドア周りからの漏水や窓の錆・腐食など比較的多く確認できており、劣化の進行が進んでいることから改修時期を迎えている。	 上郷小学校 校舎1(築39年)1,383㎡	 今里小学校 校舎1(築30年)1,558㎡	 上五島中学校 校舎2(築34年)2,074㎡	 若松中学校 校舎2(築38年)426㎡
20年～29年 A,0.00% 延床面積割合 D,0.00%  3棟	B評価の13.3%、B:2棟【若松東小学校;2、】については老朽化は顕在化してなく問題ないと言える。 C評価の86.7%、C:1棟【若松中央小学校;1有川小学校;3】については、、鉄筋の露出、広範囲の塗装剥離、建具枠からの雨漏れなどがあり劣化の進行が進んでいることから修繕時期を迎えている。	—	 若松中央小学校 校舎1(築21年)2,213㎡	 若松東小学校 校舎2(築20年)270㎡	—
20年未満 C,0.00% 延床面積割合 D,0.00%  7棟	A評価の8.8%、A:3棟【青方小学校;3、青方幼稚園;園舎1・2】、B評価の91.2%、B:4棟【魚目・奈良尾小学校;1、有川中学校;1・2】については老朽化は顕在化していない。	—	 若松中央小学校 校舎1(築21年)2,213㎡	 若松東小学校 校舎2(築20年)270㎡	 有川中学校 校舎1(築17年)2,099㎡ 青方幼稚園 園舎1(築17年)848㎡

築後30～49年の建物では、早急に対応を要するD評価(4棟)があり、外壁部の劣化が進行して修繕時期を迎えている

築後20～49年、50年以上の建物では、機能低下の兆しが見られるC評価(12棟)があり、外壁部の劣化が進行している

A・B評価の建物外壁部は良好である

※写真は現地調査を実施した学校施設で状況がわかりやすいものを選択



表 体育館の屋根・屋上部の劣化状況

- Ⓐ 概ね良好
- Ⓑ 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- Ⓒ 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
- Ⓓ 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価	B評価	A評価
50年以上 延床面積割合 — 0棟	—	—	評価の建物はありません	—	—
40年～49年 C,0.00% D,0.00% 延床面積割合 4棟	A評価の26.3%、A:1棟【若松中学校】、B評価の73.7%、B:3棟【有川小学校;屋内運動場1、東浦小学校、魚目中学校】については問題ないと言える。	—	—	 東浦小学校 体育館(築43年)580㎡	 若松中学校 体育館(築48年)715㎡
30年～39年 D,0.00% 延床面積割合 7棟	A評価の15.7%、A:1棟【若松東小学校】、B評価の62.3%、B:4棟【上郷・魚目小学校、上五島中学校武道場・屋内運動場】については問題ないと言える。 C評価の22.0%、C:2棟【今里・北魚目小学校】は、降雨時の雨漏れ箇所が数カ所、雨漏れ跡が多数、防水層が全体的に劣化が進行し、屋上排水口の目皿の詰まりなどが見受けられることから、修繕が必要である。	—	 今里小学校 体育館(築34年)680㎡	 上郷小学校 体育館(築37年)680㎡	 若松東小学校 体育館(築31年)937㎡
20年～29年 A,0.00% B,0.00% 延床面積割合 2棟	C評価の49.7%、C:1棟【若松中学校;武道場】については、降雨時の雨漏れ箇所が多くあり、屋根金属板の全体的な錆、防水シートの一部剥離があることから、修繕が必要である。 D評価の50.3%、D:1棟【若松中央小学校;体育館】については、降雨時にトップライトからの雨漏れが9ヶ所以上確認される。ことから早急な修繕が必要である。	 若松中央小学校 体育館(築20年)894㎡	 若松中学校 武道場(築27年)883㎡	—	—
20年未満 C,0.00% D,0.00% 延床面積割合 4棟	A評価の52.4%、A:2棟【青方小学校、奈良尾中学;屋内運動場1】、B評価の47.6%、B:2棟【有川中学校、奈良尾中学校;屋内運動場2】については老朽化は顕在化してなく問題ないと言える。	—	築後20～39年の建物では機能低下の兆しが見られるC評価(4棟)があり、屋根・屋上部の劣化が進行している	 奈良尾中学校 体育館(築15年)447㎡	 青方小学校 体育館(築16年)1,094㎡

※写真は現地調査を実施した学校施設で状況がわかりやすいものを選択



- A 概ね良好
- B 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- C 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
- D 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

表 体育館の外壁部の劣化状況

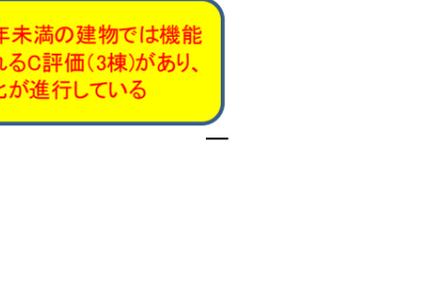
経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価	B評価	A評価
50年以上 延床面積割合 — 0棟	—	—	評価の建物はありません	—	—
40年～49年 A,0.00% D,0.00% 延床面積割合 C, 24.9% B, 75.1% 4棟	B評価の75.1%、B:3棟【東浦小学校、魚目中学校、若松中学校;屋内運動場1】については問題ないと言える。 C評価の24.9%、C:1棟【有川小学校;屋内運動場1】は、軒天ボードの破損、スチールサッシの開閉不良・クレセント破損が多数みられることから、修繕時期を迎えている。	—	 有川小学校 体育館(築48年)677㎡	 魚目中学校 体育館(築47年)750㎡	—
30年～39年 D,0.00% 延床面積割合 C, 11.4% A, 15.7% B, 72.9% 7棟	A・B評価の88.6%、A:1棟【若松東小学校】、B:5棟【上郷・魚目・北魚目小学校、上五島中学校;武道場・屋内運動場】については問題ないと言える。 C評価の11.4%、C:1棟【今里小学校】は、外壁の塗装剥離、亀裂などが多く、渡り廊下の鉄骨仕口部の錆や木間仕切り部に白アリ被害が確認されることから、修繕時期を迎えている。	建物の外壁については、D評価無し	 今里小学校 体育館(築34年)680㎡	 上五島中学校 体育館(築33年)1,144㎡	 若松東小学校 体育館(築31年)937㎡
20年～29年 A,0.00% D,0.00% 延床面積割合 C, 49.7% B, 50.3% 2棟	B評価の50.3%、B:1棟【若松中央小学校】については老朽化は顕在化してなく問題ないと言える。 C評価の49.7%、C:1棟【若松中学校;武道場】は、外壁の鉄筋露出や塗装剥離、クラックなどが確認され、網戸の破損やアルミ出入口扉の破損、アルミサッシシールのはずれが多数あり堅樋の脱落も確認されることから、修繕時期を迎えている。	—	 若松中学校 武道場(築27年)883㎡	 若松中央小学校 体育館(築20年)894㎡	—
20年未満 C,0.00% D,0.00% 延床面積割合 B, 47.6% A, 52.4% 4棟	A評価の52.4%、A:2棟【青方小学校、奈良尾中学校;屋内運動場1】、B評価の47.6%、B:2棟【有川中学校、奈良尾中学校;屋内運動場2】については老朽化は顕在化してなく問題ないと言える。	—	築後20～49年の建物では機能低下の兆しが見られるC評価(3棟)があり、外壁部の劣化が進行している	 有川中学校 体育館(築16年)1,404㎡	 奈良尾中学校 体育館1(築6年)941㎡

※写真は現地調査を実施した学校施設で状況がわかりやすいものを選択



表 付属建物（部室・車庫・給食センター）の屋根・屋上部の劣化状況

- Ⓐ 概ね良好
- Ⓑ 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- Ⓒ 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
- Ⓓ 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

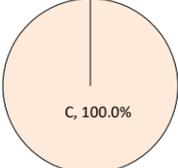
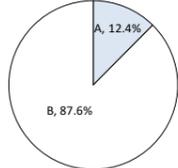
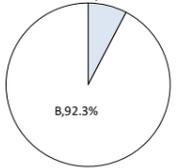
経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価	B評価	A評価
50年以上 延床面積割合 — 0棟	—	—	—	—	—
40年～49年 延床面積割合 — 0棟	—	—	評価の建物はありません	—	—
30年～39年 A,0.00% D,0.00% 延床面積割合 C, 41.2% B, 58.8% 2棟	B評価の58.8%、B:1棟【上五島中学校;車庫】については問題ないと言える。 C評価の41.2%、C:1棟【上五島中学校;部室】は、防水押えのクラックや目地割れなどが広範囲に確認され、防水層からの雨水侵入が見られることから、修繕時期を迎えている。	建物の屋根・屋上部については、D評価無し	 上五島中学校 部室(築34年)195㎡	 上五島中学校 車庫(築33年)278㎡	—
20年～29年 B,0.00% D,0.00% 延床面積割合 A,12.4% C,87.6% 2棟	A評価の12.4%、A:1棟【郷ノ首スクールバス車庫;車庫】については老朽化は顕在化してなく問題ないと言える。 C評価の87.6%、C:1棟【上五島給食センター】は、降雨時の雨漏れや雨漏れ跡が複数見られ、排水性不良により屋上部に雨水が滞留していることなどから、修繕時期を迎えている。	—	 上五島給食センター 給食センター(築28年)761㎡	 上五島中学校 車庫(築33年)278㎡	 郷ノ首スクールバス車庫 車庫(築27年)108㎡
20年未満 D,0.00% 延床面積割合 A,7.7% C,50.6% B,41.7% 4棟	A評価の7.7%、A:2棟【奈良尾給食センター;車庫、北魚目地区スクールバス車庫】、B評価の41.7%、B:1棟【新魚目給食センター】については老朽化は顕在化してなく問題ないと言える。 C評価の50.6%、C:1棟【奈良尾給食センター】は、降雨時の雨漏れや笠木・立ち上がりの損傷が多数確認されていることから、修繕時期を迎えている。	—	 奈良尾給食センター 給食センター(築14年)621㎡	 新魚目給食センター 給食センター(築16年)512㎡	 北魚目地区スクールバス車庫 車庫(築1年)45㎡

※写真は現地調査を実施した学校施設で状況がわかりやすいものを選択



- Ⓐ 概ね良好
- Ⓑ 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- Ⓒ 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
- Ⓓ 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

表 付属建物（部室・車庫・給食センター）の外壁部の劣化状況

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価	B評価	A評価
50年以上 延床面積割合 — 0棟	—	—	—	—	—
40年～49年 延床面積割合 — 0棟	—	—	—	—	—
30年～39年 A,0.00% B,0.00% D,0.00% 延床面積割合  C, 100.0% 2棟	C評価の100%、C:2棟【上五島中学校:部室・車庫】は、外壁からの漏水が多数見られ、塗装剥離、窓・ドアに錆・腐食が多数あり、外部手摺については全般的に錆・腐朽が進行していることから、修繕時期を迎えている。	—	—  上五島中学校 部室(築34年)195㎡	—	—
20年～29年 C,0.00% D,0.00% 延床面積割合  A, 12.4% B, 87.6% 2棟	A評価の12.4%、A:1棟【郷ノ首スクールバス車庫】、B評価の87.6%、B:1棟【上五島給食センター】については老朽化は顕在化してなく問題ないと言える。	—	—  上五島給食センター 給食センター(築28年)761㎡ 郷ノ首スクールバス車庫 車庫(築27年)108㎡	—	—
20年未満 C,0.00% D,0.00% 延床面積割合  A,7.7% B,92.3% 4棟	A評価の7.7%、A:2棟【奈良尾給食センター・北魚目地区スクールバス車庫:車庫】、B評価の92.3%、B:2棟【新魚目給食センター・奈良尾給食センター】については老朽化は顕在化してなく問題ないと言える。	—	—  新魚目給食センター 給食センター(築16年)512㎡ 奈良尾給食センター 車庫(築14年)49㎡	—	—

※写真は現地調査を実施した学校施設で状況がわかりやすいものを選択



## (6) 学校施設の老朽化状況に実態を踏まえた課題

学校施設の実態を踏まえた課題について、以下に整理します。

### ①計画的な老朽化対策の実施

築 50 年以上の建物は 5 棟ですが、築 40～49 年の建物は 14 棟（総延床面積の 23%）、築 30～39 年の建物は 20 棟（総延床面積の 34%）であることから、今後の施設維持に向けた保全計画を確立し、定期的なメンテナンスなど予防保全の取り組みが必要です。

また、事前ヒアリング調査において、建物管理担当者から建物の老朽箇所や施設設備の不具合・要望などが多数報告されています。

今後、各種施設整備又は維持修繕を実施するにあたっては、調査内容を基に優先順位を考慮した早急な取り組みが必要です。

### ②劣化状況評価が C・D 評価の建物施設についての優先的な対応

屋根・屋上、外壁、内部仕上げの劣化状況評価で C・D 評価の建物施設については、優先的に改修を実施する必要があります。また、電気設備、機械設備についても大規模な不具合が発生する前に計画的な対策が必要となります。

### ③ ICT（情報通信技術）環境の整備に向けた検討

近年のグローバル化や急速な情報化の進展により、子供たちを取り巻く環境が大きく変化しており、教育の情報化への進展は加速しつつあります。

本町においても、子供たちの情報活用能力育成のさらなる推進を図っていくことを目的に、国の補助制度を活用して令和 2 年度に町内各小中学校において高速大容量の通信ネットワークの改修を行うとともに、児童生徒 1 人 1 台の学習用タブレット端末等の整備を行う計画しており、今後益々 ICT（情報通信技術）の活用は重要となると思われます。

### ④施設環境の質的向上(空調機などの設置)

近年は、夏季において猛暑日が続くことが多く、学習環境の悪化が懸念されています。

普通教室については、本年までに空調設備を設置することができましたが、特別教室等の設置ができてないことから今後設置に向け検討が必要です。

#### ⑤学校施設の機能改善（バリアフリー化及び避難所としての防災機能強化）

校舎・体育館内外の校内施設においては障害の有無にかかわらず、児童・生徒などが支障の無い学校生活を送れるよう配慮する必要があります。

また、学校施設の多くは災害時における地元住民の避難所としての役割も果たすことから、令和2年2月に策定された「新上五島町国土強靱化地域計画」に基づき、トイレなどのバリアフリーに対応した施設、設備の整備及び非構造部材の耐震対策を図る必要があります。

#### ⑥省エネルギー対応施設・設備機器への更新

本町においては、校舎の断熱性向上に向けた整備や、照明機器のLED化が求められており、施設の省エネルギー化を進める必要があります。

## 2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

長寿命化計画対象建物（60 棟）について長寿命化を前提とした維持・更新を図るとした場合、今後 40 年間の維持・更新コストは、総額で約 243 億円となり、建替えを前提とした従来型に比べ約 39 億円の削減になると試算されます。

ただし、長寿命化型に移行したとしても、今後 10 年間は長寿命化改修が集中し、年間 9 億円以上の費用が必要となり、過去の維持・更新コスト約 2 億円/年に比べ、4 倍以上の費用が必要になると試算されます。

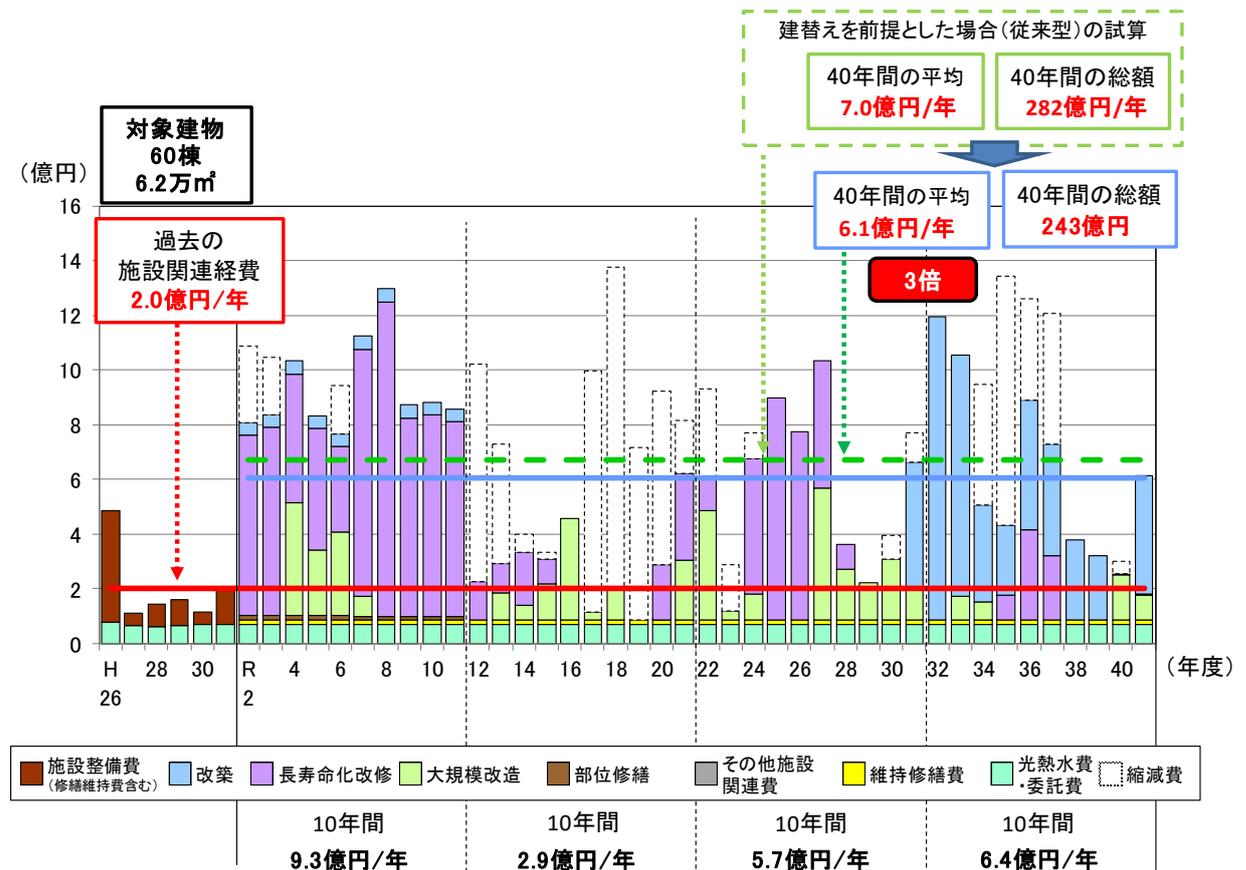


図 対象建物の今後の維持・更新コストの試算（長寿命化型）

※文部科学省エクセルソフト Ver1.23 により作成

### コスト試算条件(長寿命化型)

<b>基準年度</b>	2019 年	試算期間: 基準年の翌年度から40年間
<b>改築</b>	<改築、要調査> 更新周期 50 年	<長寿命> 80 年 工事期間 2 年 実施年数より古い建物の改築を 10 年以内実施
<b>長寿命化改修</b>	改修周期<長寿命> 40 年	工事期間 2 年 実施年数より古い建物の改修を 10 年以内実施
<b>大規模改造</b>	改修周期 20 年周期	(ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)
<b>部位修繕</b>	D評価: 今後 5 年以内に部位修繕を実施 C評価: 今後 10 年以内に部位修繕を実施 (ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く) A評価: 今後 10 年以内の長寿命化改修から部位相当額を差し引く	

## 第4章 学校施設整備の基本的な方針等

### ①学校施設の規模・配置計画等の方針

#### 1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

総合管理計画における施設整備の方針と整合しつつ、学校施設の実態や目指すべき姿等を踏まえ、今後の学校施設の規模や配置計画に関する方針について定めます。

<p>公共施設等 総合管理計 画の基本方 針</p>	<p>総合管理計画では、中長期的な財政状況を踏まえた上で、人口推計や地域特性、まちづくり等に配慮した、公共施設等の適正な配置や効率的な管理運営を実現していくため、基本目標を以下のように定めています。</p> <p> <b>《全体目標1》次世代に継承可能な施設量の保有</b>  <b>《全体目標2》ニーズに対応した町民サービスの提供</b>  <b>《全体目標3》安全安心な公共施設等の形成</b>  <b>《全体目標4》効率的で効果的な施設運営</b> </p> <p>また、基本目標達成のための原則として、特に建築物系施設については、経済的なコストで適量かつ良好な品質の施設を提供することを目指し、量、質、コストの最適化を進めることとしています。</p> <p> <b>＜原則1＞施設保有量の抑制</b>          今後の人口減少社会を見据え、減築、集約、複合化、廃止等による施設の圧縮と再編を進め、新規整備を抑制し、施設保有量の削減を進める。       </p> <p> <b>＜原則2＞予防保全による長寿命化</b>          これまでの事後保全から予防保全へと転換し、施設の質の向上と長寿命化を図り、質の最適化を目指す。       </p> <p> <b>＜原則3＞効率的・効果的な運営</b>          公設、公営の発想を転換し、管理運営にかかるコスト縮減やサービスの質の向上につながる事業手法等を検討し、運営コスト等の最適化を目指す。       </p> <p>また、公共施設（建築物系施設）の保有量について、目標縮減率を以下のように設定しています。</p> <p> <b>本町の公共施設（建築物系施設）の保有量（床面積換算）を今後40年間で約 <b>27%</b> 以上削減することを目標とする。</b> </p>
--	--

公共施設等総合管理計画の施設類型別方針 <b>【学校教育系】</b> <b>【子育て支援系】</b>	<b>【学校教育系】学校</b>	
	質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最適な教育環境を目指すとともに、空き教室の活用（他の機能との連携等）を検討する。</li> <li>・施設の不具合や故障の発生防止を図り、学校設備の安全対策及び衛生管理を適正に行う。</li> </ul>
	量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新上五島町立学校等適正配置審議会への諮問に基づき、児童生徒数動向を注視しつつ、学校規模の適正化を検討する。</li> <li>・学校の存在が地域活性化の根幹となることに鑑み、特に小学校については、将来予想される少人数での学校運営の存続について検討する。</li> </ul>
	コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現業員の活用による営繕費用縮減など運営、管理コストの削減を進めるとともに、設備における省エネ対策を検討する。</li> </ul>
	<b>【学校教育系】その他教育施設</b>	
	質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持すべき施設は、安全の確保や長寿命化を図るため、予防保全型対策に転換する。</li> <li>・学校保健主事・養護教諭・栄養教諭等と連携し、情報共有及び情報提供に努める。</li> <li>・地元食材を積極的に活用する献立について調査研究を行う。</li> <li>・定期的に研修会を開催するなど関係者の資質向上を図るとともに、給食に携わる人材確保の観点から学校給食会契約職員（パート・嘱託職員）の賃金について見直しを検討する。</li> </ul>
	量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育や食育の観点から基本的生活習慣の調査を継続すると共に、安全・安心な学校給食を提供するために適正な施設規模を確保するよう努める。</li> <li>・学校規模の適正化を踏まえ、各給食センターの施設老朽化を勘案しながらセンターの統廃合を検討する。</li> </ul>
	コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営、管理コストの削減や設備における省エネ対策を検討する。</li> <li>・学校給食会の公益法人化について検討する。</li> </ul>
	<b>【子育て支援系】幼稚園・保育所・こども園</b>	
	質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・存続が必要とされる施設は、教育保育内容や子育て支援の充実を図る。</li> <li>・老朽化した施設の診断を優先的に進めるとともに、施設の不具合や故障の発生防止を図り、設備の安全対策及び衛生管理を適正に行う。</li> </ul>
	量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の統廃合については、新上五島町立学校等適正配置審議会への諮問に基づき、通園者見込者を注視しつつ適正化を検討する。</li> <li>・老朽化に加え、今後の活用予定のない廃園舎については、解体を検討する。</li> </ul>
	コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現業員の活用による営繕費用縮減など運営、管理コストの削減に努める。</li> <li>・保育施設については、民間保育所活用での運営を基本とする。</li> </ul>

<p>公共施設等総合管理計画の個別計画における今後の考え方</p> <p><b>【学校教育系施設】</b> (学校) (学校給食センター)</p> <p><b>【子育て支援系施設】</b> (幼稚園)</p> <p><b>【その他系施設】</b> (スクールバス車庫)</p>	<p>本町では、総合管理計画における基本方針に基づき、建築物系の公共施設について中長期的に取り組む必要があることから、令和元年に個別計画を策定しました。</p> <p><b>学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○耐震対策は完了しているものの、老朽化が進む校舎及び体育館等について、児童生徒数の推移、地域の実情等を勘案しながら建物の維持補修等を行い、長寿命化等を図りながら学校施設の適正な管理に努めていく。</li> <li>○当面、統合される学校施設は、利用状況を見極め社会体育施設への移行等を含む利活用の検討・判断をする必要があり、存続する学校施設は、今後、地域の人口減少や少子高齢化等による利用需要の変化等にも対応する為、長期的な視点から施設の統合、或いは長寿命化を図りつつも、財政負担の軽減を図り、地域の拠点づくりの観点からもその実情を踏まえ、学校施設と他の施設との複合化・減築等も視野に入れながら多種多様な選択肢をそれぞれ検討していく。</li> </ul> <p><b>幼稚園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児教育の推進を図っていくうえにおいて、施設の管理は重要であり、今後も引き続き施設の維持補修等を行っていくとともに、長寿命化等を図りながら幼稚園施設の適正な管理に努めていく。</li> </ul> <p><b>学校給食センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○有川学校給食センターは、建物への雨漏りが発生している状態であるため衛生面での安全が危惧されることから令和2年度に休止し、新魚目学校給食センター及び奈良尾学校給食センターで行い、上五島学校給食センターの大規模改修を令和5年度に実施する。</li> <li>○今後、学校規模の適正化を踏まえ、各給食センターの施設老朽化を勘案しながらセンターの統廃合を検討していく。</li> </ul> <p><b>スクールバス車庫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今後も少子化による学校統合も予想され、遠距離通学児童生徒の安全性を確保する必要が高まることから、スクールバスを適正に維持管理していくため、今後も維持管理、修繕等を行いながら、出来る限り施設の長寿命化を行い活用していく。</li> </ul>
--	---



**学校施設等の長寿命化計画の基本方針**

## 公共施設等総合管理計画の基本方針・施設類型別方針、個別計画における考え方



総合管理計画における基本方針や施設類型別方針、個別計画における今後の考え方に即し、学校施設等の長寿命化や維持・管理に関する基本方針を以下に定めます。

<p>学校施設等の長寿命化計画の基本方針</p>	<p><b>1. 児童・生徒の安全・安心を守る計画的保全と長寿命化の推進</b></p> <p>児童・生徒が生活する場でもあることから、定期的な日常点検、必要に応じて劣化診断などを実施し、施設の状態や劣化状況の把握、危険・不具合箇所の早期発見に努めながら、劣化や危険性が認められた箇所については、すみやかに修繕又は安全対策を実施します。</p> <p>施設の更新については、建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。</p> <p>また、適切な維持管理による財政負担の平準化及び計画的に予防保全的な部分修繕・改修を行うことにより、ライフサイクルコストの削減を図ります。</p> <p><b>2. 町民ニーズに対応した施設の有効活用</b></p> <p>現在の学校施設の活用を増進し、学校の多目的利用・複合化により町民に身近で便利な地域のコミュニティ、スポーツ、防災拠点化を推進します。</p> <p>また、更新にあわせ、利用者の利便性と安全性の向上のため、バリアフリー化を推進します。</p> <p><b>3. まちづくりと連動したマネジメントの推進</b></p> <p>学校施設の整備に際しては、PPP等、民間を活用し、財政負担の軽減とまちの賑わいづくりを推進します。</p> <p>また、施設を維持・保全していくため、県及び民間事業者との連携・協働を推進します。</p> <p><b>4. 施設保有量の最適化</b></p> <p>今後も引き続き、児童数、生徒数の増減や分布に注視し、適正規模・適正配置を推進します。</p> <p>その際、地域の公民館といった社会教育施設、スポーツ施設等の地域の実状に応じた機能の統合・再編についても検討します。</p>
--------------------------	--

## 2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本町では、文部科学省による学校統廃合指針の見直しによる「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」の公表（平成 27 年 1 月）や新上五島町立学校等適正配置審議会の答申（平成 29 年 8 月）をうけ、平成 29 年 9 月に平成 29 年度から平成 33 年度（令和 3 年度）を計画期間とする「第 3 次新上五島町立学校等適正規模・適正配置計画」を策定しました。

本計画の初期段階においては、この「第 3 次新上五島町立学校等適正規模・適正配置計画」を踏まえ、適正な学校施設の統廃合を進めます。

なお、長期的に本計画における今後の児童生徒数の見通し（本計画書 P18）では、将来的に児童生徒数の減少が想定されており、今後も標準規模に達していない学校施設が発生した場合、統合・閉校を検討することとし、適正規模・適正配置に努めるとともに、継続使用する施設についても、以下の点を考慮して、保有量の適正化に努めます。

### (1) 学校施設の減築

児童生徒数の変動や複式学級への移行・解消など教室利用の柔軟な対応を考慮しつつ、利用頻度の薄い空間や機能が重複している部屋などについて、学校施設の長寿命化や建替えを行う際に、併せて減築についても考慮します。

### (2) 近隣公共施設との複合化

子供たちの多様な学習機会を創出し、地域コミュニティの強化や地域の振興・再生にも資する学校施設と近接する他の公共施設との複合化について検討します。

複数の公共施設等を複合施設として一体的に整備・維持更新したり、既存の学校施設を活用したりすることにより、町内全体の整備・更新費用の削減を目指します。

なお、複合化にあたっては、複数の公共施設等関係部局が連携し、複合化する各施設の計画、管理・運営の方法等について検討します。

## ②改修等の基本的な方針

### 1) 長寿命化の方針

本町では、築 50 年以上の建物が 6 棟(全体の 9.5%)、築 40~49 年の建物が 14 棟(全体の 22.2%)であるため、今後の大規模改修や改築時期が同じ時期に集中することが予想されます。そのため従来の大規模改修や改築を中心とした老朽化対策では対応しきれない施設が大幅に増加する恐れがあります。現状建物は、築後 30 年前後を目途に大規模改修を行うことが望ましいとされていますが、実施できていない学校が大半を占めています。

厳しい財政状況の中、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修への転換を図ります。また、長寿命化を行う場合は、建物の原状回復はもちろん、建物の構造・機能を適切な水準まで向上させ、良好な状態で使用できるように配慮します。

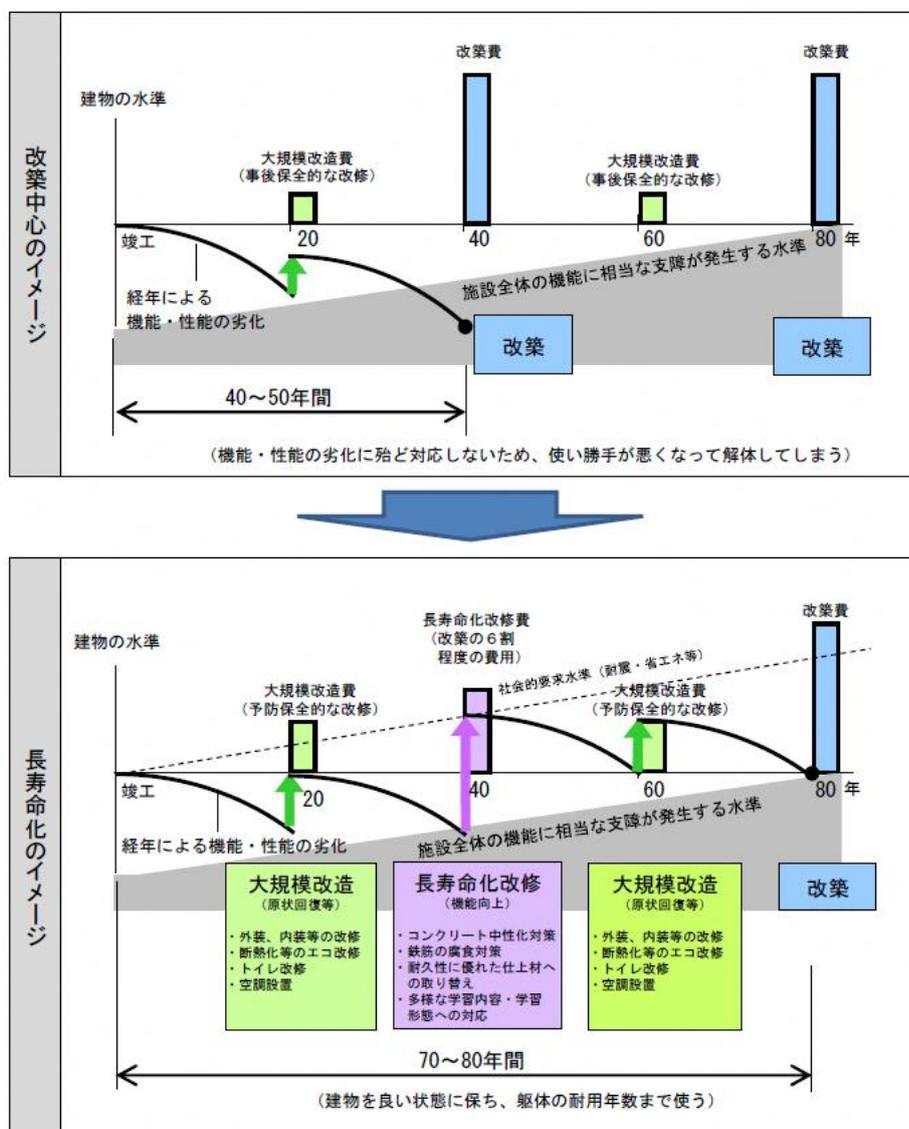


図 改築中心から長寿命化への転換イメージ

資料：文部科学省：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

## 2) 予防保全型による維持管理

これまでの事後保全型に維持管理方法では、突発的な対応や、修繕時期の集中等により十分な老朽化対策や施設整備水準の維持には対応できず、予算措置も遅れる等長寿命化への対応が困難になります。

建物の良好な維持と長期間の利用を図るためにも、予防保全型による維持管理への転換が必要です。

そのためには、定期的な点検・調査を実施することで、老朽状況の把握と十分な予防保全に向けた検討により適切な改修工事を行うことができます。

特に、構造躯体が長期間の利用に適さない場合には、個別施設ごとに躯体の詳細な調査を行い、長寿命化に適しないと判断された建物については、改築までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性等の確保に努めます。

## 3) 施設関連経費の平準化

学校施設における屋根・屋上、外壁の劣化状況は、築年数 30 年を超える建物において老朽化（C・D評価）が進行しており、早急に対応する必要がある建物が広範囲にあることから、同じ時期に改築・改修、修繕が集中することが懸念されます。

各建物の老朽化状況やこれまでの修繕履歴などを考慮し、改築・改修時期の調整を行うとともに、同時期に改修建物が集中する場合、施設の劣化状況を踏まえて先送りすることにより、施設関連経費の平準化を行います。

#### 4) 目標使用年数、改修周期の設定

建物の寿命は立地条件や施工性、使用状況の違いによっても大きく左右されます。

鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は、47年となっていますが、これは税務上、減価償却費を算定するためのものであり、一般的に鉄筋コンクリート造の建物では、コンクリートのひび割れ・欠けや鉄筋の腐食等の劣化が生じていたとしても、劣化が重度にならないうちに適切な時期(概ね築後45年程度まで)にその劣化の原因を調査し劣化の程度と原因に応じた適切な補修・改修を行うことで耐用年数を伸ばすことができます。

鉄筋コンクリート造の校舎の場合、目標耐用年数として、普通品質では50～80年、高品質の場合は80～120年とされています。

本計画においては、「建築物の耐久計画に関する考え方」(社団法人日本建築学会)が提案する算定式や施設使用の限界年数の考え方に基づいて目標使用年数を設定することがよいと考えます。

$$Y = Y_s \times A \times B \times C \times D \times E \times F \times G \times H$$

Y: 耐用年数    Y<sub>s</sub>: 標準耐用年数 (60年)

A: コンクリート種類; 普通コンクリート=1.0、軽量コンクリート=0.95

B: セメント種類; ポルトランドセメント=1.0、高炉セメントA=0.85、高炉セメントB=0.8

C: 水セメント比; 65%=1.0、60%=1.2、55%=1.5

D: 被り厚さ; 20mm=0.25、30mm=0.56、40mm=1.0、50mm=1.56

E: 外壁仕上げ材; 無=0.5、複層塗材=1.0、モルタル15mm以上=1.5、タイル=3.0

※15mm以上の増打ちしているものは打ち放しでも、モルタル15mm以上塗ったものと同等。

F: コンクリート施工状況; 通常の施工=1.0、入念な施工=1.5

G: 建物維持保全の程度; 劣化後も補修しない=0.5、劣化部分を補修する=1.0

H: 地域; 一般=1.0

一般的な公共施設設計にあたる工事標準仕様

$$Y = Y_s(60) \times A(1.0) \times B(1.0) \times C(1.0) \times D(1.0) \times E(1.0) \times F(1.0) \times G(1.0) \times H(1.0) = 60$$

表 望ましい目標耐用年数の級

構造種別 用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			木造
	高品質の場合	普通品質の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨	
			高品質の場合	普通品質の場合		
学校・官公庁	Y. 100以上	Y. 60以上	Y. 100以上	Y. 60以上	Y. 40以上	Y. 60以上

表 目標耐用年数の級の区分例

目標耐用年数 級(Y.)	代表値	範囲	下限値
Y. 150	150年	120～200年	120年
Y. 100	100年	80～120年	80年
Y. 60	60年	50～80年	50年
Y. 40	40年	30～50年	30年

出典: 建築物の耐久計画に関する考え方(日本建築学会)

一般的には、適切な維持管理がなされることを前提に、前述の構造躯体の健全性の評価結果等に基づき、本町の学校施設の目標使用年数を次のように設定します。

構造別の望ましい耐用年数		
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造
80年	80年	50年

■その他参考資料の抜粋を以下に示す

◆「主な減価償却資産の耐用年数（建物・建物附属設備）」：国税庁

- ・鉄筋コンクリート造：47年
- ・鉄骨造（金属造）：19～34年
- ・木造：22年
- ・電気設備（照明設備を含む）：6～15年
- ・給排水・衛生設備・ガス設備：15年

法定耐用年数は、省令制定当時には、建物を構成する主要な部位（構造躯体、外装、床等）ごとに耐用年数を総合的に勘案し、算定されたと言われていています。よって構造躯体の劣化により使用できなくなる寿命を表しているわけではありません。

建物には、法定耐用年数以外に、物理的耐用年数、機能的耐用年数、経済的耐用年数があります。

◆「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」  
：日本建築学会、2009年改訂

鉄筋コンクリート造の建物については、大規模な補修が不要となる期間とそれに応じたコンクリートの設計基準強度を4段階に分けて定めており、期間は30年、65年、100年、200年、それに応じた耐久設計基準強度はそれぞれ18、24、30、36N/mm<sup>2</sup>です。

本町の対象学校建築物ではコンクリート設計基準強度は、18N/mm<sup>2</sup>、21N/mm<sup>2</sup>であることから、概ね築後45年までが長寿命化改修を行う時期の目安と考えます。

◆「建物の耐久計画に関する考え方」：日本建築学会、2009年改訂  
社団法人 日本建築学会が定めた主な建物の目標耐用年数表

建物の構造		耐用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造(略称:SRC)	普通品質	80年
鉄筋コンクリート造(略称:RC)	プレキャストコンクリート工法等	
鉄骨造(略称:S)	重量鉄骨造	80年
	軽量鉄骨造	50年
コンクリートブロック造(略称:CB)	普通品質	80年
	倉庫等の簡易建築物	50年
木造(略称:W)		50年



## 第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

### ①改修等の整備水準

「第3章 ②学校施設の老朽化状況の実態」において把握した現在の劣化状況や「第4章 学校施設整備の基本的な方針等」を踏まえ、学校施設に関する統一的な方針として、今後の改修等による整備水準を設定します。

長寿命化型改修は老朽化した施設を将来にわたって長く使い続けるため、物理的な不具合な箇所を修繕するだけでなく、建物の機能や性能を現在の学校施設に求められている水準まで引き上げ改修することです。

学校施設の老朽化状況の実態において把握した現在の劣化状況や、学校施設整備の基本的な方針等を踏まえ、今後の改修等によりどの水準まで引き上げるかを施設の部位ごとに検討し、学校施設に関する統一的な方針として、今後の改修等による整備水準を設定します。

次ページに、長寿命化改修において“耐久性を高めるもの”（外部仕上げ）、“現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの”（内部仕上げ・設備）、“多様な学習内容・学習形態への対応”（学習環境の多様化・安全安心な施設整備）、に区分した整備水準表を示します。

表 整備水準表

部 位		建設当初の標準仕様 (低)	有川小学校 校舎1 (H23年大規模改造)	魚目小学校 体育館 (H27年大規模改造)	改修工事の整備水準 (長寿命化改修) 《整備レベル》	省エネ型の改修 (高)	修繕レベル	
<b>① 耐久性を高めるもの</b>								
外部仕上げ	屋根・屋上	アスファルト防水			かぶせ工法によるシート防水	外断熱シート防水 (t-25) 外断熱保護防水 (t-20)	クラック補修 浮き部補修 耐久性の高い屋根材などの選定	
		シート防水			シート防水貼替			
		塗膜防水	ウレタン塗膜防水絶縁工法	ウレタン塗膜防水	塗膜防水			
		スチール鋼板屋根		折版カバー工法 (フッ樹脂塗装)				
		瓦葺屋根			割れた瓦の葺替え			
	鉄筋コンクリート 躯体	※構造体の劣化状況調査	ひび割れなど補修 (Vカット樹脂モルタルパテ工法)	鉄筋コンクリート躯体:ホリマーセメントモルタル (防錆・防食) 充填補修	躯体の状況に応じた適切な補修 浮き部:エポキシ樹脂注入,33)ヒビ割:Uカットシリカ充填工法・シール工法、爆裂:充填工法		ひび割れ補修工法、中性化抑止工法、断面修復工法、鉄筋腐食補修	
	鉄骨構造体		-	-			錆び補修	
外壁	R C部	モルタル下地 外装薄塗材E (リシン吹付)	モルタル吹付タイル	複層塗材RE	耐久性を高める塗装材 (防水型複層塗材)	内断熱	複層塗材	
	鉄骨部	外壁ボード塗装 (複層薄塗材)	-	-	セメントボード葺替え			
外部	開口部	アルミサッシ・スチールサッシ、スチール扉	アルミサッシ、ポリウレタン系シーリング	シルバーアルミ製 (変性シーリング)	危険個所の落下防止対策 既存サッシのガラス交換 (複層ガラス等)、シールコーキング打替、ガラス飛散安全対策、塗装	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス)	シーリング打替え 開閉調整 塗装	
外部	その他	スチール手摺り、アルミ手摺り	-	-	鉄部塗装	日射抑制措置 (ライトシールド又は庇)	-	
給排水設備	給水	ライニング鋼管	ライニング鋼管	ライニング鋼管	硬質塩化ビニール管による配管の更新	-	-	
<b>② 現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの</b>								
内部仕上げ	各室・体育室	内装材	一般材料 (EP塗装)	ポリエステル合板厚4 モルタルVP、プaster塗	EP-G塗	空気汚染物質を発生させない材料に更新	内装の全面撤去・更新 (木質化)	安全性と強度の確保
		換気設備	自然換気	自然換気	自然換気	機械換気		
	教室・体育室 (廊下)	間仕切壁	スチール枠 アルミ枠、木製扉	LGS65PB厚12.5両面張りEP塗	-	網製・アルミ製スクールパーテーション等	-	-
		床	Pタイル、シート床、フローリングブロック	塩ビシート厚2.5	華桜フローリング (7)15、ポリウレタン3回塗り	床補修、教室内の段差解消、適切なスロープ設置	床の全面撤去・更新 (木質化)	滑りにくい床仕上げ バリアフリーに配慮
		出入建具	木製扉	スクールパーテーション、木製建具	シルバーアルミ製	網製・アルミ製スクールパーテーションまたは網製建具へ更新	-	-
	階段室	防火戸	防火戸 (建設時の基準法)	-	-	防火戸の改修	-	-
	トイレ	床	ウェット式 (タイル仕上)	塩ビシート厚2.5	防滑塩ビシート (7)2.5	ドライ式 (抗菌シート)、段差解消	-	ウェット (部分タイル張り替え)
		衛生器具	和式便器、一般型小便器、水栓	和式便器、一般型小便器	和式便器、一般型小便器	洋式便器 (洗浄機能付き便座)、節水型小便器、自動水栓	節水型小便器、自動水栓 (節水型器具の導入)	衛生器具交換
		照明設備	手動照明	手動照明	手動照明	自動照明 (人感センサー)	自動照明 (人感センサー)	-
	設備	電気設備	照明設備	蛍光灯	蛍光灯	-	LED照明	LED照明 (人感センサー、照度センサー付)、太陽光発電、太陽熱給湯
給排水設備		給水	受水槽方式	受水槽方式	-	直結増圧給水方式	雨水・中水利用、排水再利用	耐用年数の長い材質選定
空調設備		冷・暖房	ヒートポンプ式エアコン設置 (教室・管理教室)	ヒートポンプ式エアコン設置	-	-	ヒートポンプ式マルチエアコン	-
<b>③ 多様な学習内容・学習形態への対応</b>								
学習環境の多様化		対応なし			ICT (情報通信技術) 環境の設備、無線LAN			
内部	バリアフリー	スロープ等に手摺り設置、案内板・カウンター設置、誘導ブロック設置、車椅子対応駐車場				多目的トイレの設置、乗用エレベーター設置	危険な突起物や段差などの排除	
	アスベスト	アスベスト封じ込め、撤去			アスベスト撤去			
	防災				非常用自家発電設備、災害時飲料用受水槽 (20t) FRP製			
	防犯	防犯カメラ	防犯カメラ	防犯カメラ	玄関のモニター付インターホン、管理室~教室用インターホン、防犯カメラ			



## ②維持管理の項目・手法等

ここでは、各学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため、維持管理の項目・手法等を設定します。

### 1) 情報の整理と更新

計画を推進するためには、現状の学校施設状況や改修履歴などをデータ(学校施設台帳)として蓄積し、常に更新することが重要となります。(学校施設台帳・施設カルテ)

また、本業務で実施した劣化状況調査による評価内容についても、今後の調査に合わせて更新することにより、劣化の進行度合いを反映した改修メニューや改修時期の検討など行うため適宜見直しを図ります。

学校施設における情報基盤として、次ページ以降に示す施設カルテを整備し、毎年更新することで学校の維持管理を容易にするとともに、改修時の基礎資料とします。

施設カルテ内には、施設情報、棟情報、配置図、消防設備点検結果、工事履歴、点検結果状況報告等を記載します。

次項に示す定期点検については、この施設カルテにおける定期点検チェックシートに添って、①建物(敷地)、②建物(外部)、③建物(内部)、④電気設備、⑤機械設備、⑥防災設備の点検結果を記録するものとします。また、本計画の劣化状況調査票に示される劣化箇所に対し、新たな劣化状況が確認された場合は、定期点検チェックシートにより速やかに報告するものとします。

なお、この定期点検については、今後1年ごとに行うものとします。

# 施設カルテ-1

基準日 令和1年8月10日

## 施設情報

施設名称	若松中央小学校	施設番号	0550
所在地	南松浦郡新上五島町間伏郷74番地	施設大分類	行政財産
所管局部課	新上五島町教育委員会 学校教育課	施設中分類	教育施設
設置目的		施設小分類	小学校
		財産区分	公共用
		地域区分	
設置根拠		小学校区	若松中央小学校
		中学校区	若松中学校

外観写真



### ■ 運営・管理情報

運営形態	直営	供用開始日	1998/10/0
営業時間	~	供用廃止日	
時間備考			
指定管理者			

### ■ 敷地・建物情報

用途地域			
所有者		総建築面積	m
敷地面積	4,916.00 m	総延床面積	3,129.00 m
借地面積	m	施設面積	3,129.00 m

### ■ 建物情報

No.	施設名
1	校舎 教室棟・管理棟
2	校舎 電気室
3	屋内運動場
4	倉庫
5	
6	
7	

### ■ 施設情報 特記事項

棟情報に記載する建物以外の付属施設については除外する。

## 棟情報

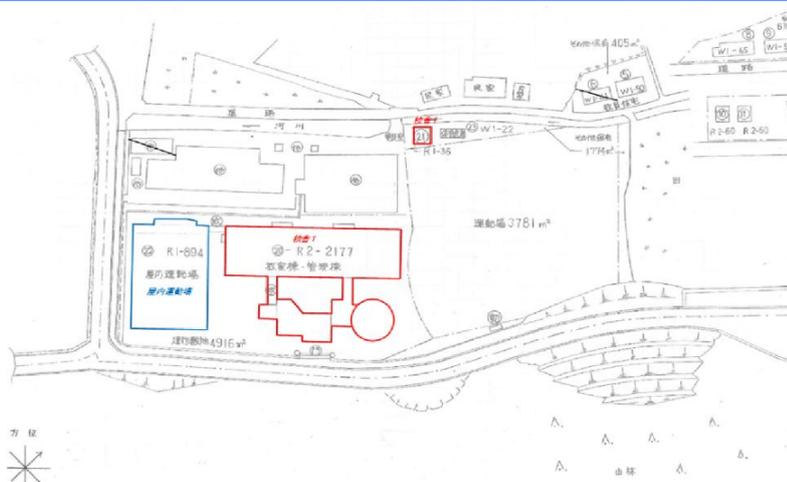
No.	棟番号	棟名称	建物用途	財産区分	構造主体	階数		建築面積 (m <sup>2</sup> )	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年	耐震情報	
						地上	地下				耐震診断	改修年度
1	020	校舎	教室棟・管理棟	公共用	R	2			2,177.00	1998	-	-
2	021	校舎	電気室	公共用	R	1			36.00	1998	-	-
3	022	屋内運動場	屋内運動場	公共用	R	1			894.00	1999	-	-
4	023	倉庫	体育倉庫	公共用	W	1			22.00	1998	-	-
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

## 施設カルテ-2

基準日 令和1年8月10日

施設名	若松中央小学校	施設番号	0550
施設大分類	行政財産	施設中分類	教育施設
		施設小分類	小学校

### 配置図



### 消防設備点検結果

点検項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1 消火器	異常なし			
2 屋内消火設備	異常なし			
3 非常電源専用受電設備	異常なし			
4 バッテリー型消火設備	異常なし			
5 自動火災報知設備	異常なし			
6 火災通報装置	異常なし			
7 漏電火災警報器	異常なし			
8 非常警報設備	異常なし			
9 誘導灯・誘導標識	異常なし			
10 防排煙設備	異常なし			
11 防火シャッター設備	異常なし			
12 避難器具	異常なし			
13 ガス漏れ火災報知設備	異常なし			
14 防火戸設備	異常なし			
15				

### 工事履歴

No.	棟番号	棟名称	工事名称	工事完了年	工事内容
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

# 施設カルテ-3

基準日 令和1年8月10日

施設名	若松中央小学校	施設番号	0550
施設大分類	行政財産	施設中分類	教育施設
		施設小分類	小学校

## 日常点検（チェックシート1）

点検日 年 月 日 点検者 ( )

点検のポイント	対 照 表	点検結果 変化		メモ欄
		無	有	
<b>1～3.&lt;建 築&gt;</b>				
<b>1.建物（敷地）</b>				
①敷地内の舗装などに大きなひび割れ・陥没、傾斜、破損はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②排水溝などに排水不良や損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③塀（補強コンクリートブロック等）や擁壁に著しいひび割れ、破損、傾斜等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④門やフェンスに腐食（著しい錆）や変形はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>2.建物（外部）</b>				
<b>2-1 屋上・屋根</b>				
①屋上床面に歩行上危険なひび割れ、反りや目地部の欠落や防水層等の膨れ等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②排水溝に著しいひび割れ、浮きやゴミ溜まり、植物等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③屋根ふき材に割れ、変形、腐食（著しい錆）等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④屋上回りのパラベットの立ち上がり面や笠木に著しいひび割れ、白華や破損はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤屋上やバルコニーに設置された手すり・タラップに腐食（著しい錆）やガタツキはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥雨樋のつまり、ガタツキ、破損等や支持金物に腐食（著しい錆）はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦設備機器や注意喚起板等の本体や接合部、支持部分に腐食（著しい錆）や損傷等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>2-2 外壁</b>				
外壁躯体に異常はないか（以下の該当する項目毎に点検）。				
・鉄筋コンクリート造：鉄筋露出や著しい白華、ひび割れ、汚れ、欠損等はないか。				
①鉄骨造：鋼材に腐食（著しい錆）等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・木造：木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食（著しい錆）はないか。				
・その他の構造：れんが、石、ブロック等に割れ、ずれ又は変位等や目地モルタルに著しい欠落はないか。				
②外装仕上げ材（タイル・モルタル、石等）に剥落等や著しい白華、ひび割れ、浮き、錆、変形等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・外壁から漏水箇所は確認されていないか。				
③吹付け等の塗料仕上げ部分に浮き、剥落等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④目地、シーリング材にひび割れ等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤広告板、空調設備等で、機器本体及び支部分等に腐食（著しい錆）や損傷等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>2-3 外部建具 他</b>				
①窓やドア本体に腐食（著しい錆）、ネジ等の緩みによる変形はないか。シーリング材にひび割れはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②窓ガラスに亀裂その他の損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③扉の開閉時に著しいガタツキはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④施錠、解錠に不具合はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤基礎コンクリートに鉄筋露出や著しいひび割れ、欠損等はないか。礎石部にずれはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥屋外階段に歩行上支障があるひび割れ等や、手すりにガタツキ等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦給気口、排気口、防虫網等に通気不良となる塵埃、障害物がないか。損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧土台が木造の場合は、木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食（著しい錆）等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>3.建物（内部）</b>				
①天井、壁、床の仕上げ材に浮き、たわみ、損傷、剥落等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・降雨時の新たな雨漏箇所は確認されていないか。				
・天井等に新たな雨漏れ痕が増えてないか。				
②壁や天井にむやみに物を取り付けていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③階段に歩行上支障があるひび割れ、腐食（著しい錆）等や手すり、滑り止めに損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
室内躯体に異常はないか（以下の該当する項目毎に点検）。				
・鉄筋コンクリート造：鉄筋露出や著しい白華、ひび割れ、汚れ、破損等はないか。				
④鉄骨造：鋼材に著しい錆による腐食等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・木造：木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食（著しい錆）はないか。				
⑤躯体が鉄骨造の場合は、耐火被覆の剥がれ等により鉄骨が露出してないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
防火設備（防火戸、シャッター、ダンパー等）に変形、損傷はないか。				
⑥防火設備の建具の動作に支障がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
廊下、防火戸、避難ハシゴ、救助袋、避難経路上等を物品がふさいでないか。				
⑦防煙壁に亀裂、破損、変形等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧トイレ、湯沸し室等に異臭、水漏れはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨トイレ、湯沸し室等の排水状況は良好か。換気機器は正常に作動し、排気しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑩点検口本体及び枠にずれ、変形、腐食等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑪石綿（アスベスト）の表面の毛羽立ち、繊維のくずれ、たれ下がり等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑫石綿（アスベスト）を囲い込み又は封じ込めている部材に亀裂、剥落等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑬給気口、排気口、ドアガラリ等に通気不良となる塵埃、障害物がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑭給気口、排気口、ドアガラリ等に損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

## 施設カルテ-3

基準日 令和1年8月10日

施設名	若松中央小学校	施設大分類	行政財産	施設中分類	教育施設	施設番号	0550
						施設小分類	小学校

### 日常点検（チェックシート2）

点検のポイント	点検結果		メモ欄
	異常部位	劣化	
	有	無	
<b>4.&lt;電気設備&gt;</b>			
<b>4-1.受変電・自家用発電設備</b>			
①受変電設備の扉やフェンスは施錠されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②受変電設備に錆が発生していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③受変電設備に、異音・異臭はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>4-2.分電盤・照明設備</b>			
①分電盤に損傷、腐食、錆がないか。異音、異臭が発生していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②分電盤の変形や前に物を置くことによる開閉の障害はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③照明器具のスイッチの入り切り及び点灯は正常か。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④照明器具や支持金物に損傷、変形がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>4-3.コンセント設備</b>			
①コンセント、スイッチ、プレートに損傷、変形等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②コンセントや延長コードがたこ足配線になっていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③アースが必要な器具にアースが接続されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>4-4.屋外電気設備</b>			
①外灯にくらつき、傾き、腐食はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②屋外灯の点灯時間や消灯時間がずれていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③避雷針、テレビアンテナ、支柱に傾き、くらつき、腐食、破損等、避雷導線に破断がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④盤類、ボックス類、配線管に腐食や損傷がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤太陽光発電設備は正常であるか。 ・パネル部分の損傷、変形などはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>5.&lt;機械設備&gt;</b>			
<b>5-1.給排水設備</b>			
①受水槽、高置水槽及び架台、基礎に腐食、漏水、損傷、変形、沈下、固定の緩みがないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②受水槽、高置水槽の点検口は、施錠されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③オーバーフロー管から水が流出していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④オーバーフロー管、通気管の防虫網が破れていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤ポンプからの異常振動、異音等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥給水、排水配管から水漏れ、腐食はないか。保湿剤は濡れていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦給水栓より赤水がでていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧トイレ、手洗い、流しからの排水状況は良好か。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨排水口より異臭がしないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>5-2.ガス設備</b>			
①ガス湯沸器、ガスコンロ及びガス管からガス臭がしていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②ガス管にひび割れなどの劣化はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ガス器具やその支持金物に変形、腐食がないか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>5-3.暖房・空調・換気設備</b>			
①各機器（内部、外部共）の損傷、変形、腐食（著しい錆）はないか。異常振動、異音はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②各機器（内部、外部共）の固定（基礎、ボルト等）に亀裂、腐食（著しい錆）、ゆがみはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③配管、バルブに変形、損傷、腐食（著しい錆）はないか。また水漏れや油漏れの痕跡はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④吹出口、吸込口にほこりが著しく付着していないか。前に物が置かれていないか。異音はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤送風機等は正常に作動しているか。異音はないか。換気風量の極端な変化はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥ダクト、ダンパー及び支持金物類に損傷、腐食（著しい錆）変形がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦防火ダンパーは「閉」になっていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>6.&lt;防災設備&gt;</b>			
<b>6-1.自動防災放置設備</b>			
①受信機、発信機等に埃が付着していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②感知器に著しい汚れ、損傷等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>6-2.非常照明、誘導灯設備</b>			
①非常照明器具は点灯するか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②ロッカー等により非常照明器具等が隠れていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>6-3.消火設備</b>			
①消火器、消火栓の前等に物を置いていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②屋内消火栓箱に変形や腐食がないか。また、開閉することができるか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>6-4.排煙設備</b>			
①排煙窓が備品や書類で開放不能になっていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②排煙・給気風道に変形、破損又は著しい腐食等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③排煙窓操作器（オペレーター）の前に物を置いていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④排煙窓は作動するか。腐食、変形はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※公共建築物点検マニュアル 財務局資産運用課 参考

## 施設カルテ-4

基準日 令和1年8月10日

施設名	若松中央小学校	施設番号	0550
施設大分類	行政財産	施設中分類	教育施設
		施設小分類	小学校

### 点検結果状況報告

施設名称	施設管理者 (点検シート記入者)	施設連絡先	記入年月日

#### ■劣化の進行及び新たに確認した不具合（前回点検で確認されていた箇所、劣化の急激な進行など、早急に修繕または改修対応が必要な劣化箇所の記入）

No.	劣化箇所	設置場所	劣化及び不具合の内容	前回工事 実施年	メーカー(設備 の場合)	対応手法
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

#### ■予定されている工事

実施年月日	工事名	工事内容	契約金額 (単位：千円)

## 2) 維持管理の項目・手法

### (1) 項目・手法

学校施設における従来の主な点検・調査には、法令で義務付けられている建築基準法第12条点検や、消防設備点検、電気工作物点検、昇降機定期検査などの定期点検があります。

また、簡易な老朽調査結果を公共施設データベースに蓄積更新することで、老朽化の進捗状況に合わせた改修メニューや改修時期などの見直しに役立てることができます。以下に一般的な維持管理項目・手法例を示します。

表 維持管理項目・手法(例)

町 (教育委員会)	維持	清掃
		改修・修繕
	点検	・昇降機、防火設備、建築設備については、昇降機法定点検、消防設備点検、電気事業法による点検等の法定点検実施 ： <b>各設備ごとの定期点検</b>
		臨時点検：故障情報・異常気候における状況把握
施設情報管理	履歴管理による現状把握(学校施設台帳・施設カルテ)： <b>毎年</b>	

学校 (施設管理者)	日常点検	日常利用の中で建物や設備などの状況を確認
	每学期点検	通常使用する施設や設備の異常有無の確認
	臨時点検	故障情報・異常気候における状況把握

点検調査：  年ごとに実施

## (2) 部位ごとの対応手法

部位ごとの対応手法については、以下の表に整理するとおり、予防保全を実施すべき部位については、建物構造躯体への影響が大きいことから、計画的な対応が必要（A）、運転の時間等において、また点検を介して不具合があれば故障する前に対応が必要（B）、事後保全対応する部位（C）に区分し、設定します。

表 維持管理の部位ごとの対応手法表

	対象部位	具体例	対応手法	理由
建築	屋根・屋上	屋上防水・屋根	A	屋根・屋上及び外壁の劣化に伴う亀裂の発生は漏水原因となる可能性が高い
	外壁	RC造躯体・外壁ボード	A	
	開口部	シャッター・アルミサッシ・スチール扉	B	日常使用で不具合が発見できる
	内部仕上げ	床・壁・天井内装材	A	雨漏れなどにより仕上げ材の劣化・損傷が進行する。日常使用で不具合が発見できる
電気設備	受変電	受電盤・変圧器・コンデンサー	B	電気事業法による点検及び、消防法による点検が1回/年実施されており、点検を通じて不具合が発見できる
	通信・情報	映像・音響・インターホン	C	日常使用で不具合が発見できる
	通信・情報（防災）	自動火災報知機・非常警報・非常灯	B	消防法による点検が1回/年実施されており、点検を通じて不具合が発見できる
	被雷・屋外	避雷針・外灯	C	日常点検により不具合が発見できる
機械設備	空調	パッケージエアコン・室外機	C	日常使用で不具合が発見できる
	換気・排煙	送風機・排煙機	C	窓やドアを開けるなどして、代替え措置が可能
	給排水衛生	屋内給水設備・ポンプ	C	衛生的環境の確保に関する法律により貯水槽の清掃を1回/年実施されており、清掃に合わせて点検を行い不具合が発見される
	消火	消火栓	B	消防法による点検が1回/年実施されており、点検を通じて不具合が発見できる
	昇降機など	エレベーター ダムウエーター	B	建築基準法に基づく点検が1回/年実施される。日常の使用の中で月1回程度作動確認を実施することで、不具合の発見が可能である

## 第6章 長寿命化の実施計画

### ①改修等の優先順位付けと実施計画

ここでは、今後の学校施設の改修等に関する優先順位について設定し、直近 10 年間に於いて改修を図る建物について年次計画（実施計画）を設定します。

優先順位付けの基本的な考え方については、以下の点を考慮します。

- 本計画における劣化状況調査の結果（健全度）
- 建築年次（築年数）
- 過去の改修履歴
- 長寿命化改修及び、大規模改造工事は基本的に棟単位
- その他、今後の学校整備計画に考慮すべき理由

優先順位の設定にあたっては、以下に示す優先度の設定フローに基づき、第 1 段階～第 3 段階の 3 つの段階ごとに検討し、設定します。

第 1 段階では築年数の古い順に長寿命化改修を行うことを基本として、第 2 段階で築年数を 3 グループに区分（築 50 年以上、築 40 年～49 年、築 39 年以前）したうえで、劣化状況評価の A グループ健全度の平均値 52 未満の建物及び、B グループ健全度平均値 55 未満の建物、C グループ健全度平均値 77 未満の建物は各グループごとに順位を上げて設定します。

その際、健全度平均値以上の建物において、屋上・屋根・外壁・内部仕上げの評価が C・D 評価の棟については、グループ内での順位を上げることとします。

最終の整備計画の作成にあたっては、以下に示す第 3 段階の検討事項を考慮して決定するものとします。

なお、実施計画作成期間は、直近 10 年の個別施設整備計画を作成し、今後見直しを図りながら老朽化対策を進めて行くこととします。

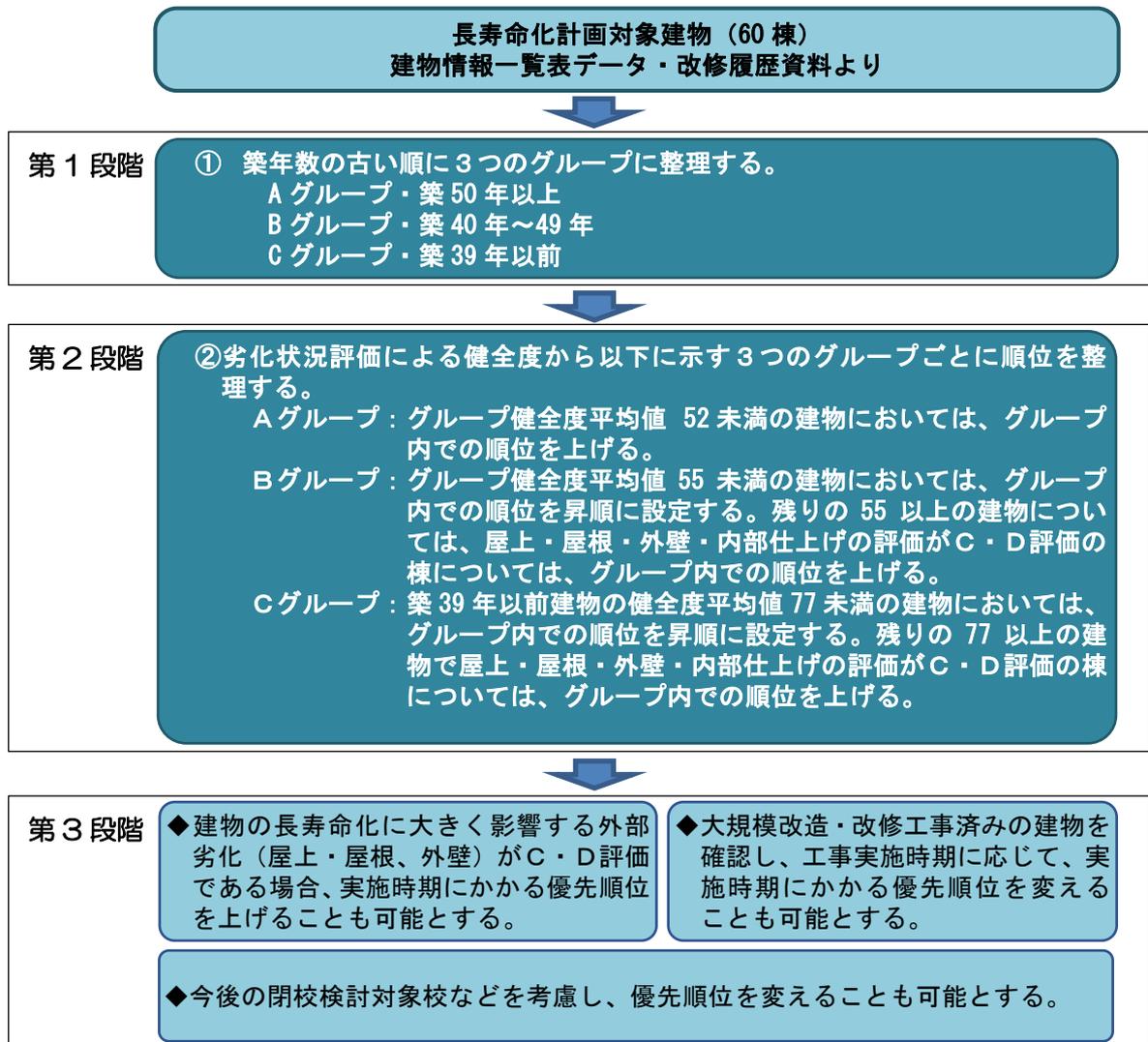


図 優先度の設定フロー

第1段階では築年数の古い順に整列し、Aグループ（築50年以上）、Bグループ（築40年～49年）、Cグループ（築39年以前）に区分した表を作成します。

また、第2段階ではグループ別に順位を整理し、屋上・屋根・外壁・内部仕上げの評価がC・D評価の棟については順位を上げたうえで、最終的に優先順位を設定すると以下の表になります。

ここで決めた優先順位は、上位計画の見直しや、再調査による劣化状況評価の変更などを踏まえ修正するものとします。

表 個別施設の整備優先順位表

通し番号	学校名	建物名	棟番号	延床面積 (㎡)	築年数	第1段階	試算上の区分	健全度	グループ別順位	優先順位設定	劣化状況評価					大改造	改修履歴
											屋上・屋根	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備		
26	東浦小学校	校舎1	004-1、022	602	59	要調査	40	1	1	C	C	C	C	C	H21	大規模改造H21(老朽)	
27	東浦小学校	校舎2	004-2、023	522	54	要調査	40	2	2	C	C	C	C	C	H18	大改H18(法令)	
43	魚目中学校	校舎1	001、002、003、021、021-2	1,632	50	長寿命	43	3	3	B	C	C	C	C	H26	大規模改造H2(外壁改修)、大規模改造(法令等)H26	
31	若松中学校	校舎1	003	455	53	要調査	83	4	4	B	A	A	C	C		太陽光発電H21	
10	青方小学校	校舎1	001-1	1,428	50	長寿命	53	5	5	B	B	C	C	C		H04 大改造(便所、水飲場、普通・特別教室、廊下、電気設備) H14 大改造(トイレ)	
46	魚目中学校	校舎3	019	160	49	長寿命	37	①	6	A	D	C	C	C			
24	有川小学校	屋内運動場	010	677	48	長寿命	48	②	7	B	C	C	B	C	H18	大改H18(法令)	
28	東浦小学校	校舎3	013	865	46	長寿命	53	③	8	B	B	C	C	C	H18	大改H18(法令) 地震補強H21、太陽光発電H21	
19	北魚目小学校	校舎1	020-1、021	1,564	45	長寿命	37	④	9	D	C	C	C	C			
56	魚目幼稚園	園舎1	001	400	44	長寿命	45	⑤	10	A	C	C	C	C	H23	大規模改造(補強)H23	
20	北魚目小学校	校舎2	020-2、020-3、023	924	43	長寿命	37	⑥	11	D	C	C	C	C			
11	青方小学校	校舎2	001-2、010	1,469	49	長寿命	60	⑦	12	B	C	B	C	B		H04 大改造(便所、水飲場、普通・特別教室、廊下、電気設備) H14 大改造(トイレ)	
22	有川小学校	校舎1	001	714	49	長寿命	65	⑧	13	B	C	B	B	B	H23	大規模改造(老朽)H23	
23	有川小学校	校舎2	002、003、008	1,991	49	長寿命	65	⑨	14	B	C	B	B	B	H23	大規模改造(老朽)H23	
33	若松中学校	屋内運動場	006	715	48	長寿命	55	⑩	15	A	B	C	C	C			
57	有川幼稚園	園舎1	003、004	739	45	長寿命	61	⑪	16	D	B	B	C	C	H24	大規模改造(老朽)H24 大規模改造(補強)	
50	奈良尾中学校	校舎1	001	2,910	40	長寿命	71	⑫	17	A	A	C	B	B	H25	大改03(バス室) 大規模改造(老朽)H25	
45	魚目中学校	屋内運動場	010	750	47	長寿命	66	⑬	18	B	B	B	C	C			
29	東浦小学校	屋内運動場	016、024	580	43	長寿命	66	⑭	19	B	B	B	C	C	H18	大改H18(法令)	
14	上郷小学校	校舎1	012	1,383	39	長寿命	34	1	20	B	D	C	C	C			
15	上郷小学校	校舎2	013	1,675	39	長寿命	34	2	21	B	D	C	C	C			
17	魚目小学校	屋内運動場	015	623	39	長寿命	75	3	22	B	B	B	B	B	H28	H28大規模(老朽) 先送り可	
53	奈良尾中学校	校舎2	032	104	39	長寿命	67	4	23	A	C	B	B	B			
16	上郷小学校	屋内運動場	014	680	37	長寿命	75	5	24	B	B	B	B	B	H22	大規模改造H22(老朽) 先送り可	
21	北魚目小学校	屋内運動場	025	630	37	長寿命	67	6	25	C	B	B	C	B	H23	大規模改造(老朽)H23	
8	今里小学校	屋内運動場	013	680	34	長寿命	62	7	26	C	C	B	B	B			
36	上五島中学校	校舎1	001	2,072	34	長寿命	75	8	27	B	B	B	B	B	H22	大規模改造H22(老朽) 先送り可	
37	上五島中学校	校舎2	002	2,074	34	長寿命	75	9	28	B	B	B	B	B	H22	大規模改造H22(老朽) 先送り可	
38	上五島中学校	校舎3	003	1,493	34	長寿命	75	10	29	B	B	B	B	B	H22	大規模改造H22(老朽) 先送り可	
39	上五島中学校	部室	004	195	34	長寿命	40	11	30	C	C	C	C	C			

通し番号	学校名	建物名	棟番号	延床面積 (㎡)	築年数	第1段階	試算上の区分	健全度	グループ別順位	優先順位設定	劣化状況評価					大改造	改修履歴
											屋上・屋根	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備		
40	上五島中学校	武道場	019	1,269	33	長寿命	75	12	31	B	B	B	B	B	H22	大規模改造H22(老朽)、H27防災機能強化 先送り可	
41	上五島中学校	屋内運動場	020	1,144	33	長寿命	75	13	32	B	B	B	B	B			
42	上五島中学校	車庫	021	278	33	長寿命	65	14	33	B	C	B	B	B			
3	若松東小学校	校舎1	019	1,828	32	長寿命	56	15	34	B	D	B	B	B			
34	若松中学校	校舎3	025、025-1、025-2	2,098	31	長寿命	75	16	35	B	B	B	B	B	H21	大規模改造H21(老朽) 先送り可	
9	今里小学校	校舎1	014	1,558	30	長寿命	65	17	36	B	C	B	B	B			
59	上五島給食センター	給食センター	001	761	28	長寿命	72	18	37	C	B	B	B	B			
35	若松中学校	武道場	029、029-1	883	27	長寿命	62	19	38	C	C	B	B	B			
1	若松中央小学校	校舎1	020、021	2,213	21	長寿命	57	20	39	C	C	B	C	B			
2	若松中央小学校	屋内運動場	022	894	20	長寿命	72	21	40	C	B	B	B	B			
5	若松東小学校	校舎2	029	270	20	長寿命	75	22	41	B	B	B	B	B			
25	有川小学校	屋内運動場	018	70	20	長寿命	62	23	42	B	B	C	B	B			
58	新魚目給食センター	給食センター	001	512	16	長寿命	75	24	43	B	B	B	B	B			
61	奈良尾給食センター	給食センター	004	621	14	長寿命	78	25	44	C	B	B	A	A			
32	若松中学校	校舎2	003-1	426	38	長寿命	94	26	45	A	A	A	B	B		太陽光発電H21	
4	若松東小学校	屋内運動場	020、020-1、020-2	937	31	長寿命	94	27	46	A	A	A	B	B	H28	H28大規模改造(老朽) 先送り可	
63	郷ノ首スクールバス車庫	車庫		108	27	長寿命	94	28	47	A	A	A	B	B			
47	有川中学校	校舎1	018-1	2,099	17	長寿命	91	29	48	B	B	A	A	A			
48	有川中学校	校舎2	018-2	2,530	17	長寿命	81	30	49	B	B	B	A	A			
54	青方幼稚園	園舎1	003	848	17	長寿命	100	31	50	A	A	A	A	A			
55	青方幼稚園	園舎2	004、005	22	17	長寿命	100	32	51	A	A	A	A	A			
12	青方小学校	屋内運動場	011、014-1、014-2	1,094	16	長寿命	100	33	52	A	A	A	A	A			
49	有川中学校	屋内運動場	021-1、021-2、022、023	1,404	16	長寿命	91	34	53	B	B	A	A	A			
13	青方小学校	校舎3	016	164	15	長寿命	100	35	54	A	A	A	A	A		コンピュータ室 H16.3.25 新增	
18	魚目小学校	校舎1	021	3,462	15	長寿命	91	36	55	B	B	A	A	A			
51	奈良尾中学校	屋内運動場	030-1	447	15	長寿命	91	37	56	B	B	A	A	A			
62	奈良尾給食センター	車庫	005	49	14	長寿命	100	38	57	A	A	A	A	A			
52	奈良尾中学校	屋内運動場	031	941	6	長寿命	100	39	58	A	A	A	A	A			
30	奈良尾小学校	校舎1	022、023	2,630	5	長寿命	84	40	59	A	B	B	A	A			
64	北魚目地区スクールバス車庫	車庫		45	1	長寿命	100	41	60	A	A	A	A	A			

- : 2022年以降閉校検討対象校
- : 試算上の区分が要調査
- : 外部劣化(屋根・外壁)がC・D評価である場合、優先順位を上げることが可能
- : 屋根・外壁・内部仕上げがA・Bであり、かつ近年の改修済み履歴が確認できるものについては、先送り可能



## 1) 今後 10 年間の整備内容

今後 10 年間の実施計画における整備内容としては、基本的に前述の優先順位を考慮しながらも、築年数に限らずに、早急に実施しなくてはならない危険性が高い外壁及び屋根・屋上の劣化状況により下記の優先順位を基本に整備していきます。

- 危険性の高い外壁の劣化状況の評価が「D」の学校施設
- 雨漏りの原因となる屋根・屋上の劣化状況の評価が「D」
- 外壁の劣化状況の評価が「C」の学校施設を屋根・屋上、内部仕上、電気設備、機械設備の評価により整備

今後 10 年間の具体的な実施計画としては、本計画書 P87 掲載の「表 直近 10 年の個別施設の整備計画」のとおりとします。

令和 2 年度は、令和元年度に台風及び集中豪雨により被災した魚目中学校の特別教室棟の新築工事を実施します。

令和 3 年度以降は、基本的に上記の優先順位に基づいて早急に実施しなくてはならない外壁、屋根・屋上の部位修繕を実施していきます。

令和 5 年度には、給食センターの統合を見据えて上五島給食センターの大規模改造を実施していきます。

令和 9 年度以降は、地理的条件や児童数を考慮して学校施設（青方小学校、有川小学校）の長寿命化を図っていきます。

本町の教育施設は多くが老朽化しているため、今後も引き続き応急的に維持修繕を行いながら児童生徒の安全な学習環境の整備に努めていきます。

なお、今後の統廃合計画や町財政状況により、整備計画を見直す場合もあります。

※現時点で既に築年数が 20 年以上経過している建物については、予防保全を前提とした築 20 年目の大規模改造を行っていない場合が多いため、建物の健全度及び部位ごとの劣化状況評価の結果や改修履歴等を踏まえ、個別に長寿命化改修を実施する時期や改修スパンを調整します。  
そのため、P69 に設定した改修周期と異なる場合があります。

## 2) 今後 10 年間の予算配分

今後 10 年間の実施計画における整備内容に基づき、予算配分を検討する際、本町の財政状況を考慮して年次計画を検討します。

事業費試算をする上での「改築」単価設定にあたっては、近年本町において建設された建物工事事例や、全国の学校校舎及び体育館の単価事例、総合管理計画において総務省が設定した施設更新単価、他市町の単価事例などを参考に、以下に示す改築単価を設定しました。

「改築」単価設定の検討資料については、報告書資料編に掲載しています。

「長寿命化改修」「大規模改造」及び「部位修繕」の単価については、文部科学省手引き様式に基づき、改築単価に対する比率で算出しています。 ※比率は、建物種別、部位ごとに異なります。

なお、「改築」「長寿命化改修」「大規模改造」「部位修繕」の単価は、以下のように設定します。

表 改築・改修・修繕単価の設定 単位：円/㎡

	改築	長寿命化改修	大規模改造	部位改修		
				屋上・屋根	外壁	内部
校舎	300,000	180,000	75,000	10,500	15,300	16,800
屋内運動場	330,000	198,000	72,600	9,900	11,550	18,480
武道場	310,000	186,000	68,200	9,300	10,850	17,360
その他	240,000	144,000	60,000	8,400	12,240	13,440

また、「維持修繕費」「委託費」については、P28 に示す過去 5 年間：平成 26（2014）年度～平成 30（2018）年度の実績平均を仮定値として設定し、「光熱水費」は、令和 2 年度当初予算を参考に設定します。

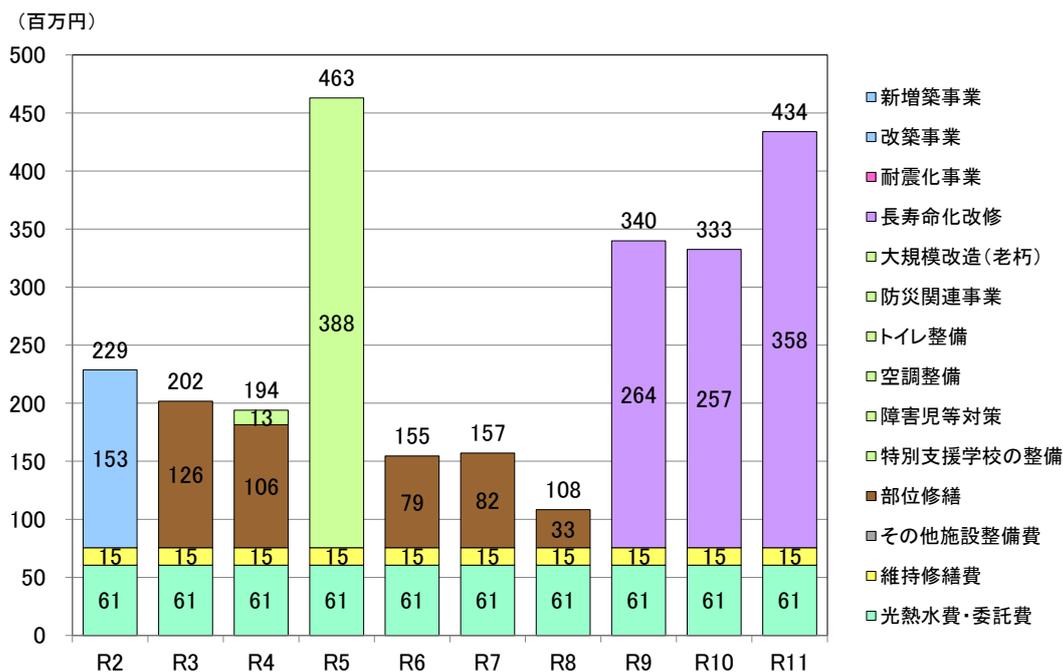


図 今後5年間の予算配分

※文部科学省エクセルソフト Ver1.23 により作成

表 直近 10 年の個別施設の整備計画

(百万円)

年度 事業名称	2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029	
	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11	
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
施設整備費	魚目中学校 : 特別教室棟 (監理)	150.0 3.2																		
新增築事業																				
改築事業																				
耐震化事業 (非構造部材の対策含む)																				
長寿命化改修														青方小学校 : 校舎2	264.4	青方小学校 : 校舎1	257.0	有川小学校 : 校舎2	358.4	
大規模改造(老朽)					上五島給食センター (設計)	12.5	上五島給食センター (本工事・監理)	387.5												
防災関連事業																				
トイレ整備																				
空調整備																				
障害児等対策																				
特別支援学校の整備																				
部位修繕			上郷小学校 : 校舎2 (外壁・内部)	53.8	北魚目小学校 : 校舎1 (屋上・外壁・内部)	66.6			有川幼稚園 : 園舎1 (屋上)	7.8	若松中央小学校 : 校舎1 (屋上・外壁)	57.1	魚目中学校 : 校舎1 (外壁)	25.0						
			上郷小学校 : 校舎1 (外壁・内部)	44.4	北魚目小学校 : 校舎2 (屋上・外壁・内部)	39.4			若松中央小学校 : 屋内運動場 (屋根)	8.9	若松中学校 : 武道場 (屋根・外壁)	17.8	有川小学校 : 屋内運動場1 (外壁)	7.8						
			若松東小学校 : 校舎1 (外壁)	28.0					東浦小学校 : 校舎1 (屋上・外壁・内部)	25.6	上五島中学校 : 部室 (屋根・外壁・内部)	6.6								
									東浦小学校 : 校舎2 (屋上・外壁・内部)	22.2										
									東浦小学校 : 校舎3 (内部)	14.5										
その他施設整備費																				
維持修繕費	過年度平均	15.0	過年度平均	15.0	過年度平均	15.0	過年度平均	15.0	過年度平均	15.0	過年度平均	15.0	過年度平均	15.0	過年度平均	15.0	過年度平均	15.0	過年度平均	15.0
光熱水費・委託費	令和2年度予算 を参考に設定	60.5	令和2年度予算 を参考に設定	60.5	令和2年度予算 を参考に設定	60.5	令和2年度予算 を参考に設定	60.5	令和2年度予算 を参考に設定	60.5	令和2年度予算 を参考に設定	60.5	令和2年度予算 を参考に設定	60.5	令和2年度予算 を参考に設定	60.5	令和2年度予算 を参考に設定	60.5	令和2年度予算 を参考に設定	60.5
合計		228.7		201.7		194.0		463.0		154.5		157.0		108.3		339.9		332.5		433.9

※文部科学省エクセルソフト Ver1.23 の様式により作成



## ②長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果 ～維持・更新の課題と今後の方針～

### 1) 長寿命化の効果

本町の学校施設（校舎・屋内運動場等）について、従来の建替え（改築）を前提とした維持・管理から長寿命化を前提とした維持・管理への切り替え、事後保全から予防保全への切り替えを行うことにより、修繕スパンの改善や修繕箇所の縮小など、改修以降の維持修繕費の低減につながります。

また、必要に応じ、省エネ型の改修を導入することにより、光熱水費の低減にもつながり、トータルとしての維持・管理コストの低減が期待できます。

### 2) 長寿命化計画によるコストの見通し

計画した今後 10 年間の実施計画以降においても長寿命化改修、予防保全型の修繕の導入を検討し、更なる維持・管理コストの低減、年度別更新コストの平準化に努めます。

ただし、長寿命化を前提とした今後 40 年間の維持更新コストにおいても、改築や長寿命化改修のタイミングが重なり、年間工事費が大きくなる年が出てきます。

今後の定期的な点検や 5 年ごとの見直し（実施計画の更新）において、劣化や構造躯体の状況を見極めつつ、適正な実施計画を検討して改修を進めていきます。

また、今後 10 年間の実施計画に基づく事業を踏まえ、「改築」「長寿命化改修」「大規模改造」の単価を適正に把握し、以降の実施計画に反映していくことも重要です。

### 3) 維持・更新の課題と今後の方針

本計画による今後 10 年間の実施計画を進めた場合、対象となっていない建物における新たな劣化の発生や潜在する改修の積み残しとその後のコスト増大につながることも考慮する必要があります。

また、今後 40 年間の維持・更新コストの見通しにおいても、過去 5 年間の経費実績から比べると大きく、長寿命化や予防保全への切り替えだけでは限界があると考えられます。

そのため、魚目中学校の宿直棟、特別教室棟などのように別棟となっている建物を改築・改修の際に、校舎内に機能を持たせるなど、効果的な保有量削減を進めていきます。

また、今後、本計画をフォローアップしていく中で、長寿命化改修や大規模改造時において、重要度・必要性の低いスペースなどを減築することを検討し、保有量（床面積）の縮小に努めます。

さらに、設計は学校ごとに行うと効率が良いことや仮設費用などをはじめとしたコストを抑えるため、学校単位での年次計画にも配慮した実施計画を検討します。

## 第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

### ①情報基盤の整備と活用

総合管理計画と連携し、財産管理課において登録する施設情報の一元管理を継続的に更新し、施設の実態把握を可能とする効率的な仕組みを検討します。

特に、学校施設長寿命化計画のPDCAサイクルを着実に実行していくために、継続的な実態把握によるデータベースの蓄積、計画・評価のためのシミュレーション、維持・更新コストの適正化検討等、学校施設のマネジメントを支援するシステムの構築を検討します。

また、本計画における各施設の劣化状況評価結果も含め、計画の内容は、策定後、速やかにホームページ等で公開するなど広く施設管理者や町民との情報共有のあり方を検討します。

さらに、PDCAサイクルに基づく計画のフォローアップにおいても、点検結果や検証結果の公開を検討します。

### ②推進体制等の整備

本計画に基づき長寿命化を確実に実施するため、学校教育課が中心となって、学校施設に関する情報を管理・集約し、実施計画を推進します。

また、総合管理計画に基づく財産管理課が中心となった庁内の総合調整と連携し、計画の進捗管理や各部署に対する支援・調整、施設、全庁的にその意義や方向性に対して共通認識を持ち、関係部門が連携しながら計画を推進していきます。

また、効率的な学校施設の長寿命化を実施していくには財政部局との連携が必要不可欠であることから、必要となる経費については、全体の予算編成を踏まえながらその確保に努めます。

学校施設の管理運営・更新については、児童・生徒が安心・快適に学校生活を送るとともに、町民にとってより利便性が高く、利用しやすい施設としていくため、今後も協働の取り組みを推進していきます。

### ③フォローアップ

本計画は、総合管理計画と連携し、計画期間内であっても学校施設の定期的な点検及び実態の把握、計画の進捗状況を点検しつつ、必要に応じ普段の見直し（定期的かつ必要に応じた適宜の見直し）により、本計画の更なる充実を図ります。

フォローアップについては、1年ごとに実施する施設の老朽化に関する点検・評価の結果を踏まえつつ、5年ごとに計画を見直し（実施計画の更新）します。

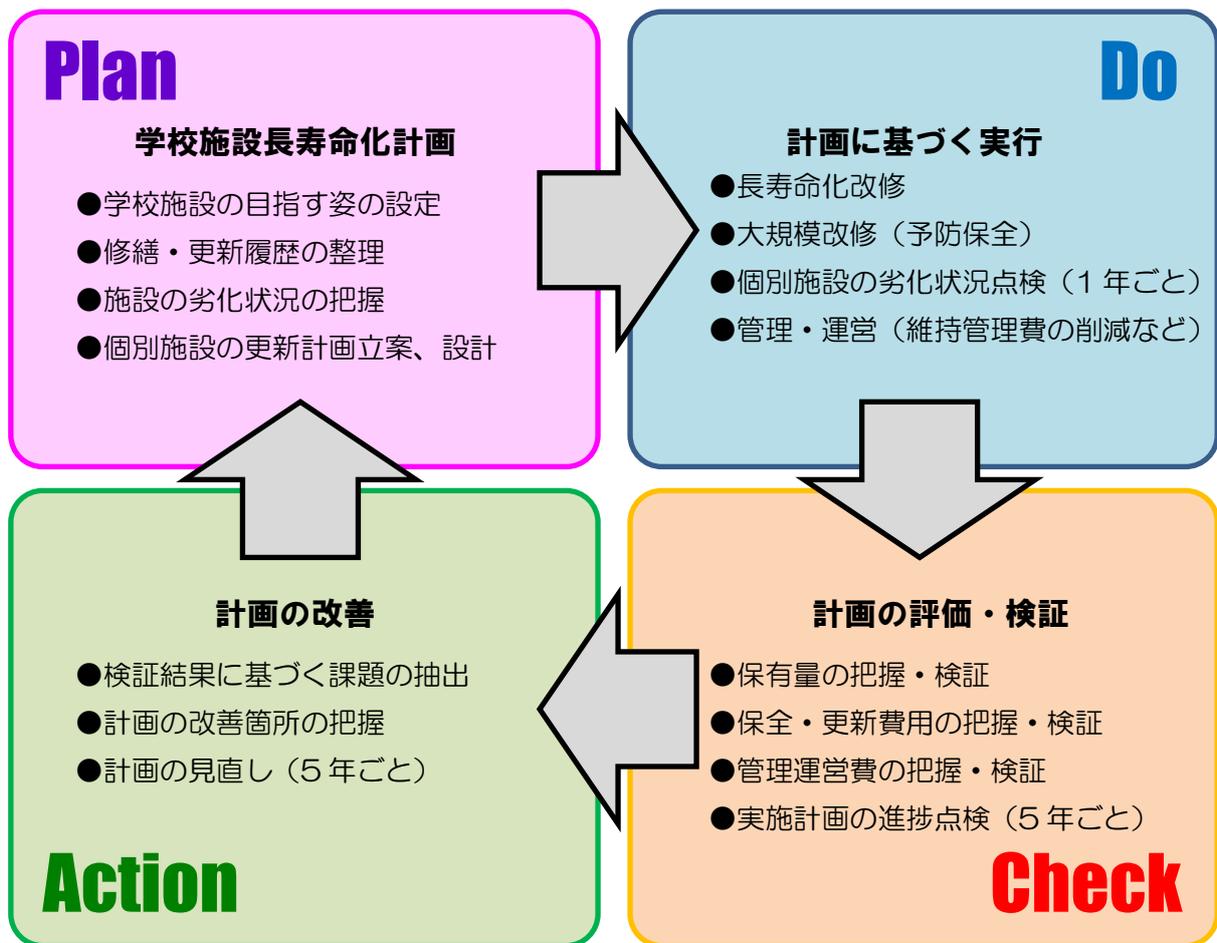


図 PDCAサイクルに基づく計画のフォローアップ